

令和3年度
名古屋市立大学大学院薬学研究科
自己点検・評価報告書

2021

目次

1	博士学位取得者	1
2	修士学位取得者	4
3	講演会等(2021年1月から2021年12月)	8
4	研究業績目録(2021年1月から2021年12月)	12
	薬化学分野	13
	精密有機反応学分野	15
	薬品合成化学分野	17
	生体超分子システム解析学分野	18
	コロイド・高分子物性学分野	19
	生命分子構造学分野	22
	分子生物薬学分野	29
	薬物送達学分野	30
	生薬学分野	32
	衛生化学分野	38
	遺伝情報学分野	40
	細胞分子薬効解析学分野	42
	病態生化学分野	46
	薬物動態制御学分野	48
	病態解析学分野	50
	細胞情報学分野	52
	神経薬理学分野	55
	医薬品安全性評価学分野	59
	病院薬剤学分野	62
	臨床薬学分野	67
5	科学研究費等補助金	71
6	新聞報道等(2021年1月から2021年12月)	86
7	進路および就職状況	91
8	在籍者名簿	95

1 博士学位取得者

学位記 番号	博士の 専攻分野 の名称	博士の学位を授与された者		博士課程の修了等の状況		主 論 文 名	授与 年月日	主査	副査 (指導教員)	副査	副査
		(ふりがな) 氏 名	性別	大学院名	研究科(専攻)名						
甲第 376号	博士 (薬科学)	(きゆう しほう) 邱 施萌	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	ヒト iPS 細胞由来内胚葉及び腸管上皮細胞の分化誘導法の開発	R4.9.24	糸 和彦	松永 民秀	湯浅 博昭	井上 靖道
甲第 377号	博士 (ナノメディン 科学)	(ぜんだ なおき) 善田 直樹	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 共同ナノメディン 科学専攻	難水溶性薬物の消化管吸収を予測する新規胃排出モデルに関する研究	R4.3.24	湯浅 博昭	尾関 哲也	頭金 正博	出羽 毅久 (名工大)
甲第 378号	博士 (ナノメディン 科学)	(あおやま ゆりな) 青山 柚里奈	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 共同ナノメディン 科学専攻	固液界面へのコロイド粒子の吸着と二次元コロイド結晶の構築に関する研究	R4.3.24	中川 秀彦	山中 淳平	尾関 哲也	築地 真也 (名工大)
甲第 379号	博士 (薬科学)	(しのだ ゆうたろう) 篠田 裕太郎	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	オロト酸トランスポーターとしてのヒトOAT10の機能的同定	R4.3.24	星野 真一	湯浅 博昭	牧野 利明	井上 靖道
甲第 380号	博士 (薬科学)	(ごとう たかひろ) 後藤 貴浩	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	6員環網目状格子を用いたCYP3A4の代謝予測システムの開発	R4.3.24	梅澤 直樹	頭金 正博	中川 秀彦	牧野 利明
甲第 381号	博士 (薬科学)	(やまぐち しょう) 山口 翔	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	インスリンシグナルによる概日リズムおよび睡眠制御機構の解析	R4.3.24	服部 光治	糸 和彦	関谷 倫子 (客員准教授)	平嶋 尚英
甲第 382号	博士 (薬科学)	(こう てんしょう) 高 天翔	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	画像化データの機械学習による睡眠ステージ自動判定法の開発	R4.3.24	頭金 正博	糸 和彦	鈴木 匡	奥菌 透
甲第 383号	博士 (薬学)	(とりうち こうき) 鳥内 卓暉	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	低体温療法によるグリア微小環境制御を介した神経保護効果の解析	R4.3.24	糸 和彦	青山 峰芳	服部 光治	田中 正彦
甲第 384号	博士 (薬学)	(こんどう るびい) 近藤 るびい	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	肝硬変における門脈平滑筋および肝星細胞のイオンチャネル・受容体の発現機能変化	R4.3.24	木村 和哲	山村 壽男	大澤 匡弘	岩尾 岳洋
甲第 385号	博士 (薬学)	(とみた なつみ) 富田 なつみ	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	腎障害の発症・進行予防を目的とした基礎および臨床研究	R4.3.24	山村 壽男	木村 和哲	中川 秀彦	青山 峰芳
甲第 386号	博士 (薬学)	(なかがわ ひろゆき) 中川 寛之	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	ショウジョウバエの睡眠覚醒制御機構の解析	R4.3.31	山村 壽男	糸 和彦	飯島 浩一 (客員教授)	青山 峰芳
甲第 387号	博士 (薬学)	(こんどう たかお) 近藤 崇雄	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	低酸素環境下におけるiNOSおよびIGF-2を介した破骨細胞形成促進効果	R4.3.31	肥田 重明	青山 峰芳	山村 壽男	岩尾 岳洋

学位記 番号	博士の 専攻分野 の名称	博士の学位を授与された者		博士課程の修了等の状況		主 論 文 名	授与 年月日	主査	副査 (指導教員)	副査	副査
		(ふりがな) 氏 名	性 別	大学院名	研究科(専攻)名						
乙第 206号	博士 (薬学)	(なかむら たかし) 中村 敬志	男			GIP 受容体阻害剤、SKL-14959 の抗肥満 作用に関する薬理学的研究	R3.10.29	山村 壽男	松永 民秀	頭金 正博	大澤 匡弘

2 修士学位取得者

学位 番号	分野名	氏 名	性 別	論 文 題 目	日付	主査	副査	副査	副査
2265	薬化学	倉地 彩花	女	新規抗がん剤を志向した Pin1 阻害剤と E3 ligase ligand 複合体の合成と評価	R4.3.24	中川	中村	井上	—
2266	薬化学	中嶋 雄哉	男	Sirtuin 脱アシル化活性を直接検出可能な蛍光プローブの開発とその応用	R4.3.24	中川	樋口	矢木	—
2267	薬化学	山口 遥己	男	S-sulphydryl 化タンパク質の新規解析手法開発を志向した蛍光プローブ群の合成と機能評価	R4.3.24	中川	林	池田	—
2268	精密有機反応学	橋本 英典	男	大環状化合物のカテナン構造への変換による新奇な超分子化学活性制御	R4.3.24	樋口	中川	池田	—
2269	生体超分子 システム解析学	近藤 大介	男	5-HT 受容体阻害剤メチオテピンによるマスト細胞からの炎症性メディエーター遊離抑制作用	R4.3.24	平嶋	肥田	井上	—
2270	コロイド・ 高分子物性学	井岡 未優	女	枯渇引力による金コロイド粒子の結晶化と SERS 基板への応用	R4.3.24	山中	平嶋	梅澤	—
2271	コロイド・ 高分子物性学	石神 瑛圭	男	反対符号に荷電したコロイド粒子の会合体形成と粒子/平板系の静電吸着の相関	R4.3.24	山中	樋口	田上	—
2272	コロイド・ 高分子物性学	山田 望	女	高分子電解質共存下での荷電コロイド粒子の結晶化挙動	R4.3.24	山中	尾関	田中	—
2273	生命分子構造学	山田 梨乃	女	パスポート配列による糖タンパク質の細胞内輸送と N 型糖鎖修飾の制御	R4.3.24	加藤	平嶋	林	—
2274	分子生物薬学	森田 敬子	女	PDZD8 複合体による脂質輸送を介したリポファジー制御機構	R4.3.24	白根	星野	山村	—
2275	分子生物薬学	和田 万理子	女	PDZD8 欠損マウス脳における脂質異常と神経精神疾患との関連機構	R4.3.24	白根	服部	糸	—
2276	薬物送達学	井上 智貴	男	がんの化学療法・光温熱療法に向けたヒアルロン酸-メソポーラスシリカ被覆金ナノスターの調製のための条件検討	R4.3.24	尾関	山中	松永	—
2277	薬物送達学	花木 彩香	女	多孔性 PLGA マイクロ粒子を用いたバイオ医薬品封入・徐放システムの開発	R4.3.24	尾関	湯浅	田中	—
2278	薬物送達学	山本 菜緒	女	2 液混合型スプレーノズルを用いたナノメディシン吸入剤に関する研究	R4.3.24	尾関	平嶋	岩尾	—

学位番号	分野名	氏名	性別	論文題目	日付	主査	副査	副査	副査
2279	生薬学	許 玲玉	女	カノコソウ根エキスの in vivo 鎮静活性と in vitro セロトニントランスポーター阻害活性	R4.3.24	牧野	糸	中村	—
2280	生薬学	新谷 円華	女	ケンポナシのアルコール代謝酵素に対する作用	R4.3.24	牧野	樋口	肥田	—
2281	衛生化学	伊藤 佑真	男	ビフィズス菌に対する宿主免疫応答の解析と治療応用	R4.3.24	肥田	林	尾関	—
2282	遺伝情報学	田中 幸嗣	男	Musashi2、PAPD7 によるポリ A 鎖制御と慢性骨髄性白血病由来細胞株 K562 の未分化能維持	R4.3.24	星野	糸	河野	—
2283	遺伝情報学	中島 朋香	女	LARP4 による呼吸鎖複合体構成因子の翻訳制御メカニズムの解明	R4.3.24	星野	白根	伊藤	—
2284	細胞分子薬効解析学	片山 大樹	男	マウス骨髄由来マクロファージの遊走における Kir2.1 および SOC チャネルの寄与	R4.3.24	山村	大澤	大矢(医)	—
2285	薬物動態制御学	細岡 晶	男	OCT2 の輸送機能の基質依存性と動物種差: atenolol 輸送と MPP+輸送との比較解析	R4.3.24	湯浅	頭金	岩尾	—
2286	薬物動態制御学	三宅 浩平	男	SLC19A3 のピリドキシン輸送機能の動物種差に関わる分子機構	R4.3.24	湯浅	山村	井上	—
2287	病態解析学	櫻木 章	男	TGF- β シグナルの阻害による TAM の M2 型への分極抑制を介した抗腫瘍効果	R4.3.24	青山	岩尾	松永	—
2288	病態解析学	曾山 樹	男	がん細胞が単球浸潤を促進するメカニズムの解明	R4.3.24	青山	田上	岩尾	—
2289	細胞情報学	中本 遥菜	女	脱ユビキチン化酵素 USP28 による EMT 関連転写因子 Snail の発現制御	R4.3.24	林	星野	矢木	—
2290	細胞情報学	梶田 昂毅	男	脱ユビキチン化酵素 USP17 による免疫チェックポイント分子 PD-L1 の制御機構解析	R4.3.24	林	青山	伊藤	—
2291	細胞情報学	三浦 真仁	男	XBP1 スプライシング活性を抑制する化合物の同定とその作用の解析	R4.3.24	林	牧野	梅澤	—
2292	神経薬理学	中井 慎也	男	海馬台における空間情報を表現する神経多様体	R4.3.24	糸	服部	田中	大澤
2293	神経薬理学	山崎 久朗	男	疼痛慢性化に対する視床背内側核—前帯状回皮質経路の活性化の関与	R4.3.24	糸	山村	河野	大澤

学位 番号	分野名	氏 名	性 別	論 文 題 目	日付	主査	副査	副査	副査
2294	神経薬理学	李 佳憶	女	甘味物質のマウス位相前進モデルに対する効果	R4.3.24	糸	星野	白根	大澤
2295	レギュラトリー サイエンス	鈴木 政晴	男	機械学習法を用いた皮膚感作性評価のための局所リンパ節アッセイ EC3 値定量予測モデルの開発	R4.3.24	頭金	中川	糸	—
2296	病院薬剤学	柴山 真純	女	下部尿路機能障害に対する幹細胞濾液 (SCL) の有効性の検討	R4.3.24	木村	山村	井上	—
2297	臨床薬学	松村 将成	男	胆汁鬱滞肝毒性評価系の構築	R4.3.24	松永	湯浅	頭金	—
2298	臨床薬学	李 亜玲	女	ヒト iPS 細胞由来腸内分泌細胞の機能評価	R4.3.24	松永	肥田	湯浅	—

3 講演会等

(2021年1月から2021年12月)

開催日： 2021年1月22日
講演会： 第16回「若手の力」フォーラム
場所： Zoom オンライン
世話人： 矢木宏和

開催日： 2021年1月26日
講演会： 第8回将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会
場所： Zoom オンライン
世話人： 加藤晃一

開催日： 2021年1月26日
講演会： 西濃地区薬剤師研究会
講師： 木村和哲

開催日： 2021年1月28日
講演会： Sakurayama Formulary Symposium
世話人： 木村和哲

開催日： 2021年1月29日
講演会： 2020年度 第5回 ExCELLS セミナー
講師： 吉川研一 博士
所属： 同志社大学 自己組織化科学研究センター
演題： 「化学進化」と「生物進化」の谷間に橋を架ける
場所： Zoom オンライン
世話人： 加藤晃一

開催日： 2021年1月29日
講演会： Next Generation Leader Conference
世話人： 木村和哲

開催日： 2021年2月2日
講演会： 桜山薬剤師セミナー
世話人： 木村和哲

開催日： 2021年2月19日
講演会： 第5回病棟薬剤師・薬剤師スキルアップ NOW
世話人： 木村和哲

開催日： 2021年2月25日
講演会： 2020年度 第6回 ExCELLS セミナー
講師： 松浦友亮 教授
所属： 東京工業大学 地球生命研究所
演題： 無細胞タンパク質合成系を用いてボトムアップに創る分子と分子システム
場所： Zoom オンライン
世話人： 加藤晃一

開催日： 2021年3月4日
講演会： 大塚製薬工場社内講演会
演題： 下部尿路機能障害と基礎研究から得た新たな知見
講師： 木村和哲

開催日： 2021年3月11日
講演会： 第1回薬剤師のための心不全道場
世話人： 木村和哲

開催日： 2021年6月7日
講演会： 卸勤務薬剤師会勉強会
演題： 「大学病院におけるフォーミュラリーの取り組み」薬剤師主導で策定した結果
講師： 木村和哲

開催日： 2021年6月10日
講演会： 日本化薬社内講演会
演題： 抗がん剤自動調製ロボット導入のメリットと薬剤師業務への影響
講師： 木村和哲

開催日： 2021年6月16日
講演会： 東海薬剤生涯学習センター講座
演題： せん妄と薬 ～リスクになるもの、助けになるもの～
講師： 日比陽子

開催日： 2021年8月3日
講演会： テルモ株式会社社内講演会
演題： 抗がん剤自動調製ロボット導入のメリットと薬剤師業務への影響
講師： 木村和哲

開催日： 2021年8月21日
講演会： 第6回薬学教育学会大会シンポジウムシンポジウム 10「レギュラトリーサイエンス教育をどう行うか？～他の科目との連携～」
場所： 名城大学（オンライン）
世話人： 頭金正博

開催日： 2021年9月6日
講演会： 日本新薬社内講演会
演題： 大学病院におけるフォーミュラリーの取り組み
講師： 木村和哲

開催日： 2021年9月9日
講演会： 第26回創剤フォーラム若手研究会
場所： オンライン開催
世話人： 田上辰秋

開催日： 2021年10月9日
講演会： 第31回日本医療薬学会年会シンポジウム 29 大規模医療データベースを使いこなそう～レセプト情報データベースを用いた医薬品の有効性と安全性の評価～
場所： （オンライン）
世話人： 頭金正博、飯原なおみ

開催日： 2021年10月27日
講演会： 第37回若手イブニングセミナー
講師： 松尾和哉 助教
所属： 京都工芸繊維大学分子化学系
演題： 光と薬剤を駆使し、分裂期染色体を操作する
世話分野： 薬化学分野

開催日： 2021年11月11日
講演会： 第18回NCU Life Science Seminar
講師： 清中茂樹 教授
所属： 名古屋大学大学院工学研究科

演題： ケモジェネティクスによる受容体の in vivo 機能解明を目指して
世話分野： 薬化学分野

開催日： 2021年11月18日
講演会： 有機系合同セミナー
講師： 秋山敏毅 助教
所属： 名古屋市立大学大学院薬学研究科
演題： 金属ナノ粒子触媒を用いる有機合成
世話分野： 薬品合成化学分野

開催日： 2021年12月11日
講演会： 第42回臨床薬理学会学術年会シンポジウム36 「臨床薬理学と人工知能」
場所： 仙台国際センター
世話人： 頭金正博、樋坂章博

開催日： 2021年12月14日
講演会： 2021年度 第1回 ExCELLS セミナー
講師： 松尾宗征 助教
所属： 広島大学大学院統合生命科学研究科
演題： 分子集合体の触媒作用で探る生命の創成
場所： 生命創生探究センターおよび Zoom オンライン
世話人： 加藤晃一

4 研究業績目録

(2021年1月から2021年12月)

【薬化学分野】

(原報)

Kazuya Matsuo, Sampreeth Thayyil, Mitsuyasu Kawaguchi, Hidehiko Nakagawa, and Nobuyuki Tamaoki
A visible light-controllable Rho kinase inhibitor based on a photochromic phenylazothiazole
Chem. Commun., **57**, 12500-12503 (2021).

Mitsuyasu Kawaguchi, Eriko Sekimoto, Yuhei Ohta, Naoya Ieda, Takashi Murakami, and Hidehiko Nakagawa
Synthesis of fluorescence probes targeting tumor-suppressor protein FHIT and identification of apoptosis-inducing FHIT inhibitors
J. Med. Chem., **64**, 9567-9576 (2021).

Kotomi Maeda, Yuji Hotta, Naoya Ieda, Tomoya Kataoka, Hidehiko Nakagawa, and Kazunori Kimura.
Control of rat bladder neck relaxation with NORD-1, a red light-reactive nitric oxide releaser: in vitro study
J. Pharm. Sci., **146**, 226-232 (2021).

Yuya Nakajima, Mitsuyasu Kawaguchi, Naoya Ieda, and Hidehiko Nakagawa.
A set of highly sensitive sirtuin fluorescence probes for screening small-molecular SIRT defatty-acylase inhibitors
ACS Med. Chem. Lett., **12**, 617-624 (2021).

(総説・著書・総合論文など)

Mitsuyasu Kawaguchi, Hidehiko Nakagawa
Live-Cell Imaging of Sirtuin Activity Using a One-Step Fluorescence Probe
Methods Mol. Biol., **2274**, 155-168 (2021).

(学会発表)

齋藤大介、家田直弥、川口充康、中川秀彦
カルコゲノローダミンをアンテナとする光制御 NO ドナーの合成と機能評価
日本酸化ストレス学会東海支部第9回学術集会, 2021年2月13日、名古屋、O-10 (オンライン開催)

中川秀彦、家田直弥
分子内電子移動反応に基づく NO 放出剤の開発と生物応用への展開
第74回日本酸化ストレス学会 第21回日本 NO 学会合同学術集会, 5月19-20日、仙台、JS-2 (オンライン開催)

北村紗枝、家田直弥、川口充康、中川秀彦
PeT 駆動型光制御 NO ドナーにおける光吸収部位の構造活性相関研究
第74回日本酸化ストレス学会 第21回日本 NO 学会合同学術集会, 5月19-20日、仙台、Os2-4 (オンライン開催)

中嶋雄哉、川口充康、家田直弥、中川秀彦
Sirtuin 脱アシル化阻害剤のスクリーニングに適用可能なケミカルプローブ群の開発

第 74 回日本酸化ストレス学会 第 21 回日本 NO 学会合同学術集会, 5 月 19-20 日, 仙台, Os3-4 (オンライン開催)

家田直弥、川口充康、中川秀彦

低酸素状態の時空間制御を志向した光応答性酸素消費分子の合成と評価

第 74 回日本酸化ストレス学会 第 21 回日本 NO 学会合同学術集会, 5 月 19-20 日, 仙台, P3-12 (オンライン開催)

中嶋雄哉、川口充康、家田直弥、中川秀彦

Sirtuin 脱脂肪酸アシル化阻害剤開発を指向した蛍光プローブ群の開発

日本ケミカルバイオロジー学会 第 15 回年会, 6 月 21-23 日, 福岡, P-17 (オンライン開催)

倉地彩花, 家田直弥, 井上靖道, 川口充康, 中川秀彦

Pin1 阻害剤と E3 ligase リガンド複合体による Pin1 分解能の評価

第 67 回日本薬学会東海支部大会, 2021 年 7 月 3 日, 名古屋, B-16S (オンライン開催)

中嶋雄哉, 川口充康, 家田直弥, 中川秀彦 【学生優秀発表賞】

Sirtuin 脱ミリスチル化阻害剤のスクリーニングに適用可能なケミカルプローブ群の開発

第 67 回日本薬学会東海支部大会, 2021 年 7 月 3 日, 名古屋, B-17S (オンライン開催)

川口充康

ジニトロベンゼン骨格を持つ Cys-SSH 検出蛍光プローブの開発と細胞イメージング

生理研研究会「生命を支える硫黄生物学の最前線」, 2021 年 7 月 30-31 日, 仙台, 一般公演 10 (オンライン開催)

山口遥己、川口充康、井田智章、松永哲郎、家田直弥、赤池孝章、中川秀彦 【ベストプレゼン賞】

S-Sulfhydryl 化タンパク質解析を志向した hydropersulfide ラベル化蛍光プローブの開発

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部, 2021 年 10 月 30 日-11 月 7 日, 名古屋, B-13 (オンライン開催)

吉川侑佳、家田直弥、川口充康、中川秀彦 【ベストプレゼン賞】

光応答性 NO⁺ドナーの合成とその NO⁺放出能の評価

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部, 2021 年 10 月 30 日-11 月 7 日, 名古屋, B-14 (オンライン開催)

【精密有機反応学分野】

(原報)

Taisei Amano, Hideki Inagaki, Yoshinori Shirakawa, Yuuki Yano, Yosuke Hisamatsu, Naoki Umezawa, Nobuki Kato, Tsunehiko Higuchi

New strategy for synthesis of bis-pocket metalloporphyrins enabling regioselective catalytic oxidation of alkanes

Bull. Chem. Soc. Jpn., **94**(10), 2563-2568 (2021).

Hiroki Kitagawa, Masaki Kikuchi, Shin Sato, Hisami Watanabe, Naoki Umezawa, Maiko Kato, Yosuke Hisamatsu, Takashi Umehara, Tsunehiko Higuchi

Structure-based identification of potent lysine-specific demethylase 1 inhibitor peptides and temporary cyclization to enhance proteolytic stability and cell growth-inhibitory activity

J. Med. Chem., **64**(7), 3707-3719 (2021).

Yosuke Hisamatsu, Koki Otani, Hiroshi Takase, Naoki Umezawa, Tsunehiko Higuchi

Fluorescence response and self-assembly of a tweezer-type synthetic receptor triggered by complexation with heme and its catabolites

Chem. Eur. J., **27**(21), 6489-6499 (2021).

Tomoki Kitagawa, Takashi Nishio, Yuko Yoshikawa, Naoki Umezawa, Tsunehiko Higuchi, Chwen-Yang Shew, Takahiro Kenmotsu, Kenichi Yoshikawa

Effects of structural isomers of spermine on the higher-order structure of DNA and gene expression

Int. J. Mol. Sci., **22**(5), 2355-2369 (2021).

(総説・著書・総合論文など)

米田誠治, 樋口恒彦

医薬分野におけるゴールド（金）の有用性と可能性

薬学雑誌, **141**(3), 303-304 (2021).

青木伸、横井健汰、Chandrasekar Balachandran、久松洋介

Post-complexation functionalization によるシクロメタレート型イリジウム(III)錯体の機能化と生命科学および材料科学への応用—金属錯体をビルディングブロックとする機能性分子の創製—

有機合成化学協会誌, **79**(12), 1113-1124 (2021)

Shin Aoki, Akib Bin Rahman, Yosuke Hisamatsu, Yuya Miyazawa, Mohd Zulkefeli, Yutaka Saga, and Tomohiro Tanaka

“Development of Metallosupramolecular Phosphatases Based on the Combinatorial Self-Assembly of Metal Complexes and Organic Building Blocks for the Catalytic Hydrolysis of Phosphate Monoesters”

Results in Chemistry, **3**, 100133 (2021).

(学会発表)

Tomoki Kitagawa, Takashi Nishio, Naoki Umezawa, Tsunehiko Higuchi, Yuko Yoshikawa, Takahiro Kenmotsu, Kenichi Yoshikawa

Biphasic effect of polyamines on gene expression in relation to the specific change of the higher-order structure of DNA.

BPS2021 (65th Biophysical Society Annual Meeting), 2021 年 2 月 22 - 26 日, Virtual.

樋口恒彦

銅イオン・銅錯体の化学反応性及び銅関連疾患治療薬としてのキレーターの可能性
日本薬学会第 141 年会, 2021 年 3 月 26 - 29 日 (オンライン) .

橋本英典、高田将史、久松洋介、梅澤直樹、樋口恒彦

生理活性大環状化合物の新しい一般的ケーシング法としてのカテナン構造化制御
日本薬学会第 141 年会, 2021 年 3 月 26 - 29 日 (オンライン) .

宮本啓補、澤田雅人、山崎久朗、梅澤直樹、樋口恒彦、糸和彦、澤本和延、大澤匡弘

成体海馬ニューロン新生に着目した痛みの慢性化を引き起こす中枢神経回路の解明
日本薬学会第 141 年会, 2021 年 3 月 26 - 29 日 (オンライン) .

樋口恒彦 【招待講演】

精密設計へム関連錯体による生物無機化学研究

第 30 回 金属の関与する生体関連反応シンポジウム 2021 年 6 月 19 日 (オンライン)

程方舟、久松洋介、山本勝宏、高瀬弘嗣、梅澤直樹、樋口恒彦

両親媒性 4-アミノキノリン誘導体の pH および塩濃度依存的自己集合挙動の評価
第 15 回バイオ関連化学シンポジウム, 2021 年 9 月 8 - 10 日 (オンライン)

Hidenori Hashimoto, Masafumi Takada, Yosuke Hisamatsu, Naoki Umezawa, Tsunehiko Higuchi

Catenane Formation as a Novel and General Caging Strategy for Bioactive Macrocycles.

AIMECS2021, 2021 年 11 月 29 - 12 月 2 日, Virtual.

Tsunehiko Higuchi, Yuuki Yano, Yoshinori Shirakawa, Naoki Umezawa, Yosuke Hisamatsu, Yoshio Kobayashi.

Synthetic heme thiolate, heme alcoholate, heme selenolate: their marked differences in spectroscopic properties and catalytic oxidative properties.

Pacificchem2021, 2021 年 12 月 16 - 21 日, Virtual.

Yosuke Hisamatsu, Koki Otani, Hiroshi Takase, Naoki Umezawa, Tsunehiko Higuchi

Fluorescence response and self-assembly behavior of a tweezer-type synthetic receptor triggered by complexation with heme.

Pacificchem2021, 2021 年 12 月 16 - 21 日, Virtual.

Tomohiro Tanaka, Masumi Hirose, Chandrasekar Balachandran, Yosuke Hisamatsu, Yasuyuki Yamada, Shin Aoki

Design and synthesis of poly(2,2'-bipyridyl) ligands for chelation therapy of cancer: Modulation of cytotoxicity by complexation with metal cations

Pacificchem2021, 2021 年 12 月 16 - 21 日, Virtual.

【薬品合成化学分野】

(原報)

Saki Inatomi, Yuta Takayanagi, Kento Watanabe, Akinori Toita, Hiroyuki Yamakoshi, Seiichi Nakamura
Stereoselective 1,4-Addition of Primary Alcohols to γ -Alkoxy- α,β -unsaturated Esters.
Synthesis, **53**, 161–174 (2021).

(学会発表)

野口公寛, 斎藤彩有里, 秋山敏毅, 山越博幸, 中村精一 【優秀発表賞】
カドコシラクトン A の合成研究 ～DE 環フラグメントの合成～.
日本薬学会第 141 年会, 2021 年 3 月 27 日 (オンライン) .

服部泰之, 秋山敏毅, 山越博幸, 中村精一
DDQ 酸化を引き金とする環化/転位連続反応の開発.
日本薬学会第 141 年会, 2021 年 3 月 28 日 (オンライン) .

伊藤壮祐, 秋山敏毅, 山越博幸, 中村精一
フタラン誘導体の酸化/付加環化連続反応を基盤とする(±)-モルヒネの形式合成～合成ルートの改良～.
第 67 回日本薬学会東海支部総会・大会, 2021 年 7 月 3 日 (オンライン) .

秋山敏毅, 山内裕貴, 山越博幸, 中村精一
DMSO を求核剤とする酸化型シクロプロパン開環反応の開発.
第 47 回反応と合成の進歩シンポジウム, 2021 年 10 月 4 日 (オンライン) .

野口公寛, 斎藤彩有里, 秋山敏毅, 山越博幸, 中村精一
カドコシラクトン A の合成研究 ～ラジカルカスケード反応による DE 環フラグメントの合成～.
第 50 回複素環化学討論会, 2021 年 10 月 7 日 (オンライン) .

Sousuke Ito, Mirai Kage, Toshiki Akiyama, Hiroyuki Yamakoshi, Seiichi Nakamura
Formal Synthesis of (±)-Morphine by a Tandem Oxidation/Intramolecular Diels–Alder Strategy.
AIMECS2021, 2021 年 11 月 29 日 (オンライン) .

【生体超分子システム解析学分野】

(原報)

Yuki Horie, Toshiaki Arame, Naohide Hirashima, Masahiko Tanaka
Promotion of dendritic differentiation of cerebellar Purkinje cells by Ca^{2+} /calmodulin-dependent protein kinase II α , II β and IV and possible involvement of CREB phosphorylation.
Neuroscience, **458**, 87-98 (2021).

Ruriko Suzuki, Yoshikazu Inoh, Satoru Yokawa, Tadahide Furuno, Naohide Hirashima
Receptor dynamics regulates actin polymerization state through phosphorylation of cofilin in mast cells.
Biochem. Biophys. Res. Commun., **534**, 714-719 (2021).

(学会発表)

寺本 光, 平嶋尚英, 田中正彦
Calcineurin を欠損した小腸グリア細胞における増殖能低下と分泌物質量変化：小腸機能異常及び恒常性破綻との関連の探求.
日本薬学会第 141 年会, 2021 年 3 月 27 日 (オンライン開催) ; 27P02-284.

二宮里帆, 服部幸希, 鈴木瑠理子, 田中正彦, 平嶋尚英
マスト細胞の活性化における分泌顆粒膜タンパク質 Orai-2 の機能解析.
日本薬学会第 141 年会, 2021 年 3 月 28 日 (オンライン開催) ; 28P01-109S.

岡田隼佑, 橋本侑昇, 川合皓征, 平嶋尚英, 鈴木 亮
アレルギー疾患モデルを用いた加齢におけるアレルギー応答調節メカニズム.
日本薬学会第 141 年会, 2021 年 3 月 29 日 (オンライン開催) ; 29P01-102S.

鈴木瑠理子, 横川 慧, 伊納義和, 古野忠秀, 平嶋尚英
マスト細胞における IgE 受容体の架橋状態の変化がアクチン重合・脱重合に及ぼす影響.
第 67 回日本薬学会東海支部大会, 2021 年 7 月 3 日 (オンライン開催) ; D-6.

田中正彦, 荒目俊明, 平嶋尚英
 Ca^{2+} /calmodulin-dependent protein kinase II α , II β , IV による小脳プルキンエ細胞の樹状突起形成促進機構.
第 44 回日本神経科学大会, 2021 年 7 月 28 日 (神戸 ; Hybrid 開催) ; 1P-006.

鈴木瑠理子, 横川 慧, 伊納義和, 古野忠秀, 平嶋尚英
マスト細胞の IgE 受容体の架橋・解離がアクチン重合・脱重合に及ぼす影響.
第 42 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2021 年 10 月 28~29 日 (オンライン開催) .

篠田 桃, 平嶋尚英, 田中正彦
GFAP-Cre calcineurin B $\alpha^{fl/fl}$ mice における肝星細胞および肝臓の異常.
第 44 回日本分子生物学会年会, 2021 年 12 月 2 日 (横浜) ; 2P-0603.

【コロイド・高分子物性学分野】

(原報)

M. Ioka, A. Toyotama, M. Yamaguchi, J. Nozawa, S. Uda, T. Okuzono, M. Yoshimura, and J. Yamanaka
Crystallization of charged gold particles due to depletion attraction in the coexistence of like-charged polyelectrolyte.

J. Chem. Phys., **154.**, 234901 (2021).

(総説・著書・総合論文など)

山中淳平,三木裕之,藤田みのり,青山柚里奈,豊玉彰子,奥菌透,武田真一 3次元および2次元コロイド結晶の構築.粉体工学会誌, **58巻**, 4号 pp.193-198 (2021).

山中淳平,奥菌透,豊玉彰子

「分散系のレオロジー ―基礎・評価・制御・応用―」,監修 鈴木洋
コロイド粒子間の相互作用.

エヌ・ティー・エス出版, 第1章3節(2021).

(学会発表)

山中淳平

コロイド系の構造形成と宇宙実験.

第38回コロイド界面技術シンポジウム「みんなを元気にするすごい技術 アフターコロナの研究開発～動向/指針/変化する研究」, 2021年2月5日 (オンライン開催) .

山中淳平【招待講演】

コロイド結晶化に関する最近の研究.

東北大学共同研究セミナー, 2021年2月22日 (オンライン開催) .

山田望【招待講演】

枯渇引力によるコロイド粒子会合体の構造.

Association Structures of Colloidal Particles Formed by Depletion Attraction.

東北大学共同研究セミナー, 2021年2月22日 (オンライン開催) .

Junpei Yamanaka, Hiroyuki Miki, Teruyoshi Ishigami, Minori Fjita, Akiko Toyotama, and Tohru Okuzono
Clustering of Oppositely Charged Colloidal Particles.

The 8th Asian Conference on Crystal growth and Technology, 2021年3月3日 (オンライン開催) .

Miyu Ioka, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, Junpei Yamanaka

Gold Colloidal Crystals Due to Depletion Attraction and Their Applications for SERS.

The 8th Asian Conference on Crystal growth and Technology, 2021年3月3日 (オンライン開催) .

Nozomi Yamada, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, Jun Nozawa, Satoshi Uda, and Junpei Yamanaka
Non-classical crystal growths of colloidal systems due to depletion attraction.

The 8th Asian Conference on Crystal growth and Technology, 2021年3月3日 (オンライン開催) .

坂本万由子,奥菌透,豊玉彰子,山中淳平

コロイド粒子間相互作用における表面化学反応の効果.

日本物理学会第 76 回年次大会, 2021 年 3 月 15 日 (オンライン開催) .

Yamanaka Junpei

Clustering of oppositely charged colloidal particles.

11th LIQUID MATTER CONFERENCE 2020/2021, 2021 年 7 月 19 - 23 日 (オンライン開催・プラハ) .

T. Okuzono, T. Seki, A. Toyotama, J. Yamanaka

Phoretic motion of a weakly charged colloidal particle with a surface chemical reaction.

11th LIQUID MATTER CONFERENCE 2020/2021, 2021 年 7 月 19 日 (オンライン開催・プラハ) .

Toyotama Akiko

Colloidal Crystallization by Depletion attraction.

11th LIQUID MATTER CONFERENCE 2020/2021, 2021 年 7 月 19 - 23 日 (オンライン開催・プラハ) .

Fujita Minori

Single-sheet diamond colloidal crystals formed by layer-by-layer electrostatic self-assembly.

11th LIQUID MATTER CONFERENCE 2020/2021, 2021 年 7 月 19 - 23 日 (オンライン開催・プラハ) .

山中淳平, 藤田みのり, 青山柚里奈, 石神瑛圭, 三木裕之, 豊玉彰子, 奥菌透
荷電コロイド粒子の会合と基板への静電吸着による構造形式.

第 72 回コロイドおよび界面化学討論会, 2021 年 9 月 15 日 (オンライン開催) .

青山柚里奈, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平

静電吸着を利用した二次元荷電コロイド結晶の作製.

第 72 回コロイドおよび界面化学討論会, 2021 年 9 月 15 日 (オンライン開催) .

石神瑛圭, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平

荷電コロイド粒子の平板への静電吸着と会合体形成の相関.

第 72 回コロイドおよび界面化学討論会, 2021 年 9 月 17 日 (オンライン開催) .

山口めぐみ, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平

二次元非最密充填型金コロイド結晶の作製.

第 72 回コロイドおよび界面化学討論会, 2021 年 9 月 17 日 (オンライン開催) .

井岡未優, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平

枯渇引力による金コロイド粒子の結晶化と SERS 基板への応用.

第 72 回コロイドおよび界面化学討論会, 2021 年 9 月 17 日 (オンライン開催) .

藤澤貫平, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平

枯渇引力によるコロイド結晶化と顕微分光法を用いた結晶構造解析.

第 72 回コロイドおよび界面化学討論会, 2021 年 9 月 17 日 (オンライン開催) .

平井綾音, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平

浸透圧によるマイクロゲル粒子の収縮挙動.

第 72 回コロイドおよび界面化学討論会, 2021 年 9 月 17 日 (オンライン開催) .

Junpei Yamanaka

Space Experiments on Clustering of Charged Colloids.

The 8th Asian Particle Technology Symposium(APT2021), 2021 年 10 月 11 日 (大阪・オンライン参加) .

Yurina Aoyama, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, Junpei Yamanaka
Two-dimensional charged colloidal crystals by electrostatic adsorption.
The 8th Asian Particle Technology Symposium (APT2021), 2021年10月11日 (大阪・オンライン参加) .

山中淳平, 三木裕之, 石神瑛圭, 森優月, 豊玉彰子, 奥菌透, 足立聡, 坂下哲也, 島岡太郎, 永井正恵, 渡邊勇基, 福山誠二郎

Colloidal Clusters 宇宙実験による荷電コロイド粒子の会合挙動の研究.
日本マイクログラビティ応用学会 第33回学術講演会 (JASMAC-33), 2021年10月13日 (オンライン開催) .

三木裕之, 石神瑛圭, 森優月, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平, 足立聡, 坂下哲也, 島岡太郎, 永井正恵, 渡邊勇基, 福山誠二郎

Colloidal Clusters 宇宙実験における会合体形成の検討.
日本マイクログラビティ応用学会 第33回学術講演会 (JASMAC-33), 2021年10月13日 (オンライン開催) .

井岡未優, 豊玉彰子, 野澤純, 宇田聡, 奥菌透, 山中淳平
枯渇引力による金コロイド粒子の結晶化と SERS 基板への応用.
第50回結晶成長国内会議, 2021年10月13日 (オンライン開催) .

平井綾音, 佐藤結, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平
枯渇引力によるマイクロゲル粒子の結晶化.
第50回結晶成長国内会議, 2021年10月13日 (オンライン開催) .

藤田みのり, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平
荷電コロイド粒子を用いた単層ダイヤモンド格子の構築.
第52回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 2021年10月31日 (静岡・オンライン参加) .

豊玉彰子
界面活性剤概論～物理化学の視点から～
界面科学実践講座 2021－基礎と応用－, 2021年11月26日 (愛知県名古屋市)

Junpei Yamanaka, Hiroyuki Miki, Teruyoshi Ishigami, Minori Fujita, Yurina Aoyama, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono
Clustering of oppositely charged colloidal particles.
PACIFICHEM2021, 2021年12月16日 (ハワイ・オンライン参加) .

Miyu Ioka, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, Junpei Yamanaka
Gold Colloidal crystals due to depletion attraction and their applications for SERS
PACIFICHEM2021, 2021年12月17日 (ハワイ・オンライン参加) .

Minori Fujita, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, Junpei Yamanaka
Single-sheet diamond colloidal crystals formed by layer-by-layer electrostatic self-assembly.
PACIFICHEM2021, 2021年12月17日 (ハワイ・オンライン参加) .

Tohru Okuzono, Akiko Toyotama, Junpei Yamanaka
Phoretic motion of a weakly charged colloidal particle with a surface chemical reaction.
PACIFICHEM2021, 2021年12月17日 (ハワイ・オンライン参加) .

【生命分子構造学分野】

(原報)

Siriluk Ratanabunyong, Niran Aeksiri, Saeko Yanaka, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, Kiattawee Choowongkomol, and Supa Hannongbua,
Characterization of new DNA aptamers for anti-HIV-1 reverse transcriptase
ChemBioChem **22**, 915-923 (2021).

Saeko Yanaka, Yoshiki Yamaguchi, Takeshi Takizawa, Yohei Miyanoiri, Rina Yogo, Ichio Shimada, and Koichi Kato
NMR assignments of the N-glycans of the Fc fragment of mouse immunoglobulin G2b glycoprotein
Biomol. NMR Assign. **15**, 187-192 (2021).

Siriluk Ratanabunyong, Maho Yagi-Utsumi, Saeko Yanaka, Koichi Kato, Kiattawee Choowongkomon, and Supa Hannongbua
Investigation of RT1t49 aptamer binding to human immunodeficiency virus 1 reverse transcriptase
J. Curr. Sci. and Technol. **11**, 51-59 (2021).

Aya Okuda, Rintaro Inoue, Ken Morishima, Tomohide Saio, Yasuhiro Yunoki, Maho Yagi-Utsumi, Hirokazu Yagi, Masahiro Shimizu, Nobuhiro Sato, Reiko Urade, Koichi Kato, and Masaaki Sugiyama
Deuteration aiming for neutron scattering
Biophys. Physicobiol. **18**, 16-27 (2021).

Maho Yagi-Utsumi, Tomohiro Tanaka, Yoko Otsubo, Akira Yamashita, Shinji Yoshimura, Motohiro Nishida, and Koichi Kato
Cold atmospheric plasma modification of amyloid β
Int. J. Mol. Sci. **22**, 3116 (2021).

Chihong Song, Tadashi Satoh, Taichiro Sekiguchi, Koichi Kato and Kazuyoshi Murata
Structural fluctuations of the human proteasome $\alpha 7$ homo-tetradecamer double ring imply the proteasomal α -ring assembly mechanism
Int. J. Mol. Sci. **22**, 4519 (2021).

Tokio Watanabe, Hirokazu Yagi, Saeko Yanaka, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato
Comprehensive characterization of oligosaccharide conformational ensembles with conformer classification by free-energy landscape via reproductive kernel Hilbert space
Phys. Chem. Chem. Phys. **23**, 9753-9760 (2021).

Ryo Ohtani, Yuka Anegawa, Hikaru Watanabe, Yutaro Tajima, Masanao Kinoshita, Nobuaki Matsumori, Kenichi Kawano, Saeko Yanaka, Koichi Kato, Masaaki Nakamura, Masaaki Ohba, and Shinya Hayami
Metal complex lipids for fluid-fluid phase separation in co-assembled phospholipid membranes
Angew. Chem. Int. Ed. **70**, 13603-13608 (2021).

Kazuhiisa Miyazawa, Satoru G. Itoh, Hiroki Watanabe, Takayuki Uchihashi, Saeko Yanaka, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, Kazuharu Arakawa, and Hisashi Okumura
Tardigrade secretory-abundant heat-soluble protein has a flexible β -barrel structure in solution and keeps this structure in dehydration
J. Phys. Chem. B. **125**, 9145-9154 (2021).

Nobuhiro Sato, Rina Yogo, Saeko Yanaka, Anne Martel, Lionel Porcar, Ken Morishima, Rintaro Inoue, Taiki Tominaga, Takao Arimori, Junichi Takagi, Masaaki Sugiyama, and Koichi Kato
A feasibility study of inverse contrast-matching small-angle neutron scattering method combined with size exclusion chromatography using antibody interactions as model systems
J. Biochem. **169**, 701-708 (2021).

Fumiya Yamasakia, Fumiko Umezawa, Tomohiro Sensui, Masashi Anzo, Hirohito Abo, Chu-Wei Kuo, Kay-Hooi Khoo, Koichi Kato, Hirokazu Yagi, and Hiroto Kawashima
Establishment of a novel monoclonal antibody against truncated glycoforms of α -dystroglycan lacking matriglycans

Biochem. Biophys. Res. Commun. **579**, 8-14 (2021).

Maho Yagi-Utsumi, Kazuhiro Aoki, Hiroki Watanabe, Chihong Song, Seiji Nishimura, Tadashi Satoh, Saeko Yanaka, Christian Ganser, Sae Tanaka, Vincent Schnapka, Ean Wai Goh, Yuji Furutani, Kazuyoshi Murata, Takayuki Uchihashi, Kazuharu Arakawa and Koichi Kato
Desiccation-induced fibrous condensation of CAHS protein from an anhydrobiotic tardigrade
Sci. Rep. **11**, Article number: 21328 (2021).

Ginto George, Satoshi Ninagawa, Hirokazu Yagi, Jun-ichi Furukawa, Noritaka Hashii, Akiko Ishii-Watabe, Ying Deng, Kazutoshi Matsushita, Tokiro Ishikawa, Yugoviandi P Mamahit, Yuta Maki, Yasuhiro Kajihara, Koichi Kato, Tetsuya Okada, and Kazutoshi Mori
Purified EDEM3 or EDEM1 alone produces determinant oligosaccharide structures from M8B in mammalian glycoprotein ERAD
eLife **10**, e70357 (2021).

Yumi Murai, Maho Yagi-Utsumi, Masayuki Fujiwara, Sae Tanaka, Masaru Tomita, Koichi Kato and Kazuharu Arakawa
Multiomics study of a heterotardigrade, *Echiniscus testudo*, suggests the possibility of convergent evolution of abundant heat- soluble proteins in Tardigrada
BMC Genomics **22**, 813 (2021).

Daishi Fujita, Ryoto Suzuki, Yuya Fujii, Mayu Yamada, Takahiro Nakama, Akimasa Matsugami, Fumiaki Hayashi, Jing-Ke Weng, Maho Yagi-Utsumi, and Makoto Fujita
Protein stabilization and refolding in a gigantic self-assembled cage
Chem **7**, 2672-2683 (2021).

(総説・著書・総合論文など)

矢木真穂, 加藤晃一
膜環境におけるアミロイドβの分子集合に関する構造的知見
膜 **46**, 2-6 (2021).

Hirokazu Yagi, Saeko Yanaka, and Koichi Kato
Structural and functional roles of the N-glycans in therapeutic antibodies
Comprehensive Glycoscience, 2nd edition (J. Barchi ed.), Elsevier (Oxford), vol.5, pp.534-542 (2021).

矢木宏和, 加藤晃一
糖タンパク質の小胞体からゴルジ体への輸送効率を高めるペプチド配列の発見と応用
バイオサイエンスとバイオインダストリー **79**, 472-476 (2021).

(学会発表)

加藤晃一【招待講演】
高橋禮子先生のレガシー
糖鎖科学中部拠点 第16回「若手の力」フォーラム 2021年1月22日【オンライン開催】

浅野早知, 田中秀則, 今村彰宏, 石田秀治, 矢木宏和, 加藤晃一, 水上大輝, 平井 剛, 安藤弘宗
細胞膜ラフト親和性相互作用の理解に向けた光親和性スフィンゴ糖脂質プローブの開発研究
糖鎖科学中部拠点 第16回「若手の力」フォーラム 2021年1月22日【オンライン開催】 ; O-05.

齋藤泰輝, 矢木宏和, Chu-Wei Kuo, Kai-Hooi Khoo, 加藤晃一【2020年糖鎖科学中部拠点奨励賞受賞】

糖タンパク質に組み込まれた Lewis X 修飾暗号は FUT9 との相互作用を規定する
糖鎖科学中部拠点 第16回「若手の力」フォーラム 2021年1月22日【オンライン開催】 ; O-17.

梅澤芙美子, 矢木宏和, 山崎郁弥, Chu-Wei Kuo, Kay-Hooi Khoo, 志村貴也, 川島博人, 加藤晃一
真核生物のグリセロールリン酸修飾の生合成関連酵素である CDP-グリセロール合成酵素の同定
糖鎖科学中部拠点 第 16 回「若手の力」フォーラム 2021 年 1 月 22 日【オンライン開催】 ; O-24.

太田知世, 吉田祐貴, 佐藤匡史, 田中 冴, 堀川大樹, 富田 勝, 加藤晃一, 荒川和晴
【優秀発表賞受賞】

クマムシに特異的な新規抗酸化タンパク質 AMNP の構造機能解析
第 8 回 将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会
2021 年 1 月 26 日【オンライン開催】 ; 11.

佐々木雄大, 北原 亮, 西村勝之, 谷中冴子, 矢木真穂, 荒川和晴, 佐藤匡史, 加藤晃一
ヨコヅナクマムシに豊富に存在するタンパク質の NMR 解析
第 8 回 将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会
2021 年 1 月 26 日【オンライン開催】 ; 12.

宮本洋佑, 守島 健, 柚木康弘, 清水将裕, 奥田 綾, 佐藤信浩, 井上倫太郎, 裏出令子, 矢木宏和,
加藤晃一, 杉山正明
解離会合平衡下におけるタンパク質複合体の溶液構造解析
京都大学複合原子力科学研究所 第 55 回 学術講演会 2021 年 1 月 28-29 日【オンライン開催】

加藤晃一【招待講演】
アルツハイマー病発症のカギとなるアミロイド線維のかたちの変化
～「きぼう」で発見！宇宙では独特なかたちのアミロイド線維ができる～
国際宇宙ステーション「きぼう」利用シンポジウム 2021【DAY2】“サイエンス”で宇宙最先端を行く
2021 年 2 月 5 日【オンライン開催】

矢木真穂
低温大気圧プラズマ照射に伴う生体分子の動的 3 次元構造の変化
プラズマバイオコンソーシアム研究報告会 2021 年 2 月 19 日【オンライン開催】

矢木宏和
細胞内の物流を促す分子のパスポートを利用したバイオ医薬品の生産向上
ABiS Symposium『先端バイオイメージングの現在そして未来 ～我が国の研究戦略～』
2021 年 2 月 24 日【オンライン開催】

加藤晃一
生命創成探究センター (ExCELLS) の活動展開
第 23 回 自然科学研究機構 小森彰夫機構長プレス懇談会 2021 年 3 月 5 日【オンライン開催】

佐藤信浩, 與語理那, 谷中冴子, Anne Martel, Lionel Porcar, 守島 健, 井上倫太郎, 富永大輝, 有
森貴夫, 高木淳一, 杉山正明, 加藤晃一
SEC-iCM-SANS による抗体分子の精密構造解析
High-precision structural analysis of antibody molecules by SEC-iCM-SANS
2020 年度量子ビームサイエンスフェスタ 第 12 回 MLF シンポジウム、第 38 回 PF シンポジウム
2021 年 3 月 9-11 日【オンライン開催】

守島 健, 宮本洋祐, 清水将裕, 柚木康弘, 奥田 綾, 佐藤信浩, 井上倫太郎, 裏出令子, 矢木宏和,
加藤晃一, 杉山正明
超遠心分析と X 線小角散乱の統合手法 (AUC-SAXS) によるタンパク質複合体の構造解析
Structural analysis of protein complex by integrative method with analytical ultracentrifugation and small-angle
X-ray scattering (AUC-SAXS)
2020 年度量子ビームサイエンスフェスタ 第 12 回 MLF シンポジウム、第 38 回 PF シンポジウム
2021 年 3 月 9-11 日【オンライン開催】

中川 洋, 井上倫太郎, 小田 隆, 矢木-内海真穂, 斉尾智英, 笠口友隆, 長田裕也, 杉山正明, 佐藤衛,
川北至信, 岩瀬裕希, 富永大輝, 高田慎一
蛋白質の階層構造ダイナミクス of 解明
2020 年度量子ビームサイエンスフェスタ 第 12 回 MLF シンポジウム、第 38 回 PF シンポジウム
2021 年 3 月 9-11 日【オンライン開催】

加藤晃一

ExCELLS の説明

第 31 回 自然科学研究機構シンポジウム「生きているとは何か？」 2021 年 3 月 13 日【オンライン開催】

浅野早知, 田中秀則, 今村彰宏, 石田秀治, 矢木宏和, 加藤晃一, 水上大輝, 平井 剛, 安藤弘宗
新規光反応性基「セレンフェン-2-イル置換型 α -ケトアミド」を用いた光親和性スフィンゴ糖脂質プロ
ローブの開発と細胞膜ラフト親和性相互作用の理解に向けた応用
Development of photoaffinity glycosphingolipid probes for understanding raft-associated interactions in the
cell membrane by utilizing a novel photoreactive group 'selenophen-2-yl-substituted α -ketoamide'
日本農芸化学会 2021 年度大会 2021 年 3 月 19-21 日【オンライン開催】

竹内絵里奈, 鈴木亮人, 中間貴寛, 矢木真穂, 藤田大士, 加藤晃一, 藤田 誠
アミロイド β 初期会合体の構造解析に向けた凝集性 C 末端断片の自己集合球状錯体への包接
日本化学会 第 101 春季年会 2021 年 3 月 21 日【オンライン開催】 ; P02-3pm-24

鈴木亮人, 竹内絵里奈, 中間貴寛, 矢木真穂, 加藤晃一, 藤田大士, 藤田 誠
M12L24 錯体への閉じ込めを利用したアミロイド β 疎水性コアの凝集制御および構造解析
日本化学会 第 101 春季年会 2021 年 3 月 22 日【オンライン開催】 ; A24-4am-06

谷中冴子【物理系薬学部会奨励賞受賞】

抗体の 3 次元構造と相互作用のダイナミクスを解明する方法の開発と抗体の高機能化への展開
日本薬学会 第 141 年会 2021 年 3 月 27 日【オンライン開催】 ; S06-2.

與語理那, 谷中冴子, 矢木宏和, 加藤晃一

血清環境における抗体の分子間相互作用と機能の解明

日本薬学会 第 141 年会 2021 年 3 月 27 日【オンライン開催】 ; 27V04-am11S.

梅澤芙美子, 矢木宏和, 山崎郁弥, Kuo Chu-Wei, Khoo Kay Hooi, 志村貴也, 川島博人, 加藤晃一
【学生優秀発表賞（口頭発表の部）受賞】

真核生物におけるグリセロールリン酸修飾の生合成に関わる CDP-グリセロール合成酵素の同定
日本薬学会 第 141 年会 2021 年 3 月 27 日【オンライン開催】 ; 27V08-pm02S.

柚木康弘, 兒玉篤治, 矢木真穂, 谷中冴子, 内山 進, 矢木宏和, 加藤晃一

概日リズムを司る Kai タンパク質間の相互作用の制御

令和 2 年度 生物物理中部支部会 2021 年 3 月 31 日【オンライン開催】 ; T01.

Methanee Hiranyakorn, Saeko Yanaka, Tadashi Satoh, Maho Yagi Utsumi, and Koichi Kato

NMR analysis of conformational interconversions of Lys48 linked ubiquitin chains

令和 2 年度 生物物理中部支部会 2021 年 3 月 31 日【オンライン開催】 ; T06.

兒玉篤治, 柚木康弘, 内山 進, 矢木宏和, 加藤晃一

ネイティブ質量分析による時計タンパク質間相互作用への化学量論的アプローチ

第 85 回 日本生化学会中部支部例会・シンポジウム「先端基盤技術が拓く革新的生命科学」

2021 年 5 月 22 日【オンライン開催】 ; O-11.

Koichi Kato, Saeko Yanaka, Tokio Watanabe, Tatsuya Suzuki, Rina Yogo, Tadashi Satoh, Takumi Yamaguchi, and Hirokazu Yagi 【招待講演】

Dynamic Views of Oligosaccharides and Glycoproteins Provided by Experimental and Computational Observations

3rd Australasian Glycoscience Symposium (3rd AGS) 2021年6月4日【オンライン開催】

Taiki Saito, Hirokazu Yagi, Chu-Wei Kuo, Kay-Hooi Khoo, and Koichi Kato

An embeddable molecular code for Lewis X modification through interaction with FUT9

3rd Australasian Glycoscience Symposium (3rd AGS) 2021年6月4日【オンライン開催】

谷中冴子【招待講演】

話題提供3「バイアウト・アウトソースについて考えよう」

第21回日本蛋白質科学会年会 若手育成・男女共同参画合同ワークショップ

2021年6月18日【オンライン開催】

矢木宏和

糖転移酵素によるタンパク質特異的な糖鎖修飾機構

新学術領域研究「オルガネラゾーン」班会議 2021年6月24日【オンライン開催】

加藤晃一【出前授業】

第3の生命鎖＝糖鎖の話

岡崎北高校コスモサイエンスコース 2021年7月2日（岡崎）

矢木真穂【若手研究者賞受賞記念講演】

タンパク質の“かたち”から病気のメカニズムを探る

第10回自然科学研究機構若手研究者賞受賞記念講演 2021年7月20日【オンライン開催】

Methanee Hiranyakorn, Saeko Yanaka, Tadashi Satoh, Maho Yagi Utsumi, and Koichi Kato

NMR characterization of conformational interconversions of Lys48-linked polyubiquitin chains

ISMAR-APNMR-NMRSJ-SEST 2021 2021年8月24日【オンライン開催】；P1-2-17.

Saeko Yanaka, Rina Yogo, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato 【招待講演】

Stable isotope-assisted NMR analysis of dynamics and interactions of the Fc region of immunoglobulin G as glycoprotein

ISMAR-APNMR-NMRSJ-SEST 2021 2021年8月25日【オンライン開催】；PS28-2.

Koichi Kato, Tatsuya Suzuki, Methanee Hiranyakorn, Saeko Yanaka, Tadashi Satoh, Takumi Yamaguchi, Hirokazu Yagi, and Maho Yagi-Utsumi 【招待講演】

NMR characterization of conformational dynamics of carbohydrate and ubiquitin chains as post-translational protein modifiers

ISMAR-APNMR-NMRSJ-SEST 2021 2021年8月26日【オンライン開催】；PS43-2.

加藤晃一【依頼講演】

ExCELLS とデータサイエンス

第3回自然科学研究機構データサイエンス勉強会 2021年8月30日【オンライン開催】

矢木宏和, 渡辺大輝, Ganser Christian, 金 明美, 吉田早希, 佐藤匡史, 梅澤英美子, 柚木康弘, 守島 健, 杉山正明, 内橋貴之, 加藤晃一

高速原子間力顕微鏡を用いた糖転移酵素の分子構造動態解析

第30回日本バイオイメーjing学会学術集会 2021年9月9日【オンライン開催】；P2.

西村誠司, 矢木真穂, 渡辺大輝, 佐藤匡史, 谷中冴子, Christian Ganser, Vincent Schnapka, Ean Wai Goh, 古谷祐詞, 内橋貴之, 荒川和晴, 加藤晃一

クマムシ固有タンパク質 CAHS1 の構造機能解析

PPF2020/2021 第18回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム

2021年9月14日【オンライン開催】；O-14.

谷中冴子【招待講演】

抗体の3次元構造ダイナミクスと相互作用のダイナミクスをみる

PPF2020/2021 第18回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム

2021年9月14日【オンライン開催】；I-04.

谷中冴子【招待講演】

真核生物における安定同位体標識法

第21回若手NMR研究会 2021年9月22日【オンライン開催】

原田陽一郎, 近藤清貴, 中嶋和紀, 中の三弥子, 鈴木健裕, 堀 貫治, 矢木宏和, 加藤晃一, 鈴木匡, 堂前 直, 金藏拓郎, 井上博雅, 丸山征郎, 谷口直之

細胞外小胞に発現する糖鎖の構造、機能およびがんとの関連

第8回日本細胞外小胞学会 2021年10月18-19日【オンライン開催】

山田梨乃, 矢木宏和, 戸島拓郎, 青木一洋, 本田怜奈, 矢木真穂, 足達俊吾, 加藤晃一
パスポート配列の付加による糖タンパク質の特異的な糖鎖修飾メカニズム

第40回日本糖質学会年会 2021年10月27日(鹿児島)；P-133.

梅澤芙美子

真核生物のグリセロールリン酸修飾に必要なCDP-グリセロールを合成する酵素の同定

第94回日本生化学会大会 2021年11月4日【オンライン開催】；2T13m-01(P-063).

矢木宏和

シンポジウム 研究開発領域紹介:「プロテオスタシスの理解と革新的医療の創出」

ジストログリカンの糖鎖伸長終結因子グリセロールリン酸の機能解析

第94回日本生化学会大会 2021年11月5日【オンライン開催】；3S03a-03.

矢木宏和

糖鎖の構造機能解析を基軸とした国際共同研究について

令和3年度国際共同研究活性化のためのセミナー 2021年11月15日【オンライン開催】

Yagi-Utsumi Maho【招待講演】

Cold atmospheric plasma modification of amyloid β

The 30th International Toki Conference on Plasma and Fusion Research

2021年11月18日【オンライン開催】；18Ee2.

Shogo Miyajima, Maho Yagi-Utsumi, Christian Ganser, Takayuki Uchihashi, and Koichi Kato
Dynamic Force Mapping to Amyloid-Beta Fibrils Using High-Speed Atomic Force Microscopy

第59回日本生物物理学会年会 2021年11月26日【オンライン開催】；2-04-1724.

Maho Yagi-Utsumi【招待講演】

Molecular assembly of amyloid- β in membrane environments

第59回日本生物物理学会年会 2021年11月27日【オンライン開催】；3S5-7.

矢木宏和【依頼講演】

医薬・工連携による次世代バイオ医薬品開発への期待

名古屋市立大学・豊橋技術科学大学 包括連携協定締結記念シンポジウム「医薬・工連携の新たな挑戦」

2021年11月29日(名古屋)

加藤晃一【招待講演】

糖鎖生合成アトラスの編纂に向けて：生命創成探究センターにおける糖鎖研究の取り組み
ヒューマングライコムプロジェクト特別シンポジウム

～糖鎖ビッグデータから生命科学・医療の革新へ～ 2021年12月6日(名古屋)

加藤晃一

生命創成探究センターの紹介

NMR プラットフォームキックオフシンポジウム 2021 2021 年 12 月 10 日 【オンライン開催】

Methanee Hiranyakorn, Saeko Yanaka, Tadashi Satoh, Thunchanok Wilasri, Benchawan Jityuti, Maho Yagi-Utsumi, and Koichi Kato 【招待講演】

NMR characterization of conformational interconversions of Lys48-linked ubiquitin chains in solution

The 3rd International Conference on Materials Research and Innovation (3rd ICMARI) ; Speaker 5.

2021 年 12 月 17 日 【オンライン開催】

Maho Yagi-Utsumi, Methanee Hiranyakorn, Saeko Yanaka, Tadashi Satoh, and Koichi Kato 【招待講演】

Quantitative characterization of conformational interconversions of Lys48-linked ubiquitin chains in solution

The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem 2021)

2021 年 12 月 17 日 【オンライン開催】

Koichi Kato 【招待講演】

NMR characterization of conformational dynamics of oligosaccharides and glycoproteins for improving their functionality

The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem 2021)

2021 年 12 月 18 日 【オンライン開催】

Takumi Yamaguchi, Tokio Watanabe, Hirokazu Yagi, Saeko Yanaka, and Koichi Kato

Comprehensive characterization of oligosaccharide dynamical conformations by a kernel method in conjunction with graph theoretical techniques

The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem 2021)

2021 年 12 月 18 日 【オンライン開催】

加藤晃一 【依頼講演】

生命分子科学から ExCELLS への研究展開

第 4 回 ExCELLS シンポジウム 2021 年 12 月 20 日 【オンライン開催】

香月康宏, 加藤晃一, 西田基宏

糖転移酵素の局在に基づいたゴルジアトラス編纂の技術基盤

第 4 回 ExCELLS シンポジウム 2021 年 12 月 20 日 【オンライン開催】

Emiko Nishi, Hirokazu Yagi, Satoshi Goto, Tomomi Nemoto, Yusaku Ohta, Kazuhiro Aoki, Shinji Takada, and Koichi Kato

糖転移酵素の局在に基づいたゴルジアトラス編纂の技術基盤

第 4 回 ExCELLS シンポジウム 2021 年 12 月 20 日 【オンライン開催】

【分子生物薬学分野】

(総説・著書・総合論文など)

Michiko Shirane

Interorganelle communication by protrudin complex and its neuronal function

Seikagaku, 93, 4, 441-450, 2021

(学会発表)

白根 道子【招待講演】

オルガネラ間膜接触部位複合体と神経精神疾患の関連機構

Inter-organelle membrane contact site complex and neuropsychiatric disorders.

第 44 回日本分子生物学会年会 (MSBJ2021)、ワークショップ、2021 年 12 月 2 日 (横浜・ハイブリッド)

白根 道子【招待講演】

脂質輸送複合体によるエンドソーム成熟と脳機能の関連.

2021 年度 新学術領域「オルガネラ・ゾーン」班会議、2021 年 6 月 24 日 (オンライン)

芦澤一馬、松本 悠希、林 直希、白根 道子

PDZD8 による脂質輸送の分子機構

第 85 回 日本生化学会 中部支部例会、2021 年 5 月 22 日 (オンライン)

山本 敬太郎、白根 道子

神経系における TMEM55B 複合体による mTOR 活性の制御機構.

第 94 回日本生化学会大会、2021 年 11 月 3 日 (オンライン) .

大平 巧、白根 道子

Protrudin-PDZD8 複合体による脂質輸送を介した脳機能の制御機構.

第 94 回日本生化学会大会、2021 年 11 月 3 日 (オンライン) .

森 正樹、白根 道子

膜接触部位における Tmed10 の機能と神経変性疾患への関与.

第 94 回日本生化学会大会、2021 年 11 月 3 日 (オンライン) .

加藤 洸、白根 道子 (ベストプレゼン賞)

プロトルーディン複合体による膜接触部位における細胞内 Ca²⁺調節機能の解析

薬学会東海支部合同学術大会 2021、2021 年 10 月 30 日

中嶋 弘樹、白根 道子

神経細胞内小胞輸送における Adenosine deaminase (ADA)の機能解析

薬学会東海支部合同学術大会 2021、2021 年 10 月 30 日

【薬物送達学分野】

(原報)

Yasuhito Kondo, Tatsuaki Tagami, Tetsuya Ozeki

Fabrication of photosensitizer-polyethylene glycol-conjugated gold nanostars for simultaneous photothermal and photodynamic cancer therapy under near-infrared laser irradiation.

Journal of Drug Delivery Science and Technology. **66**, 102892 (2021).

Kento Koga, Tatsuaki Tagami, Tetsuya Ozeki

Gold nanoparticle-coated thermosensitive liposomes for the triggered release of doxorubicin, and photothermal therapy using a near-infrared laser.

Colloids and Surfaces A: Physicochemical and Engineering Aspects. **626**, 127038 (2021).

Tatsuaki Tagami, Eriko Kuwata, Tetsuya Ozeki

Confectionery Xylitol Gum-Containing Tablets for Medical Application and the Sintering Effect on Gum Tablets.

Biological & Pharmaceutical Bulletin. **44**, 1309-1315 (2021).

Tatsuaki Tagami, Chisa Morimura, Tetsuya Ozeki

Effective and simple prediction model of drug release from "ghost tablets" fabricated using a digital light projection-type 3D printer.

International Journal of Pharmaceutics. **604** 120721 (2021).

Tatsuaki Tagami, Erina Ito, Risako Kida, Kiyomi Hirose, Takehiro Noda, Tetsuya Ozeki

3D printing of gummy drug formulations composed of gelatin and an HPMC-based hydrogel for pediatric use.

International Journal of Pharmaceutics. **594** 120118 (2021).

(総説・著書・総合論文など)

田上 辰秋, 尾関 哲也.

研究・技術の開発:3Dプリンターを用いた錠剤以外の剤形の調製に関する最近の研究 ～グミ・チュアブル錠・坐剤を例に～」

製剤機械技術会誌. **30**, 19-25 (2021).

尾関 哲也, 田上 辰秋.

金ナノ粒子に着目したドラッグデリバリー技術・ナノメディシンの開発」

薬学雑誌 **141**, 323-326 (2021).

(学会発表)

幾世真琳, 玉越知樹, 田上辰秋, 尾関哲也

フーバーマラーを用いたインドメタシンナノ粒子の調製：in vivo 評価と糖アルコール類の検討

日本薬学会第 141 年会, 2021 年 3 月 26 日-29 日 (オンライン) .

伊藤潤, 古閑健人, 田上辰秋, 尾関哲也

金ナノ構造を含有するドキシソルピシン封入りポソームの調製法に関する基礎的検討

日本薬学会第 141 年会, 2021 年 3 月 26 日-29 日 (オンライン) .

Hamid Alghurabi, 田上辰秋, 尾関哲也

Eudragit S-100 で被覆された胆汁酸を構成成分とする 5 アミノサリチル酸含有経口リポソームの調製
日本薬学会第 141 年会, 2021 年 3 月 26 日-29 日 (オンライン) .

神谷 宝, 田上辰秋, 尾関哲也

近赤外レーザーによる光温熱療法および光線力学療法を目的とした光増感剤搭載酸化鉄ナノ粒子の調製

日本薬剤学会第 36 年会, 2021 年 5 月 13 日-15 日 (オンライン) .

田上辰秋, 後藤瑛一, 木田理沙子, 廣瀬聖実, 野田剛弘, 尾関哲也

3D プリンターを用いた眼に適用する抗菌薬含有パッチの調製と白内障術後管理への応用

日本薬剤学会第 36 年会, 2021 年 5 月 13 日-15 日 (オンライン) .

恒川勇太, 中村和哉, 田上辰秋, 尾関哲也

抗菌薬封入 Mini-Depoform の調製及び細胞内寄生菌に対する抗菌効果の検討.

日本薬剤学会第 36 年会, 2021 年 5 月 13 日-15 日 (オンライン) .

劉進, 田上辰秋, 尾関哲也

がん DDS キャリアに向けた中空金ナノ粒子の調製条件に関する基礎的検討

第 37 回日本 DDS 学会学術集会, 2021 年 6 月 29 日 - 30 日 (オンライン) .

益留未来哉, 小川昂輝, 田上辰秋, 尾関哲也

光造形方式 3D プリンターを用いた小児用ミニタブレットの調製

第 67 回日本薬学会東海支部大会, 2021 年 7 月 3 日 (オンライン) .

井上智貴, 小川昂輝, 田上辰秋, 尾関哲也

がんの化学療法・光温熱療法に向けたメソポーラスシリカ被覆金ナノスターの調製

粉体工学会省エネルギーに貢献する粒子設計・粉体プロセスの薬工連携研究会, 2021 年 9 月 10 日
(オンライン) .

田上 辰秋, 尾関 哲也

3D プリンター技術がもたらす新たな製剤・医薬品

第 29 回静岡 DDS カンファレンス, 2021 年 9 月 3 日 (オンライン) .

岡村麻矢, 田上辰秋, 小川昂輝, 尾関哲也

3D バイオプリンターを用いた薬物イオン液体フィルム調製の調製

第 38 回製剤と粒子設計シンポジウム, 2021 年 10 月 28 日-29 日 (オンライン) .

諏訪部晋, 田上辰秋, 小川昂輝, 尾関哲也

カルバマゼピン固体分散体の Nose-to-Brain 経路を利用した脳移行促進戦略

第 38 回製剤と粒子設計シンポジウム, 2021 年 10 月 28 日-29 日 (オンライン) .

【生薬学分野】

(原報)

Takao Namiki, Shin Takayama, Ryutaro Arita, Tadashi Ishii, Mosaburo Kainuma, Toshiaki Makino, Masaru Mimura, Tetsuhiro Yoshino, Tatsuya Nogami, Makoto Arai, Juichi Sato, Koichiro Tanaka, Hajime Nakae, Hidetoshi Igari, Yoshihito Ozawa, Yuki Shiko, Yohei Kawasaki, Masahiko Nezu, Takashi Ito

A structured summary of a study protocol for a multi-center, randomized controlled trial (RCT) of COVID-19 prevention with Kampo medicines (Integrative Management in Japan for Epidemic Disease by prophylactic study: IMJEDI P1 study)

Trials., **22**, 23 (2021).

Muneshige Tokugawa, Yasumichi Inoue, Kan'ichiro Ishiuchi, Chisane Kujirai, Michiyo Matsuno, Masaki Ri, Yuka Itoh, Chiharu Miyajima, Daisuke Morishita, Nobumichi Ohoka, Shinsuke Iida, Hajime Mizukami, Toshiaki Makino, Hidetoshi Hayashi

Periplocin and cardiac glycosides suppress the endoplasmic reticulum stress response

Sci. Rep., **11**, 9528 (2021).

Kan'ichiro Ishiuchi, Osamu Morinaga, Tetsuhiro Yoshino, Miaki Mitamura, Asuka Hirasawa, Yasuhito Maki, Yuuna Tashita, Tsubasa Kondo, Kakuyou Ogawa, Fangyi Lian, Keiko Ogawa-Ochiai, Kiyoshi Minamizawa, Takao Namiki, Masaru Mimura, Kenji Watanabe, Toshiaki Makino

Identification of an alternative glycyrrhizin metabolite causing liquorice-induced pseudohyperaldosteronism and the development of ELISA system to detect the predictive biomarker

Front. Pharmacol., **12**, 688508 (2021).

Misato Ota, Hao Ni, Yasuhito Maki, Daiki Kato, Shohei Moriguchi, Shuto Nakayama, Yuki Oiwa, Kan'ichiro Ishiuchi, Toshiaki Makino

Binding activity of *Valeriana fauriei* root extract on GABA_A receptor flunitrazepam sites and distribution of its active ingredients in the brain of mice – a comparison with that of *V. officinalis* root

J. Ethnopharmacol., **278**, 114262 (2021).

Manhui Zhang, Kouhei Kobayashi, Haruki Atsumi, Yuma Katada, Yusuke Nakane, Junfeng Chen, Ryo Nagano, Naoya Kadofusa, Taeko Nishiwaki-Ohkawa, Naohiro Kon, Tsuyoshi Hirota, Ayato Sato, Toshiaki Makino, Takashi Yoshimura

Modulation of circadian clock by crude drug extracts used in Japanese Kampo medicine

Sci. Rep., **11**, 21038 (2021).

Secil Sarikaya Aydin, Vahap Murat Kutluay, Toshiaki Makino, Makoto Inoue, Ummuhan Sebnem Harput, Iclal Saracoglu

Isolation of potential liver x receptor alpha agonist and antioxidant compounds from *Hypericum microcalycinum* Boiss. & Heldr.

J. Facul. Pharma. Istanbul Univ., **51**, 98–105 (2021).

笛木司、田中耕一郎、千葉浩輝、小原陣内、柴山周乃、並木隆雄、別府正志、牧野利明
古典に記載された方剤を煎じる際に指定されている水量の意味—通脈四逆加猪胆汁湯と茯苓四逆湯の
アコニチン型アルカロイド濃度に着目して—

日本東洋医学雑誌, **72**, 107–118 (2021).

関根麻理子、牧野利明、田中耕一郎、嶋田沙織、四日順子、古屋英治、地野充時、田原英一
医療安全委員会報告～漢方製剤に関する医療機関からの医療事故情報及びヒヤリ・ハット事例

日本東洋医学雑誌, **72**, 182–207 (2021).

牧野利明、安井廣迪、並木隆雄

欧米の薬局方に収載された日本の医療用漢方製剤の原料生薬について - 東アジア各国の薬局方での名称と基原の比較

日本東洋医学雑誌, **72**, 402–414 (2021).

(総説・著書・総合論文など)

Shin Takayama, Akiko Kikuchi, Toshiaki Makino, Mosaburo Kainuma, Takao Namiki, Takashi Ito

Basic pharmacological mechanisms and clinical evidence of the efficacy of Hochuekkito against infectious diseases and its potential for use against COVID-19

Tradit. Kampo Med., **8**, 3–21 (2021).

Toshiaki Makino

Exploration for the real causative agents of licorice-induced pseudoaldosteronism

J. Nat. Med., **75**, 275–283 (2021).

Tetsuhiro Yoshino, Saori Shimada, Masato Homma, Toshiaki Makino, Masaru Mimura, Kenji Watanabe

Clinical risk factors of licorice-induced pseudoaldosteronism based on the concentrations of glycyrrhizin-metabolites; a narrative review

Frontiers Nutr., **8**, 719197 (2021).

Masahiro Ohsawa, Toshiaki Makino, Yoshiyuki Takimoto, Akio Inui

Application of Kampo medicines for the palliation of cancer cachexia

Neuropeptides, **90**, 102188 (2021).

牧野利明

ブシの神経障害性疼痛緩和作用とその有効成分

ファルマシア, **57**, 109–113 (2021).

牧野利明

偽アルドステロン症の推定発症機序

漢方と最新治療, **30**, 177–183 (2021).

牧野利明

加熱ハチミツの免疫賦活作用はイソマルトースが担っていた

漢方の臨床, **68**, 66–67, (2021).

牧野利明

今後の漢方薬の研究について

漢方の臨床, **68**, 567–569 (2021).

小池宙、松岡尚則、笛木司、牧野利明

生姜・乾姜の変遷について

日本東洋医学雑誌, **72**, 208 (2021).

牧野利明

名古屋市立大学薬学部薬用植物園

医歯薬学系博物館事典（共著、落合知子編） p. 110, 雄山閣 (2021).

牧野利明

知っておきたい薬用植物の知識

名市大ブックス第9巻（共著） p. 130-139, 中日新聞社 (2021).

牧野利明

漢方の基礎理論、全生薬の「応用」と「漢方」の項

『新訂生薬学改訂第9版』（共著、木村猛淳、酒井英二、牧野利明編） p. 42-50、52-260, 南江堂 (2021).

（学会発表）

牧野利明

生薬・漢方薬に関する医薬品情報学

第47期東海漢方協議会入門講座、2021年1月10日（オンライン）。

牧野利明

第1回、生薬学入門～生薬からの漢方薬の理解～

名古屋市立大学病院漢方医学センターWeb勉強会、2021年2月18日（オンライン）。

牧野利明

加工ブシの神経障害性疼痛緩和作用とその有効成分

桜山漢方研究会学術講演会、2021年2月25日（名古屋）

牧野利明【特別講演】

甘草の副作用、偽アルドステロン症の真の原因物質の探索

第9回サイエンス漢方研究会、2021年3月21日（オンライン）。

徳川宗成、西川佐紀子、伊藤友香、井上靖道、中島健一、堀優華、宮嶋ちはる、井上誠、水上元、
牧野利明、林秀敏

苦参由来成分 kurarinone は統合的ストレス応答 PERK-ATF4 経路を活性化しがん細胞の増殖を抑制する

日本薬学会第141年会、2021年3月27日（オンライン）。

牧野利明

第2回、現代における漢方薬の使われ方と漢方医学理論の基礎

名古屋市立大学病院漢方医学センターWeb勉強会、2021年4月15日（オンライン）。

牧野利明

現代日本における漢方薬に関する課題と展望

第19回参議院内学習会、2021年6月3日（東京）。

牧野利明

生薬の薬能を科学する

第48期東海漢方協議会入門講座、2021年6月13日（オンライン）。

牧野利明

第3回、解表薬と解表剤

名古屋市立大学病院漢方医学センターWeb 勉強会、2021年6月17日（オンライン）。

牧野利明【シンポジスト講演】

甘草の副作用、偽アルドステロン症の真の原因物質の探索

第23回日本医薬品情報学会総会、2021年6月26日（オンライン）。

牧野利明

抗がん剤副作用における軽減作用～ニンジン成分 ginsenosides の役割～

Oncology Kampo Web Seminar、2021年7月16日（オンライン）。

牧野利明【指名講演】

甘草の副作用、偽アルドステロン症の原因物質の探索

第6回日本医用マスペクトル学会西部会、2021年7月17日（オンライン）。

牧野利明

現代における本草学～薬用植物園を訪ねて～

北生涯学習センターなごや学講座、2021年7月20日（名古屋）。

牧野利明【シンポジスト講演】

生薬・漢方薬に関する医薬品情報の取り扱い方

医療薬学フォーラム2021/第29回クリニカルファーマシーシンポジウム、2021年7月25日（オンライン）。

牧野利明【シンポジスト講演】

甘草による偽アルドステロン症の発症メカニズムの新たな展開

第71回日本東洋医学会学術総会、2021年8月14日（オンライン）。

牧野利明【シンポジスト講演】

医療安全委員会報告～漢方製剤に関する薬局ヒヤリ・ハット事例

第71回日本東洋医学会学術総会、2021年8月14日（オンライン）。

南 正明、平雅代、牧野利明

排膿散エキスおよびその構成生薬エキスのA群連鎖球菌に対する抗菌効果

第71回日本東洋医学会学術総会、2021年8月13-15日（オンライン）。

笛木司、田中耕一郎、千葉浩輝、並木隆雄、別府正志、牧野利明【優秀演題賞受賞】

ハンゲ刺激性針状結晶の性質と生姜成分による変性

第71回日本東洋医学会学術総会、2021年8月13-15日（オンライン）。

小池宙、松岡尚則、笛木司、牧野利明

「生姜」と「乾姜」の定義について、江戸時代と現代日本漢方での違いとその経緯についての一考察

第71回日本東洋医学会学術総会、2021年8月13-15日（オンライン）。

牧野利明

第4回、和解剤

名古屋市立大学病院漢方医学センターWeb 勉強会、2021年8月19日（オンライン）。

南 正明、平 雅代、牧野利明

ジンジバリス菌刺激マウス線維芽細胞産生のMCP-1およびIL-6に対する排膿散の血清薬理学的検討

第38回和漢医薬学会学術大会、2021年9月4-5日（オンライン）。

牧野利明
生薬・漢方薬に関する医薬品情報学
薬剤師のための漢方研修セミナー、2021年9月9日（オンライン）。

Kewen Ding, Yoshiaki Tabuchi, Toshiaki Makino
Comparison of the inducible effects of granulocyte-colony stimulating factor (G-CSF) secretion among the extracts of ginseng with or without processing
The 11th JSP-CSP-KSP Joint Symposium of Pharmacognosy, 2021年9月18–19日（オンライン）。

牧野利明、石井智子、飛奈良治、鈴木達彦、並木隆雄
生薬の効能の標準化案の提示（第2報）～伝統医学用語での効能
日本生薬学会第67回年会、2021年9月19–20日（オンライン）。

南雲秋穂、廣瀬大、牧野利明、石内勘一郎
植物生息糸状菌 *Mariannaea elegans* NBRC102301 より単離した新規化合物の構造
日本生薬学会第67回年会、2021年9月19–20日（オンライン）。

牧野利明【受賞講演】
甘草の副作用，偽アルドステロン症の原因物質の探索
日本生薬学会第67回年会、2021年9月20日（オンライン）。

牧野利明
第5回、清熱薬と清熱剤
名古屋市立大学病院漢方医学センターWeb勉強会、2021年10月14日（オンライン）

牧野利明【特別講演】
中薬学理論を科学する
日本中医薬学会第11回学術総会、2021年11月3日（オンライン）。

牧野利明【シンポジスト講演】
生薬からのスクリーニング研究例
名市大創薬基盤研スクリーニングシンポジウム、2021年11月23日（オンライン）。

牧野利明
今さら聞けない生薬、漢方薬
昭和薬剤師会研修会、2021年11月26日（名古屋）。

牧野利明
生薬・漢方薬に関する医薬品情報学
第37回名古屋市立大学薬学部卒業後教育講座、2021年11月28日（名古屋）。

牧野利明【シンポジスト講演】
神経障害性疼痛に対するブシの有用性
第43回日本疼痛学会、2021年12月5日（オンライン）。

牧野利明
第6回、瀉下薬と瀉下剤
名古屋市立大学病院漢方医学センターWeb勉強会、2021年12月16日（オンライン）。

牧野利明【招待講演】

中医学与日本汉方医学的差异以及汉方制剂的质量控制

中日医学科技交流协会汉方医药研究会 2021 年年会, 2021 年 12 月 28 日 (オンライン) .

【衛生化学分野】

(原報)

Keiichi Taniguchi, Daisuke Hayashi, Naomi Yasuda, Mao Nakayama, Kaori Yazawa, Shouta Ogawa, Yuji Miyatake, Saki Suda, Haruka Tomita, Miki Tokuda, Saotomo Itoh, Jun-Ichi Maeyama, Naoya Ohara, Saburo Yamamoto, Shigeaki Hida, Kikuo Onozaki, Takemasa Takii.

Comparative Study of the Susceptibility to Oxidative Stress between Two Types of *Mycobacterium bovis* BCG Tokyo 172
mSphere **6**, e001111-21. (2021)

(学会発表)

谷口恵一, 林大介, 安田直美, 中山真央, 伊藤佐生智, 山本三郎, 大原直也, 肥田重明, 小野寄菊夫, 瀧井猛将

結核ワクチン BCG Tokyo172 のサブタイプ間の酸化ストレス応答の違い
第 94 回日本細菌学会総会 2021 年 3 月 23-25 日 Web 開催

伊藤佐生智, 西山彩史, 占部彩花, 森川ありさ, 小林正都, 北野拓真, 肥田重明

黄色ブドウ球菌毒素 SSL12 によるマスト細胞・好塩基球の活性化
日本薬学会第 141 年会 2021 年 3 月 26-28 日 Web 開催

谷口恵一, 林大介, 小川翔大, 宮竹佑治, 安田直美, 中山真央, 伊藤佐生智, 前山順一, 大原直也, 山本三郎, 肥田重明, 小野寄菊夫, 瀧井 猛将

結核ワクチン BCG Tokyo172 type I と type II 間の酸化ストレス応答の違い
日本薬学会第 141 年会 2021 年 3 月 26-28 日 Web 開催

北野拓真

炎症初期における好塩基球活性化の IL-3 依存的スイッチング

日本生化学会中部支部第 85 回例会 2021 年 5 月 22 日 Web 開催

緒方郁奈, 林知仁, 森川ありさ, 肥田重明, 伊藤佐生智

黄色ブドウ球菌 α 毒素によるマスト細胞の活性化増強作用

第 67 回日本薬学会東海支部総会・大会 2021 年 7 月 3 日 Web 開催

占部彩花, 森川ありさ, 西山彩史, 小林正都, 北野拓真, 肥田重明, 伊藤佐生智

Staphylococcal superantigen like (SSL) 12 によるマスト細胞・好塩基球の活性化作用

第 33 回 微生物シンポジウム 2021 年 9 月 2-3 日 Web 開催

瀧井猛将, 安田直美, 長谷川倫宏, 黒石隆司, 堀田康弘, 伊藤佐生智, 前田伸司, 和田崇之, 松本壮吉, 肥田重明

抗結核化合物 OCT313 と類縁化合物の休眠期結核菌に対する抗菌活性の検討

第 33 回 微生物シンポジウム 2021 年 9 月 2-3 日 Web 開催

石川怜, 村瀬香乃, 北野拓真, 伊藤佐生智, 肥田重明

HMG-CoA 還元酵素阻害薬による免疫応答制御

フォーラム 2021 衛生薬学・環境トキシコロジー 2021 年 9 月 10, 11 日 Web 開催

松井優佳, 森川ありさ, 伊藤 佐生智, 滝伸介, 肥田重明

Type2 炎症反応に関与する好塩基球の IL-4 産生における FcR γ の役割

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2021 2021年10月30日-11月7日 Web開催

伊藤佐生智, 占部彩花, 小林正都, 森川ありさ, 西山彩史, 北野拓真, 肥田重明
黄色ブドウ球菌毒素 Staphylococcal superantigen like 12 によるマスト細胞・好塩基球の活性化
第58回日本細菌学会中部支部総会 2021年11月12, 13日 Web開催

Yuma Itoh, Naoto Fujioka, Saotomo Itoh, Shigesaki Hida
Immune modulation by Bifidobacteria-derived molecules
第50回日本免疫学会学術集会 2021年12月8-10日 Web開催

【遺伝情報学分野】

(原報)

Inagaki, H., Hosoda, N., Hoshino, S.

DDX6 is a positive regulator of Ataxin-2/PAPD4 cytoplasmic polyadenylation machinery.

Biochem Biophys Res Commun 553, 9-16. (2021)

(学会発表)

稲垣 佑都, 細田 直, 星野 真一: 脊髄小脳変性症原因因子 Ataxin-2 は PAPD4/PABPC1/DDX6 と細胞質ポリ A 鎖伸長マシナリーを構成する、第 94 回日本生化学大会、2021 年 11 月 3 日—5 日 (パシフィコ横浜ノース; オンラインミーティング)

石井裕一郎、横川真梨子、城えりか、高嶋大翔、沢崎綾一、寒河江彪流、尾上耕一、星野真一、大澤匡範: B-cell translocation gene 2 (BTG2)によるポリ A 分解促進機構の解明、第 94 回日本生化学大会、2021 年 11 月 3 日—5 日 (パシフィコ横浜ノース; オンラインミーティング)

石川裕之、細田直、星野真一: オリゴアデニル酸合成酵素 OAS による新規 mRNA 末端修飾の解析、第 67 回日本薬学会東海支部大会、2021 年 7 月 3 日 (オンラインミーティング)

中北侑希、細田直、尾上耕一、山岸良太、星野真一: 癌抑制遺伝子産物 BTG3 による mRNA ポリ A 鎖分解抑制、第 67 回日本薬学会東海支部大会、2021 年 7 月 3 日 (オンラインミーティング) 日本薬学会東海支部大会学生優秀発表賞受賞

稲垣佑都, 細田直, 星野真一: DDX6 は脊髄小脳変性症原因因子 Ataxin-2/PAPD4 による細胞質ポリ A 鎖伸長の正の制御因子である、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2021 年 5 月 22 日 (オンラインミーティング) 日本生化学会中部支部奨励賞受賞

西井由佳, 堀田昂志, 山岸良多, 細田直, 星野真一: 脊髄小脳変性症原因因子 Ataxin-2 による細胞内顆粒 SGs 形成制御、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2021 年 5 月 22 日 (オンラインミーティング)

小森太貴, 細田直, 石川裕之, 星野真一: グルコース濃度に依存した mRNA ポリ A 鎖短縮化速度のグローバルな調節、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2021 年 5 月 22 日 (オンラインミーティング)

井上匠, 山崎愛恵, 細田直, 星野真一: TOP mRNA ポリ A 鎖伸長機構の解析を可能にするレポーター発現系の構築、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2021 年 5 月 22 日 (オンラインミーティング)

石川裕之, 細田直, 星野真一: HBV 治療薬 RG7834 の細胞質ポリ A ポリメラーゼ阻害特異性の検証、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2021 年 5 月 22 日 (オンラインミーティング)

中北侑希, 細田直, 尾上耕一, 山岸良太, 星野真一: 癌抑制遺伝子産物 BTG3 による mRNA ポリ A 制御および Caf1、PABPC1 との相互作用解析、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2021 年 5 月 22 日 (オンラインミーティング)

日比野真也, 細田直, 星野真一: LARP1 による TOP mRNA の安定化機構の解明、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2021 年 5 月 22 日 (オンラインミーティング)

柘植泰希, 豊原有希, 遊佐紅音, 細田直, 星野真一: mRNA 医薬実現を目指した OAS3 阻害剤の探索、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2021 年 5 月 22 日 (オンラインミーティング)

Takeru Sagae, Mariko Yokogawa, Ryoichi Sawazaki, Yuichiro Ishii, Nao Hosoda, Shin-ichi Hoshino, Masanori Osawa: Structural Mechanism of Translational Repression by PABP-interacting protein 2, 22nd International Society of Magnetic Resonance Conference 9th Asia-Pacific NMR Symposium (APNMR9), 2021 年 8 月 22 日-27 日 Osaka (Virtual Meeting)

星野真一: RNA 安定化および翻訳の効率化技術の開発、AMED 肝炎等克服実用化事業 B 型肝炎創薬実用化等研究事業「個別化医療に対応したゲノム編集技術による肝臓内 HBV ゲノムの完全不活性化を目指した革新的治療法の包括的開発」研究班会議、2021 年 1 月 27 日

【細胞分子薬効解析学分野】

(原報)

Satoshi Yamada, Yoshiaki Suzuki, Eiva Bernotiene, Wayne R Giles, Yuji Imaizumi, Hisao Yamamura
Swelling-activated ClC-3 activity regulates prostaglandin E₂ release in human OUMS-27 chondrocytes
Biochem Biophys Res Commun., **537**, 29-35 (2021).

Daiki Hashimoto, Tsuyoshi Hirashima, Hisao Yamamura, Tomoya Kataoka, Kota Fujimoto, Taiju Hyuga,
Atsushi Yoshiki, Kazunori Kimura, Shunsuke Kuroki, Makoto Tachibana, Kentaro Suzuki, Nobuhiko
Yamamoto, Shin Morioka, Takehiko Sasaki, Gen Yamada
Dynamic erectile responses of a novel penile organ model utilizing TPPEM
Biol Reprod., **104**(4), 875-886 (2021)

Takahisa Suzuki, Yoshiaki Suzuki, Kiyofumi Asai, Yuji Imaizumi, Hisao Yamamura
Hypoxia increases the proliferation of brain capillary endothelial cells via upregulation of TMEM16A Ca²⁺-
activated Cl⁻ channels
J Pharmacol Sci., **146**(1), 65-69 (2021).

Akiko Kawade, Aya Yamamura, Moe Fujiwara, Saki Kobayashi, Shiho Mori, Chihiro Horii, Akari Hiraku,
Sayo Suzumura, Kikuo Tsukamoto, Naoki Ohara, Rubii Kondo, Yoshiaki Suzuki, Hisao Yamamura
Comparative analysis of age in monocrotaline-induced pulmonary hypertensive rats
J Pharmacol Sci., **147**(1), 81-85 (2021).

(総説・著書・総合論文など)

臨床薬理の進歩、42:160-167(2021)
山村寿男、平井聖司、鈴木貴久、鈴木良明、今泉祐治
肺動脈性肺高血圧症の病態形成機構に關与するクロライドチャネルの機能解析

(学会発表)

鈴木良明、小澤拓海、中島七海、今泉祐治、山村寿男
血管平滑筋における興奮転写連関の役割の解明
第94回日本薬理学会年会、2021年3月9日(札幌) ; 2-P2-02.

藤原萌園、山村彩、鈴木良明、山村寿男
フィンゴリモドはモノクロタリン誘発性肺高血圧症ラットの病態を改善する
第94回日本薬理学会年会、2021年3月9日(札幌) ; 2-P2-04.

稲垣奏、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男
ラット大動脈平滑筋細胞のSRとミトコンドリアの機能連関におけるMitofusin2の關与
第94回日本薬理学会年会、2021年3月9日(北海道) ; 2-P2-05

島菜摘、山村彩、鈴木良明、山村寿男
肺動脈性肺高血圧症に關与する2ポアドメイン型K⁺チャネルの機能解析
第94回日本薬理学会年会、2021年3月9日 ; 2-P2-09

石田昌、鈴木良明、山村寿男
松脂由来化合物によるラット肺動脈平滑筋の弛緩作用
第 94 回 日本薬理学会年会、2021 年 3 月 9 日（北海道）；2-P2-10.

柴原映美菜、鈴木良明、佐伯尚紀、今泉祐治、山村寿男
大動脈平滑筋細胞の増殖に対するジャンクトフィリン 2 の役割の解明
第 94 回日本薬理学会年会、2021 年 3 月 9 日（札幌）；2-P2-11

Risa Kurose, Yoshiaki Suzuki, Yuji Imaizumi, Hisao Yamamura
 Ca^{2+} release-activated Ca^{2+} channels are involved in osteoarthritic marker induction by interleukin-1 β in mouse chondrocytes
The 94th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society, March 10th, 2021 (Online) ; 3-Y-G3-4

鈴木貴久、鈴木良明、浅井清文、今泉祐治、山村寿男
Acute hypoxia enhances the proliferation of brain capillary endothelial cells via upregulation of Ca^{2+} -activated Cl^{-} channel TMEM16A
第 94 回日本薬理学会年会、2021 年 3 月 10 日（オンライン）；3-Y-G2-2.

川出有希子、山村彩、鈴木良明、山村寿男
Expression analysis of Ca^{2+} -sensing receptor and TRPC6 channel in monocrotaline-induced pulmonary hypertensive rats
第 94 回日本薬理学会年会、2021 年 3 月 10 日；3-O-D1-3.

片山大樹、前田和輝、鈴木良明、山村寿男
マウス骨髄由来マクロファージの遊走における Kir2.1 チャネルの関与
第 94 回日本薬理学会年会、2021 年 3 月 10 日；3-O-D2-2.

出口朱理、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男
Functional expression of TREK-1 channels in human hepatic stellate cells.
第 94 回日本薬理学会年会、2021 年 3 月 10 日（オンライン）；3-O-D2-4

三島寛貴、鈴木良明、山村寿男
メラトニンによる電位依存性 Kv4.2 チャネルの阻害機構の解明
第 94 回日本薬理学会年会、2021 年 3 月 10 日（オンライン）；3-O-D2-5.

近藤 るびい、鈴木 良明、山村 寿男
CRAC チャネル阻害薬は肝星細胞の活性化を抑制する
第 94 回日本薬理学会年会、2021 年 3 月 10 日（北海道）；3-P2-35.

鈴木良明、小澤拓海、中島七海、今泉祐治、山村寿男
興奮転写連関の血管平滑筋病変に対する役割の解明
第 141 回日本薬学会年会、2021 年 3 月 27 日（広島）；27P02-109.

藤原萌園、山村彩、鈴木良明、山村寿男
モノクロタリン誘発性肺高血圧症ラットにおけるフィンゴリモドの病態改善効果
第 141 回日本薬学会年会、2021 年 3 月 29 日（広島）；29V06-pm12S.

安藤駿佑、三島寛貴、鈴木良明、山村寿男
メラトニンのラット松果体における制御機能解析

第 139 回日本薬理学会近畿部会、2021 年 6 月 26 日（オンライン）；D1-5.

川田成紀、近藤るびい、古川奈美、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男【優秀発表賞】
門脈圧亢進症マウスの門脈自発収縮に対する TMEM16A チャネルの関与
第 67 回日本薬学会東海支部総会・大会、2021 年 7 月 3 日（オンライン）；I-10S

鈴木良明、小澤拓海、今泉祐治、山村寿男
血管平滑筋におけるカベオラを足場とした興奮-転写連関の役割の解明
第 63 回日本平滑筋学会総会、2021 年 8 月 6 日（オンライン）；P-A5.

中島七海、鈴木良明、柴原映美菜、山村寿男【優秀発表賞】
ラット大動脈平滑筋の SOCE 及び増殖機構におけるジャンクトフィリン 2 の役割の解明
第 63 回日本平滑筋学会総会、2021 年 8 月 6 日（オンライン）；YIA-9.

宮木理子、山村彩、鈴木良明、山村寿男
肺動脈平滑筋細胞の Ca²⁺動態に対する SKF96365 の薬理作用
生体機能と創薬シンポジウム 2021、2021 年 8 月 26 日（オンライン）；D11

川出有希子、山村彩、鈴木良明、山村寿男【優秀発表賞】
モノクローリン誘発性高血圧症ラットの週齢差による病態変化解析
生体機能と創薬シンポジウム 2021、2021 年 8 月 26 日（オンライン）；D12

藤原萌園、山村彩、鈴木良明、山村寿男【優秀発表賞】
肺高血圧症に対するフィンゴリモドの薬効解析
生体機能と創薬シンポジウム 2021、2021 年 8 月 26 日（オンライン）；D13

鈴木良明、小澤拓海、中島七海、今泉祐治、山村寿男
CaMKK2/CaMK1 経路を介した血管リモデリング形成
生体機能と創薬シンポジウム 2021、2021 年 8 月 26 日（オンライン）；D15

近藤るびい、川田成紀、鈴木良明、山村寿男【優秀発表賞】
CRAC チャネル阻害薬は TGF-β1 刺激による肝星細胞の活性化を抑制する
生体機能と創薬シンポジウム 2021、2021 年 8 月 26 日（オンライン）；E13

稲垣奏、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男【優秀発表賞】
ラット大動脈平滑筋細胞の筋小胞体-ミトコンドリア Ca²⁺機能連関におけるミトフュージン 2 の役割
次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2021、2021 年 8 月 28 日（オンライン）；A-3-2

山村寿男
肺高血圧症におけるカルシウム関連イオンチャネルと標的創薬
第 145 回日本薬理学会関東部会、2021 年 10 月 9 日（オンライン）；S-4

山村寿男
血管の病気とくすり～生活習慣病から難病まで～
名古屋市立大学市民公開講座「栄養と薬を学んで生活習慣病を克服する」、2021 年 10 月 23 日（名古屋）

山村寿男
肺高血圧症におけるイオンチャネル・受容体と標的創薬

和歌山県立医科大学セミナー、2021年11月15日（和歌山）

鈴木良明、小澤拓海、中島七海、今泉祐治、山村寿男

血管平滑筋のカベオラ局在型 Cav1.2/CaMKK2/CaMK1a 複合体は興奮転写連関を介した血管リモデリングに關与する

生理研心血管研究会「比較統合生理学的観点からの循環生理の解析」、2021年11月18-19日（オンライン）；PP04

宮木理子、山村彩、鈴木良明、山村寿男

肺動脈平滑筋細胞における SKF96365 の Ca^{2+} 感受性受容体の活性化作用

生理研心血管研究会「比較統合生理学的観点からの循環生理の解析」、2021年11月18-19日（オンライン）；PP05

山村寿男

新規肺高血圧症治療薬を目指したイオンチャネル創薬

名市大創薬基盤研スクリーニングフェア、2021年11月23日（オンライン）

【病態生化学分野】

(原報)

Nagae, M., Suzuki, K., Yasui, N., Nogi, T., Kohno, T., Hattori, M., and Takagi, J.
Structural studies of Reelin N-terminal region provides insights into a unique structural arrangement and functional multimerization.
J. Biochem. **169**, 555-564 (2021).

Tsuneura, Y., Sawahata, M., Itoh, N., Miyajima, R., Mori, D., Kohno, T., Hattori, M., Sobue, A., Nagai, T., Mizoguchi, H., Nabeshoima, T., Ozaki, N., and Yamada, K. Analysis of Reelin signaling and neurodevelopmental trajectory in primary cultured cortical neurons with *RELN* deletion identified in schizophrenia.
Neurochem. Int. **144**, 104954 (2021)

Sawahata, M., Asano, H., Nagai, T., Ito, N., Kohno, T., Nabeshima, T., Hattori, M., and Yamada, K.
Microinjection of Reelin into the mPFC prevents MK-801-induced recognition memory impairment in mice.
Pharmacolo. Res. **173**, 105832 (2021).

(総説・著書・総合論文など)

Hattori, M. and Kohno, T.
Regulation of Reelin function by proteolytic processing in the brain.
J. Biochem. **169**, 511-516 (2021).

(学会発表)

梅村悠太、大嶋智葉、中島鼓美、大石久史、築地仁美、河野孝夫、服部光治 【日本生化学会中部支部奨励賞受賞】
脳におけるリン脂質フリッパーゼの機能解明
第 85 回日本生化学会中部支部例会, 2021 年 5 月 22 日 Web 開催

Hitomi Tsuji, Yuma Kato, Minnie Yokogawa, Ikuma Nakagawa, Kazunari Onodera, Hideyuki Okano, Haruhisa Inoue, Mitsuharu Hattori, Yohei Okada
C9ORF72 dipeptide repeat proteins disrupt formation of GEM bodies and induce aberrant accumulation of survival of motor neuron protein.
The 1st China-Japan-Korea International Meeting/The 44th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society. 2021 年 7 月 28 - 31 日 (神戸)

石井圭介、河野孝夫、服部光治
出生後におけるリーリタンパク質脳内投与は、リーリン遺伝子の欠損を補えるか？
第 20 回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォラム 2021 年 8 月 28 日 Web 開催

石井圭介、河野孝夫、服部光治
出生後におけるリーリタンパク質脳内投与は、リーリン遺伝子の欠損を補えるか？
第 94 回日本生化学会大会 2021 年 11 月 3-5 日 Web 開催

安藤飛悠吾、河野孝夫、服部光治

脳の脂質代謝系におけるリーリンの機能解明

第 94 回日本生化学会大会 2021 年 11 月 3-5 日 Web 開催

梅村悠太、大嶋智葉、中島鼓美、川瀬宗之、大石久史、築地仁美、河野孝夫、服部光治

脳におけるリン脂質フリッパーゼの機能の解明

第 94 回日本生化学会大会 2021 年 11 月 3-5 日 Web 開催

Tsuiji H., Kato Y., Yokogawa M., Nakagawa I., Onodera K., Okano H., Inoue H., Hattori M., Okada Y.

C9ORF72 dipeptide repeat proteins disrupt formation of GEM bodies and induce aberrant accumulation of survival of motor neuron protein.

第 44 回分子生物学会 2021 年 12 月 1-3 日 (横浜)

【薬物動態制御学分野】

(原報)

Kasin Yadunandam Anandam, Padmanabhan Srinivasan, Tomoya Yasujima, Saleh Al-Juburi, Hamid M. Said
Proinflammatory cytokines inhibit thiamin uptake by human and mouse pancreatic acinar cells: involvement of transcriptional mechanism(s).

Am. J. Physiol. Gastrointest. Liver Physiol., **320**, G108-G116 (2021).

(学会発表)

間竹 勇, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

ENT2 の尿酸輸送機能の解析.

日本薬剤学会第 36 年会, 2021 年 5 月 13 日 - 15 日 (徳島) .

山城貴弘, 保嶋智也, Hamid M. Said, 湯浅博昭

SLC19A2/3 の pyridoxine/thiamine 輸送機構 : 輸送特性の基質間比較解析.

日本薬剤学会第 36 年会, 2021 年 5 月 13 日 - 15 日 (徳島) .

田中雄大, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

fisetin 及び類縁フラボノイドに対する CNT2 の感受性の動物種差.

日本薬剤学会第 36 年会, 2021 年 5 月 13 日 - 15 日 (徳島) .

石牧礼子, 奈良佳幸, 保嶋智也, 山城貴弘, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

BCRP の尿酸排出輸送活性の評価系としての SNBT1/BCRP 共発現細胞の利用 : フラボノイド類の阻害効果.

日本薬剤学会第 36 年会, 2021 年 5 月 13 日 - 15 日 (徳島) .

難波知堯, 矢嶋陽菜, 黒田大祐, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

ヒト CNT2 及び CNT3 に対するフラボノイド類の阻害作用の速度論的解析.

日本薬剤学会第 36 年会, 2021 年 5 月 13 日 - 15 日 (徳島) .

秋野翔伍, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

リソソーム膜局在型の新規 pyridoxine トランスポーターの機能解析.

日本薬剤学会第 36 年会, 2021 年 5 月 13 日 - 15 日 (徳島) .

間竹 勇, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

ENT2 の尿酸輸送機能の解析 : Caco-2 細胞での検証.

第 42 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2021 年 10 月 28 日 - 29 日 (京都) .

三宅浩平, 高橋駿介, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

SLC19A3 の pyridoxine 輸送機能の動物種差に関わるアミノ酸残基.

第 42 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2021 年 10 月 28 日 - 29 日 (京都) .

細岡 晶, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

OCT2 における基質依存的な阻害活性差 : atenolol 輸送阻害試験と MPP⁺輸送阻害試験との比較.

第 42 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2021 年 10 月 28 日 - 29 日 (京都) .

篠田裕太郎, 細岡 晶, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

オロト酸トランスポーターとしてのヒト OAT10 の機能的同定.
第 36 回日本薬物動態学会年会, 2021 年 11 月 16 日 - 19 日 (高崎) .

山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭
ラット小腸におけるピリドキシン及びチアミン取り込みの比較評価 : Slc19a3 依存的な担体介在性ピ
リドキシン取り込み機能の欠如.
第 36 回日本薬物動態学会年会, 2021 年 11 月 16 日 - 19 日 (高崎) .

難波知堯, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭
Caco-2 細胞における担体介在性コリン輸送系の機能特性評価.
第 36 回日本薬物動態学会年会, 2021 年 11 月 16 日 - 19 日 (高崎) .

【病態解析学分野】

(原報)

Kondo T, Otsuka Y, Aoki H, Goto Y, Kawaguchi Y, Waguri-Nagaya Y, Miyazawa K, Goto S, Aoyama M.
The inducible nitric oxide synthase pathway promotes osteoclastogenesis under hypoxic culture conditions.
Am J Pathol, **191**, 2072-2079 (2021).

Kihara T, Toriuchi K, Aoki H, Kakita H, Yamada Y, Aoyama M.
Interleukin-1 β enhances cell adhesion in human endothelial cells via microRNA-1914-5p suppression.
Biochem Biophys Res, **27**, 101046 (2021).

Mizuguchi K, Aoki H, Aoyama M, Kawaguchi Y, Waguri-Nagaya Y, Ohte N, Asai K.
Three-dimensional spheroid culture induces apical-basal polarity and parent-cell characteristics of immortalized human renal proximal tubular epithelial cells.
Exp Cell Res, **404**, 112630 (2021).

Kimura T, Toriuchi K, Kakita H, Tamura T, Takeshita S, Yamada Y, Aoyama M.
Hypothermia attenuates neuronal damage via inhibition of microglial activation, including suppression of microglial cytokine production and phagocytosis.
Cell Mol Neurobiol, **41**:459-468 (2021).

Takeshita S, Kakita H, Toriuchi K, Aoki H, Ueda H, Wakatsuki A, Yamada Y, Aoyama M.
Insufficient thrombopoietin due to hepatic dysmature results in thrombocytopenia in small-for-gestational-age rats.
Br J Haematol, **192**, e105-e108 (2021).

Soyama T, Sakuragi A, Oishi D, Kimura Y, Aoki H, Nomoto A, Yano S, Nishie H, Kataoka H, Aoyama M.
Photodynamic therapy exploiting the anti-tumor activity of mannose-conjugated chlorin e6 reduced M2-like tumor-associated macrophages.
Transl Oncol, **14**, 101005 (2021).

(学会発表)

Neuroprotective effect of hypothermia by maintaining erythropoietin expression in astrocytes
鳥内皐暉、垣田博樹、青木啓将、田村哲也、竹下覚、山田恭聖、青山峰芳
第44回日本神経科学大会 2021年7月28-31日(神戸コンベンションセンター・ハイブリッド形式)

低温培養によるアストロサイトのエリスロポエチン分泌亢進を介した神経保護効果
鳥内皐暉、垣田博樹、青木啓将、田村哲也、竹下覚、山田恭聖、青山峰芳
医療薬学フォーラム2021 2021年7月24-25日(web開催)

低酸素刺激は一酸化窒素合成経路の活性化を介して破骨細胞分化を促進した
近藤崇雄、大塚勇斗、益川成美、青木啓将、後藤洋、宮澤健、後藤滋己、青山峰芳
第98回日本生理学会大会 2021年3月28-30日(web開催)

CXCR4⁺CD45⁻細胞は低酸素条件において破骨細胞の形成を支える
大塚勇斗、後藤洋、関谷健夫、青木啓将、永谷裕子、宮澤健、後藤滋己、青山峰芳
第98回日本生理学会大会 2021年3月28-30日(web開催)

Hypothermic culture attenuates neuronal apoptosis via prolonged erythropoietin secretion from astrocyte
鳥内臯暉、垣田博樹、青木啓将、田村哲也、竹下覚、山田恭聖、青山峰芳
第 98 回 日本生理学会大会 2021 年 3 月 28-30 日(web 開催)

【細胞情報学分野】

(原報)

Muneshige Tokugawa, Yasumichi Inoue, Kan'ichiro Ishiuchi, Chisane Kujirai, Michiyo Matsuno, Masaki Ri, Yuka Itoh, Chiharu Miyajima, Daisuke Morishita, Nobumichi Ohoka, Shinsuke Iida, Hajime Mizukami, Toshiaki Makino, Hidetoshi Hayashi.

Periplocin and cardiac glycosides suppress the unfolded protein response.

Sci. Rep., **11**, 9528 (2021). <https://doi.org/10.1038/s41598-021-89074-x>.

(総説・著書・総合論文など)

井上靖道、肥田重明、林秀敏、エレクトロポレーションを用いた細胞への遺伝子導入の高効率導入の実現、実験医学4月号、羊土社、p918-921、2021

(学会発表)

徳川宗成，西川佐紀子，伊藤友香，井上靖道，中島健一，堀 優華，宮嶋ちはる，井上 誠，水上元，牧野利明，林 秀敏

苦参由来成分 kurarinone は統合的ストレス応答 PERK-ATF4 経路を活性化しがん細胞の増殖を抑制する

日本薬学会第141年会．2021年3月27日（広島・オンライン）；27V05-am065.

井上靖道，住田丈典，柏原翔陽，宮嶋ちはる，林 秀敏

脂質代謝関連転写因子 SREBP1 の脱ユビキチン化によるがん悪性化制御

日本薬学会第141年会．2021年3月27日（広島・オンライン）；27V07-am013.

長坂天斗，松野文香，住井祐司，香川 巧，林 秀敏，柴田哲男

TFEDMA を用いたデオキシフッ素化による MBH フロリドの合成

日本薬学会第141年会．2021年3月28日（広島・オンライン）；28V04-pm145.

安達晴喜，宮嶋ちはる，井上靖道，林 秀敏

脱ユビキチン化による転写抑制因子BCL6タンパクの発現制御

第 85 回日本生化学会中部支部例会．2021 年 5 月 22 日（名古屋・オンライン）；F-31.

鯨井千実，徳川宗成，井上靖道，石内勘一郎，松野倫代，李 政樹，伊藤友香，宮嶋ちはる，飯田真介，水上 元，牧野利明，林 秀敏

強心配糖体periplocinは小胞体ストレス応答を抑制する

第 85 回日本生化学会中部支部例会．2021 年 5 月 22 日（名古屋・オンライン）；F-32.

中垣春奈，渡辺 信，宮嶋ちはる，井上靖道，林 秀敏

USP7 は Twist の脱ユビキチン化酵素としてがんの浸潤に寄与する

第 85 回日本生化学会中部支部例会．2021 年 5 月 22 日（名古屋・オンライン）；F-33.

中本遥菜，佐藤晃一，田中仁美，吉田真南香，宮嶋ちはる，井上靖道，林 秀敏

脱ユビキチン化酵素USP28はEMT関連転写因子Snailを安定化してがん細胞の浸潤を促進する

第 85 回日本生化学会中部支部例会．2021 年 5 月 22 日（名古屋・オンライン）；F-34.

徳川宗成, 西川佐紀子, 伊藤友香, 井上靖道, 中島健一, 堀 優華, 宮嶋ちはる, 井上 誠, 水上元, 牧野利明, 林 秀敏

苦参由来成分kurarinoneは統合的ストレス応答PERK-ATF4経路を活性化しがん細胞の増殖を抑制する
第 85 回日本生化学会中部支部例会. 2021 年 5 月 22 日 (名古屋・オンライン) ; F-35.

鈴木祐陽, 都築香里, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林 秀敏

がん原遺伝子c-Mycによるがん悪性化作用におけるTRB1の役割
第 85 回日本生化学会中部支部例会. 2021 年 5 月 22 日 (名古屋・オンライン) ; F-36.

松野文香, 長坂天斗, 住井祐司, 香川 巧, 三村英之, 林 秀敏, 柴田哲男

TFEDMAを用いた脱炭素的フッ素化によるMBH-フロリドの効率的な合成法の開発
第 67 回日本薬学会東海部総会・大会 2021. 2021 年 7 月 3 日 (名古屋・オンライン) ; A17S.

Hidetoshi Hayashi, Yasumichi Inoue, Shinsuke Iida, Masaki Ri, Nobumichi Ohoka

Periplocin and cardiac glycosides suppress the unfolded protein response.
第80回日本癌学会学術大会. 2021年10月1日 (横浜) ; P-17-2-5.

安達晴喜, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林 秀敏

脱ユビキチン化による転写抑制因子BCL6タンパクの発現制御
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海部支部 合同学術大会 2021.
2021 年 10 月 31 日～11 月 7 日 (三重・WEB) ; B-54.

中本遥菜, 佐藤晃一, 田中仁美, 吉田真南香, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林秀敏

脱ユビキチン化酵素USP28はEMT関連転写因子Snailを安定化してがん細胞の浸潤を促進する
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海部支部 合同学術大会 2021.
2021 年 10 月 31 日～11 月 7 日 (三重・WEB) ; B-49.

徳川宗成, 西川佐紀子, 伊藤友香, 井上靖道, 中島健一, 堀 優華, 宮嶋ちはる, 井上 誠, 水上元, 牧野利明, 林 秀敏 【ベストプレゼン賞】

苦参由来成分kurarinoneは統合的ストレス応答PERK-ATF4経路を活性化しがん細胞の増殖を抑制する
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海部支部 合同学術大会 2021.
2021 年 10 月 31 日～11 月 7 日 (三重・WEB) ; B-59.

鯨井千実, 徳川宗成, 井上靖道, 石内勘一郎, 松野倫代, 李 政樹, 伊藤友香, 宮嶋ちはる, 飯田真介, 水上 元, 牧野利明, 林 秀敏 【ベストプレゼン賞】

強心配糖体periplocinは小胞体ストレス応答を抑制する
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海部支部 合同学術大会 2021.
2021 年 10 月 31 日～11 月 7 日 (三重・WEB) ; B-60.

西川佐紀子, 井上靖道, 堀 優華, 宮嶋ちはる, 森下大輔, 大岡伸通, 肥田重明, 牧野利明, 林 秀敏
KurarinoneのKEAP1/Nrf2経路を介したHO-1誘導による抗炎症作用

第 94 回日本生化学会大会. 2021 年 11 月 3 日～5 日 (横浜・WEB) ; P-522.

徳川宗成, 井上靖道, 石内勘一郎, 鯨井千実, 松野倫代, 李 政樹, 伊藤友香, 宮嶋ちはる, 森下大輔, 大岡伸通, 飯田真介, 水上 元, 牧野利明, 林 秀敏

ペリプロシン及び強心配糖体は小胞体ストレス応答を抑制する
第 44 回日本分子生物学会大会. 2021 年 11 月 5 日 (横浜) ; 3LBA-034.

宮嶋ちはる, 川原田祐貴, 井上靖道, 鈴木千晶, 三田村佳奈, 林 秀敏

転写共役因子 TAZ によるがん抑制遺伝子 p53 の活性抑制を介した細胞老化制御機構の解明

【神経薬理学分野】

(原報)

Takeuchi Y, Harangozó M, Pedraza L, Földi T, Kozák G, Li Q, Berényi A.
Closed-loop stimulation of the medial septum terminates epileptic seizures,
Brain 144 (3): 885–908, 2021

Robinson KC, Kemeny LV, Fell GL, Hermann AL, Allouche J, Ding W, Yekkirala A, Hsiao JJ, Su MY,
Theodosakis N, Kozák G, Takeuchi Y, Shen S, Berényi A, Mao J, Woolf CJ, Fisher DE.
Reduced MC4R signaling alters nociceptive thresholds associated with red hair,
Science Advances 7 (14): eabd1310, 2021

Takeuchi Y, Nagy AJ, Barcsai L, Li Q, Ohsawa M, Mizuseki K, Berényi A.
The medial septum as a potential target for treating brain disorders associated with oscillopathies,
Frontiers in Neural Circuits 15: 701080, 2021

Tomita J, Ban G, Kato YS, Kume K.
Protocerebral Bridge Neurons That Regulate Sleep in *Drosophila melanogaster*,
Frontiers in Neuroscience, 15, 647117, 2021, 2021

Gao T, Li J, Watanabe Y, Hung C, Yamanaka A, Horie K, Yanagisawa M, Ohsawa M, Kume K.
GI-Sleep Net: A highly versatile image-based sleep classification using a deep learning algorithm.,
Clock and Sleep 2021; 3: 609-614., 2021

Tian Xiang Gao, Yuka Nagao, Kazuhiko Kume.
Quantitative Analysis of the Human Sleep Cycle Using Automatic Smoothing Filters
International Journal of Research in Engineering, Science and Management 4, 200-208, 2021

Takao Muto, Mirai Inoue Yoshizawa, Chongi Kim, Kazuhiko Kume.
Sleep-improving effects of a novel motion mattress,
Sleep and Biological Rhythms 19, 247, 2021

Aditya Ambati, Ryan Hillary, Smaranda Leu-Semenescu, Hanna M. Ollila, Ling Lin, Emmanuel H. During,
Neal Farber, Thomas J. Rico, Juliette Faraco, Eileen Leary, Andrea N. Goldstein-Piekarski, Yu-Shu Huang,
Fang Han, Yakov Sivan, Michel Lecendreux, Pauline Dodet, Makoto Honda, Natan Gadoth, Sona
Nevsimalova, Fabio Pizza, Takashi Kanbayashi, Rosa Peraita-Adrados, Guy D. Leschziner, Rosa Hasan,
Francesca Canellas, Kazuhiko Kume, Makrina Daniilidou, Patrice Bourgin, David Rye, José L. Vicario, Birgit
Hogel, Seung Chul Hong, Guiseppe Plazzi, Geert Mayer, Anne Marie Landtblom, Yves Dauvilliers, Isabelle
Arnulf, Emmanuel Jean-Marie Mignot.
Kleine-Levin syndrome is associated with birth difficulties and genetic variants in the TRANK1 gene loci,
Proceedings of the National Academy of Sciences, 118, e2005753118, 2021

Naohiro Kon, Hsin-Tzu Wang, Yoshiaki S Kato, Kyouhei Uemoto, Naohiro Kawamoto, Koji Kawasaki,
Ryosuke Enoki, Gen Kurosawa, Tatsuto Nakane, Yasunori Sugiyama, Hideaki Tagashira, Motomu Endo,
Hideo Iwasaki, Takahiro Iwamoto, Kazuhiko Kume, Yoshitaka Fukada.
Na⁺/Ca²⁺ exchanger mediates cold Ca²⁺ signaling conserved for temperature-compensated circadian rhythms,
Science Advances 7, eabe8132, 2021

Ohsawa M, Makino T, Takimoto Y, Inui A.

Application of Kampo medicines for the palliation of cancer cachexia.,
Neuropeptides 2021; 102: 102188, 2021

Yasunaga H, Takagi T, Shinko D, Nakayama Y, Takeuchi Y, Nishikawa A, Loesing A, Ohsawa M, Sekiguchi H.
Development of a neural probe integrated with high-efficiency MicroLEDs for in vivo application.,
Japanese Journal of Applied Physics 2021; 60: 016503, 2021

Takeuchi Y, Li Q, Nagy AJ, Barcsai L, Ohsawa M, Mizuseki K, Berenyi A.
The medial septum as a potential target for treating oscillopathies.,
Frontiers in Neuroscience 2021; 15: 701080, 2021

(総説・著書・総合論文など)

三宅遼、小林里帆、桑和彦.
シナプスホメオスタシス仮説,
睡眠医療 vol.15 No.2, 2021

山下裕子, 桑和彦.
睡眠の問題と障害, 健康教室, 2021

Ohsawa M, Uezono Y, Inui A.
Editorials: Aging-related symptoms kampo medicine,
Frontiers in Nutrition, 2021; 8: 749320, 2021

Miyamoto K, Ohsawa M.
Chapter 14-Astrocyte-neuron lactate shuttle and pain,
The Neurobiology, Physiology, and Behavior of Pain, Rajendram R, Preedy V, Patel V, Martin C, ACADEMIC PRESS, pp.151-159, 2021, 2021

(学会発表)

Takeuchi Y.
Closed-loop stimulation of the medial septum terminates epileptic seizures,
第 94 回日本薬理学会年会, 2021 年 03 月 08 日, 札幌

Takeuchi Y.
Closed-loop brain stimulation for epileptic seizures and beyond,
第 98 回日本生理学会年会, 2021 年 03 月 28 日, 名古屋

向山凜、平野栄一、大澤匡弘.
プラセンタ抽出液による骨格筋への影響,
日本薬学会第 141 年会, 2021 年 03 月 28 日, 名古屋

宮本啓補、澤田雅人、山崎久朗、梅澤直樹、樋口恒彦、桑和彦、澤本和延、大澤匡弘.
成体海馬ニューロン新生に着目した痛みの慢性化を引き起こす中枢神経回路の解明,
日本薬学会第 141 年会, 2021 年 03 月 28 日, オンライン開催
山崎久朗、桑和彦、大澤匡弘.

神経障害性疼痛における視床背内側核-前帯状回皮質経路の関与,
第 30 回神経行動薬理若手研究者の集い, 2021 年 03 月 07 日, オンライン開催

Riho Kobayashi, Sena Hatori, Hiroko Suzuki, Shin Nakane, Sho Yamaguchi, Jun Tomita, Hiromasa Funato, Masashi Yanagisawa, Kazuhiko Kume.

Functional analysis of *Drosophila* *Sik3*, a homologue of mouse *Sleepy1*, in clock neurons,
85th CSHL symposium Biological TimeKeeping, Jun ,1-5, 2021, NewYork,USA (online)

Sho Yamaguchi, Jun Tomita, Kazuhiko Kume.

Insulin signaling regulates circadian rhythm in *Drosophila melanogaster*.,
85th CSHL symposium Biological TimeKeeping, Jun ,1-5, 2021, NewYork,USA (online)

Takeuchi Y.

Closed-loop stimulation of the medial septum terminates epileptic seizures,
第 44 回日本神経科学大会, 2021 年 07 月 28 日, 神戸

中川寛之、前原志穂里、糸和彦、太田広人、冨田淳 .

Functional analysis of α 2-adrenergic-like octopamine receptor in *Drosophila melanogaster*,
第 44 回日本神経科学大会/第 1 回 CJK 国際会議, 2021 年 07 月 30 日, 神戸

糸 和彦、高 天翔、李 佳憶、渡邊 裕司、山中 章弘、堀江 和正、柳沢 正史.
画像化した脳波データの深層学習による汎用的な睡眠ステージ自動判定法の開発,
日本睡眠学会第 46 回定期学術集会, 2021 年 09 月 01 日, 福岡

小林里帆、羽鳥聖七、鈴木博子、中川寛之、山口翔、冨田淳、船戸弘正、柳沢正史、糸和彦.
Sik3 による睡眠量、概日リズムの調節,
日本睡眠学会第 46 回定期学術集会, 2021 年 09 月 01 日, 福岡

武藤 貴雄、吉澤 未来、金 鍾貴、糸 和彦.
モーションマットレスの睡眠改善効果の検証,
日本睡眠学会第 46 回定期学術集会, 2021 年 09 月 01 日, 福岡

関口寛人、安永弘樹、多田 修斗、松平 颯、大屋 翔、水口 公陽、西川敦、A. Loesing、大澤匡弘、
瀬戸川 将、大川宜昭.
生体光刺激のためのマイクロ LED デバイスの革新,
応用物理学会, 2021 年 09 月 01 日, オンライン開催

大澤匡弘、宮本啓補、山崎久朗、梅澤直樹、竹内雄一、樋口恒彦、糸和彦.
疼痛の慢性化を引き起こす中枢神経回路の同定,
オピオイドペプチドシンポジウム, 2021 年 09 月 04 日, 京都

李 佳憶、高 天翔、糸 和彦.
時差ボケに対する各種甘味物質の改善効果 (Ameliorative effects of various sweetening agents on jet lag) ,
第 28 回日本時間生物学会学術大会, 2021 年 11 月 20 日, 沖縄

小林里帆、羽鳥聖七、鈴木博子、山口翔、冨田淳、船戸弘正、柳沢正史、糸和彦.
Drosophila *Sik3*, a homologue of mouse *Sleepy1*, regulates sleep amount in clock neurons (時計神経でのシ
ョウジョウバエ *Sik3* の睡眠調節) ,
第 28 回日本時間生物学会学術大会, 2021 年 11 月 20 日, 沖縄

三宅遼、○小林里帆、山下裕子、羽鳥聖七、鈴木博子、山本洵、富田淳、桑和彦.

Screening of novel sleep-related genes among SNIPPs SNIPPs の新規睡眠関連遺伝子のスクリーニング,
第 28 回日本時間生物学会学術大会, 2021 年 11 月 20 日, 沖縄

山下裕子、○小林里帆、羽鳥聖七、鈴木博子、三宅遼、富田淳、桑和彦.

Sleep regulation at mushroom body by Drosophila SNIPPs gene ショウジョウバエ SNIPPs のキノコ体での睡眠制御,

第 28 回日本時間生物学会学術大会, 2021 年 11 月 20 日, 沖縄

Hiroaki Norimoto, Lorenz A. Fenk, Sam Reiter,○ Riho Kobayashi, Gilles Laurent.

Claustal Sharp Waves in Sleeping Dragon ドラゴンの前障と sharp wave, 第 28 回日本時間生物学会学術大会, 2021 年 11 月 20 日, 沖縄

加藤遥輝、中川寛之、石崎千晶、富田淳、桑和彦.

Temporal change in behavioral response to sorbitol of Drosophila ショウジョウバエのソルビトールに対する行動の経時的变化,

第 28 回日本時間生物学会学術大会, 2021 年 11 月 20 日, 沖縄

山口翔、富田淳、桑和彦.

インスリンシグナルによる概日リズム制御,

第 28 回日本時間生物学会学術大会, 2021 年 11 月 20 日, 沖縄

Kosuke Sakai, Taro Ueno, Jun Tomita, Kazuhiko Kume.

Sleep regulation by a neutral amino acid transporter in Drosophila melanogaster,

第 28 回日本時間生物学会学術大会, 2021 年 11 月 20 日, 沖縄

【医薬品安全性評価学分野】

(原報)

Kaori Ambe, Kazuyuki Ohya, Waki Takada, Masaharu Suzuki, Masahiro Tohkin
In Silico Approach to Predict Severe Cutaneous Adverse Reactions Using the Japanese Adverse Drug Event Report Database.

Clin Transl Sci. **14**, 756-763(2021).

Kimie Sai, Eiji Nakatani, Yasuhiro Iwama, Shuichi Hiraoka, Masahiro Tohkin, Yoshiaki Uyama, Yoshiro Saito.

Efficacy comparison for a schizophrenia and a dysuria drug among East Asian populations: A retrospective analysis using multi-regional clinical trial data.

Therapeutic Innovation & Regulatory Science **55**, 523-538(2021).

Tsugumichi Sato, Ching-Lan Cheng, Heung-Woo Park, Yea-Huei Kao Yang, Min-Suk Yang, Mizuki Fujita, Yuji Kumagai, Masahiro Tohkin, Yoshiro Saito, Kimie Sai.

Real World Evidence of Population Differences in Allopurinol-related Severe Cutaneous Adverse Reactions in East Asians: A Population-based Cohort Study

Clin Transl Sci. **14**, 1002-1014(2021).

Kunihito Asano, Yoko Aoi, Shuji Kamada, Yoshiaki Uyama, Masahiro Tohkin.

Points to consider for implementation of the ICH E17 guideline: learning from past multi-regional clinical trials (MRCTs) in Japan.

Clin Pharmacol Ther. **109**, 1555-1563(2021).

Kaori Ambe, Masaharu Suzuki, Takao Ashikaga Masahiro Tohkin M.

Development of quantitative model of a local lymph node assay for evaluating skin sensitization potency applying machine learning CatBoost.

Regul Toxicol Pharmacol. **125**: 105019(2021).

Akimasa Sanagawa, Yuji Hotta, Nanaka Mori, Natsumi Tomita, Tomoya Kataoka, Masahiro **Tohkin**, Kazunori Kimura.

BRAF/MEK inhibitor-associated nephrotoxicity in a real-world setting and human kidney cells.

Anti-cancer Drugs. **32**, 1076-1083(2021).

Yasushi Yamazoe, Masahiro Tohkin.

Development of template systems for ligand interactions of CYP3A5 and CYP3A7 and their distinctions from CYP3A4 template.

Drug Metab Pharmacokinet. **38**:100357(2021).

Masaki Ri, Shinsuke Iida, Dai Maruyama, Aya Sakabe, Ryo Kamei, Takuto Nakashima, Masahiro Tohkin, Satoshi Osaga, Kensei Tobinai, Noriko Fukuhara, Kana Miyazaki, Norifumi Tsukamoto, Hideki Tsujimura, Makoto Yoshimitsu, Kenichi Miyamoto, Kunihiro Tsukasaki, Hirokazu Nagai.

HLA genotyping in Japanese patients with multiple myeloma receiving bortezomib: An exploratory biomarker study of JCOG1105 (JCOG1105A1).

Cancer Sci. **112**, 5011-5019(2021).

Takao Ashikaga, Kaori Ambe, Masaharu Suzuki, Kurimoto M, Takashi Yamada, Masahiro Tohkin.

Establishment of a threshold of toxicological concern concept for skin sensitization by in vitro/in silico approaches.

Journal of Japanese Cosmetic Science Society. **45**, 331-335(2021).

(学会発表)

片山早紀, 安部賀央里, 頭金正博

in vitro 試験情報を利用した薬物性肝障害の *in silico* 予測手法の開発.

第 48 回日本毒性学会学術年会, 2021 年 7 月 7-9 日 (神戸) オンライン.

中森 瑞季, 東野 竜空, 安部 賀央里, 頭金 正博, 佐々木 崇光, 吉成 浩一

機械学習を用いた薬物代謝酵素阻害活性の *in silico* 予測手法の開発.

第 48 回日本毒性学会学術年会, 2021 年 7 月 7-9 日 (神戸) オンライン.

家田維哉, 安部賀央, 頭金正博

医薬品副作用自発報告データベースを用いた機械学習による薬剤性急性腎障害の予測手法の開発.

医療薬学フォーラム 2021/第 29 回クリニカルファーマシーシンポジウム 2021 年 7 月 24 日-25 日 (那覇) オンライン.

吉井優花, 秋田彩佑, 安部賀央里, 頭金正博

臨床試験データを用いた疾患修飾性抗リウマチ薬とメトトレキサート併用時の有効性と安全性に関する研究.

医療薬学フォーラム 2021/第 29 回クリニカルファーマシーシンポジウム 2021 年 7 月 24 日-25 日 (那覇) オンライン.

秋田彩佑, 魏捷, 安部賀央里, 頭金正博

既存の臨床試験データを用いた直接経口抗凝固薬の有効性と安全性に関する民族差の検討.

第 31 回日本医療薬学会年会 2021 年 10 月 9 日-10 日 (熊本) オンライン. 【Young Investigator Award】

Saki Katayama, Sarara Doi, Takayuki Tachiki, Kaori Ambe, Masahiro Tohkin, Toshimasa Jindo

Development of *in silico* prediction method for idiosyncratic drug-induced liver injury.

CBI 学会 2021 年大会 2021 年 10 月 26 日-28 日 (オンライン) .

東野竜空, 中森瑞季, 安部賀央里, 頭金正博, 佐々木崇光, 吉成 浩一

機械学習によるラット薬物代謝酵素および胆汁酸トランスポーターの阻害活性予測モデルの開発.

日本動物実験代替法学会第 34 回大会 2021 年 11 月 11 日-13 日 (沖縄県国頭郡恩納村) オンライン.

家田維哉, 安部賀央里, 頭金正博

医薬品副作用自発報告データベースを用いたアンサンブル機械学習モデルによる薬剤性急性腎障害の予測.

第 42 回臨床薬理学会学術年会 2021 年 12 月 9 日-11 日 (仙台) .

島田裕脩, 頭金正博

FAERS を用いた MTX の投与経路ごとの副作用プロファイルの比較.

第 42 回臨床薬理学会学術年会 2021 年 12 月 9 日-11 日 (仙台) .

土井更良, 安部賀央里, 頭金正博

機械学習による薬物性肝障害の予測～大規模副作用報告データベースの活用～.
第42回臨床薬理学会学術年会 2021年12月9日-11日(仙台).

安部 賀央里

機械学習法による特異体質性副作用の予測 (シンポジウム 臨床薬理学と人工知能).
第42回臨床薬理学会学術年会 2021年12月9日-11日(仙台) 【招待講演】.

【病院薬学分野】

(原報)

Mori T, Hotta Y, Nakamura D, Yahagi R, Kataoka T, Kimura K.
Enhancement of the RhoA/Rho kinase pathway is associated with stress-related erectile dysfunction in a restraint water immersion stress model.

Physiol Rep. **9**(20):e15064. (2021).

Ohta Y, Kubota Y, Hotta Y, Matsumoto M, Matsuyama N, Kato T, Hamakawa T, Kataoka T, Kimura K, Sawamoto K, Yasui T.

Change in the central control of the bladder function of rats with focal cerebral infarction induced by photochemically-induced thrombosis.

PLOS ONE. **16**(11):e0255200. (2021).

Kataoka T, Sanagawa A, Suzuki J, Muto T, Hotta Y, Kawade Y, Maeda Y, Tohkin M, Kimura K.

Influence of anticancer agents on sexual function: An in vivo study based on the US FDA Adverse Event Reporting System.

Andrology. **10**(1):166-178. (2021).

Sanagawa A, Hotta Y, Mori N, Tomita N, Kataoka T, Tohkin M, Kimura K.

BRAF/MEK inhibitor-associated nephrotoxicity in a real-world setting and human kidney cells.

Anticancer Drugs. **32** (10):1076-1083. (2021).

Kataoka T, Mori T, Suzuki J, Kawaki Y, Kito Y, Hotta Y, Kawade Y, Maeda Y, Kimura K.

Oxaliplatin, an Anticancer Agent, Causes Erectile Dysfunction in Rats due to Endothelial Dysfunction.

J Sex Med. **18**(8):1337-1345. (2021).

Kataoka T, Hotta Y, Yamamoto Y, Fukamoto A, Takeuchi M, Maeda Y, Kimura K.

Effect of Late Androgen Replacement Therapy on Erectile Function Through Structural Changes in Castrated Rats.

Sex Med. **9**(4):100348. (2021).

Tasaki Y, Suzuki M, Katsushima K, Shinjo K, Iijima K, Murofushi Y, Naiki-Ito A, Hayashi K, Qiu C, Takahashi A, Tanaka Y, Kawaguchi T, Sugawara M, Kataoka T, Naito M, Miyata K, Kataoka K, Noda T, Gao W, Kataoka H, Takahashi S, Kimura K, Kondo Y.

Cancer-specific targeting of taurine upregulated gene 1 enhances the effects of chemotherapy in pancreatic cancer.

Cancer Res. **81**,1654–1666. (2021).

Maeda K, Hotta Y, Ieda N, Kataoka T, Nakagawa H, Kimura K.

Control of rat bladder neck relaxation with NORD-1, a red light–reactive nitric oxide releaser: in vitro study.

J Pharmacol Sci. **146**(4):226-232. (2021).

Maeda K, Hotta Y, Kawata R, Kataoka T, Kimura K.

Detrusor underactivity causes neurogenic voiding dysfunction in a rat bilateral accessory nerve-injury model.

J Pharmacol Sci. **146**(2):116-119. (2021).

Kawata R, Hotta Y, Maeda K, Kataoka T, Kimura K.

Effects of high salt intake on detrusor muscle contraction in Dahl salt-sensitive rats.

Nutrients. **13**(2):539. (2021).

Maeda K, Hotta Y, Shibayama M, Kawata R, Kataoka T, Matsumoto S, Yamamoto T, Kimura K.
Impairment of accessory nerves around major pelvic ganglion leading to overflow urinary incontinence in rats.
Neurourol Urodyn. **40**(2):624-631. (2021).

Hashimoto D, Hirashima T, Yamamura H, Kataoka T, Fujimoto K, Hyuga T, Yoshiki A, Kimura K, Kuroi S,
Tachibana M, Suzuki K, Yamamoto N, Sasaki T, Yamada G.
Dynamic erectile responses of a novel penile organ model utilizing two photon excitation microscopy (TPEM).
Biol Reprod. **104**(4):875-886. (2021).

Hashimoto D, Kajimoto M, Ueda Y, Hyuga T, Fujimoto K, Inoue S, Suzuki K, Kataoka T, Kimura K, Yamada
G.
3D reconstruction and histopathological analyses on murine corporal body.
Reprod Med Biol. **20**(2):199-207. (2021).

Nishikawa T, Maeda K, Nakamura M, Yamamura T, Sawada T, Mizutani Y, Ito T, Ishikawa T, Furukawa K,
Ohono E, Miyahara R, Kawashima H, Honda T, Ishigami M, Yamamoto T, Matsumoto S, Hotta Y, Fujishiro M.
Filtrated Adipose Tissue-Derived Mesenchymal Stem Cell Lysate Ameliorates Experimental Acute Colitis in
Mice.
Dig Dis Sci. **66**(4):1034-1044. (2021).

Etani T, Asaoka M, Kondo S, Wachino C, Hori K, Shimizu N, Noda Y, Nagai T, Nozaki S, Iida K, Naiki T, Ando
R, Kawai N, Yanagita T, Nakamura A, Yasui T.
Efficacy of fosfomycin in the prevention of postoperative infection following transurethral resection of bladder
tumor during periods of limited cefazolin, cefotiam, and cefmetazole supply.
J Infect Chemother. **27**(4):625-631. (2021).

(総説・著書・総合論文など)

Kataoka K, Hotta Y, Kimura K.
A Review of foods and food supplements increasing testosterone levels.
Journal of Men's Health. **17**(2):4-14. (2021).

堀田康弘, 近藤勝弘, 木村和哲
【話題のくすり】デラマニド
日本病院薬剤師会雑誌, 58 巻, 2 月号. (2022).

木村和哲
入退院で切れ目のない薬物療法を目指して
メディカル・ビューポイント. **42**(5), p9. (2021).

木村和哲
お薬との上手なつきあい方
名市大ブックス 第4巻 名古屋市立大学編 中日新聞 (2021).

日比陽子

誌上シンポジウム：みんなで考えよう！でら困った学生～多様性をみとめあう実務実習～
実習生はみんな違う —多様性をみとめあう実務実習—

(学会発表)

Tomita N, Hotta Y, Naiki-Ito A, Kataoka T, Takahashi S, Kimura K.
Tadalafil, a PDE5 inhibitor, Exhibits Renoprotective Effects Preventing Podocyte Damage in an Adriamycin-Induced Nephrotic Syndrome Model
American society of nephrology, Kidney Week 2021. (Web 開催). 2021.11.

Hotta Y, Tomita N, Yamamoto Y, Naiki-Ito A, Sanagawa A, Kondo M, Kataoka T, Takahashi S, Kimura K
Serum Trace Metal Changes Could Potentially Indicate Kidney Damage in Rats with Cisplatin-Induced Kidney Injury
American society of nephrology, Kidney Week 2021. (Web 開催). 2021.11.

Hotta Y, Mori T, Ieda N, Kataoka T, Nakagawa H, Kimura K.
Effects of the light-controlled nitric oxide donor “NORD-1” and light irradiation in rats with neurogenic erectile dysfunction.
22nd World Meeting on Sexual Meeting. (Web 開催) 2021.11.
【Best presentation-preclinical-受賞】

Mori T, Hotta Y, Kataoka T, Matsumoto S, Yamamoto T, Kimura K.
Filtrated bone marrow-derived stem cell lysate may improve erectile function through nerve regeneration in a rat model of cavernous nerve injury.
22nd World Meeting on Sexual Meeting. (Web 開催) 2021.11.

Kataoka T, Sanagawa A, Hotta Y, Kimura.
Effect of DPP-4 inhibitors on erectile dysfunction caused by vincristine in rats.
22nd World Meeting on Sexual Meeting. (Web 開催) 2021.11.

Kataoka T, Sanagawa A, Hotta Y, Hibi Y, Kimura K.
Testosterone improved the erectile dysfunction induced by anti-cancer agent doxorubicin in rats.
22nd World Meeting on Sexual Meeting. (Web 開催) 2021.11.

Kataoka T, Hotta Y, Kimura K.
Effect of androgen replacement therapy on erectile function through histological recovery in castrated rats.
22nd World Meeting on Sexual Meeting. (Web 開催) 2021.11.

Kawata R, Hotta Y, Nakata N, Kataoka T, Kimura K.
Time-Series Expression of Fibrosis-Related Genes in the Bladder Following Pelvic Nerve Injury in an Experiment using Rats.
International Continence Society 51st Annual Meeting. (Web 開催) 2021.10.

Kataoka T, Hotta Y, Hibi Y, Kimura K.
The effect of testosterone on voiding function in female rats.
International Continence Society 51st Annual Meeting. (Web 開催) 2021.10.

Kataoka T, Hotta Y, Hibi Y, Kimura K.
The effect of testosterone on voiding function in female rats.
International Continence Society 51st Annual Meeting. (Web 開催) 2021.10.

堀田祐志、木村和哲

ワークショップ4 ED治療における新たな選択肢. 基礎研究から見たED治療における陰茎海綿体野線維化抑制について

第109回日本泌尿器科学会総会（横浜）、2021年12月【ワークショップ】

齋藤大介、家田直弥、堀田祐志、川口充康、木村和哲、中川秀彦

高効率な光応答性NOドナーの開発と血管弛緩制御への応用

レドックスR&D戦略委員会第1回若手シンポジウム（Web開催）、2021年11月8日

柴山真純、堀田祐志、片岡智哉、松本成史、山本徳則、木村和哲

間質性膀胱炎に対する脂肪由来幹細胞濾液の有効性の検討

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2021（Web開催）、2021年10月

中田菜美、川田龍哉、堀田祐志、片岡智哉、日比陽子、木村和哲

神経因性溢流性尿失禁モデルラットの膀胱組織の線維化と関連因子の継時的変化について

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2021（Web開催）、2021年10月

瀬崎らら、富田なつみ、真川明将、堀田祐志、片岡智哉、日比陽子、木村和哲

老化したヒト尿細管細胞の分泌因子が非老化尿細管細胞の老化を誘導するか

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2021（Web開催）、2021年10月

熊澤杏早子、近藤勝弘、堀田祐志、山内歌恋、片岡智哉、日比陽子、木村和哲

固形がん患者における腫瘍崩壊症候群の発症率に関する後方視的観察研究

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2021（Web開催）、2021年10月

外海友規、近藤勝弘、後藤佳奈、竹本将士、江崎哲夫、木村和哲

抗がん剤自動調製ロボットによる予約調製機能の有用性に関する評価

第31回日本医療薬学会年会（Web開催）、2021年10月

竹本将士、近藤勝弘、川出義浩、外海友規、伊豆田美晴、手崎世織、井口祐美子、後藤佳奈、中村大学、木村和哲

外来がん化学療法における「情報共有用紙」を用いた薬連携の取り組みに関する評価

第31回日本医療薬学会年会（Web開催）、2021年10月

片岡智哉、真川明将、堀田祐志、日比陽子、木村和哲

ピンクリスチン投与に伴う男性性機能障害に対する新規治療法の探求-ラットを用いたDPP-4阻害薬の効果の薬理的アプローチ-

第31回日本医療薬学会年会（Web開催）、2021年10月

【Young Investigator's Award 賞受賞】

川田龍哉、堀田祐志、中田菜美、片岡智哉、木村和哲

ラット骨盤内神経損傷に伴う膀胱線維化メカニズムの検討

第28回日本排尿機能学会（松本）、2021年9月

片岡智哉、堀田祐志、日比陽子、木村和哲

Testosterone投与による排尿機能への影響-雌性ラットを用いた分子薬理的検討-

第28回日本排尿機能学会（松本）、2021年9月

堀田祐志、川田龍哉、中田菜美、片岡智哉、木村和哲

骨盤内神経損傷による新規溢流性尿失禁モデルラットの病態解明

第 63 回日本平滑筋学会 (web 開催)、2021 年 8 月

日比陽子

実習生はみんな違う ～病院実習から思ったこと～

第 6 回日本薬学教育学会大会 (web 開催)、2021 年 8 月 22 日【シンポジウム】

富田なつみ、堀田祐志、内木綾、吉川麻優、片岡智哉、高橋智、木村和哲

Adriamycin 誘発性ネフローゼモデルを用いた PDE5 阻害薬 tadalafil の有効性の検討

医療薬学フォーラム 2021/第 29 回クリニカルファーマシーシンポジウム (Web 開催)、2021 年 7 月

片岡智哉、鈴木純、森泰毅、川木雄斗、鬼頭陽平、堀田祐志、前田康博、木村和哲

牛車腎気丸は NO-cGMP 経路の活性化によりオキサリプラチンに伴う男性性機能障害を改善させるラットを用いた分子薬理的検討

医療薬学フォーラム 2021/第 29 回クリニカルファーマシーシンポジウム (Web 開催)、2021 年 7 月

堀田祐志、富田なつみ、内木綾、片岡智哉、高橋智、木村和哲

ホスホジエステラーゼ 5 阻害剤 tadalafil のネフローゼ症候群モデルに対する効果

第 67 回日本薬学会東海支部大会 (Web 開催)、2021 年 7 月

片岡智哉、堀田祐志、木村和哲

抗がん剤投与に伴う男性ホルモン低下症に対する男性ホルモン補充療法の効果

第 21 回日本抗加齢医学会総会 (京都)、2021 年 6 月

片岡智哉、伊藤寛人、堀田祐志、日比陽子、木村和哲

去勢ラットに対する testosterone undecanoate 投与の効果

日本アンドロロジー学会第 40 回学術大会 (Web 開催)、2021 年 6 月

堀田康弘

結核化学療法における TDM 研究の国際動向

第 37 回日本 TDM 学会 (Web 開催) 2021 年 5 月.【教育講演】

堀田康弘, Charles A. Peloquin, Abdullah Alsultan, Awewura Kwara, 木村和哲

小児結核患者を対象とした一次抗結核薬の母集団薬物動態解析

第 37 回日本 TDM 学会 (Web 開催)、2021 年 5 月.

飯田萌子、堀田康弘、朝岡みなみ、加藤秀紀、堀田祐志、片岡智哉、木村和哲

バンコマイシンの AUC-guided TDM 実施に向けた当院での取り組み

第 37 回日本 TDM 学会・学術大会 (Web 開催)、2021 年 5 月.

朝岡みなみ、堀田康弘、三田村佳奈、堀田祐志、片岡智哉、木村和哲

テイコプラニンの血中濃度予測を外す種々の因子分析

第 37 回日本 TDM 学会・学術大会 (Web 開催)、2021 年 5 月.

【臨床薬学分野】

(原報)

Chigusa Kikuchi, Akiko Sakasai-Sakai, Risa Okimura, Hinako Tanaka, Takanobu Takata, Masayoshi Takeuchi, Tamihide Matsunaga

Accumulation of toxic advanced glycation end-products induces cytotoxicity and inflammation in hepatocyte-like cells differentiated from human induced pluripotent stem cells.

Biol Pharm Bull., **44**, 1399-1402(2021).

Shimeng Qiu, Yaling Li, Shinji Mima, Yuki Imakura, Tadahiro Hashita, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

An efficient method for the differentiation of human iPSC-derived endoderm toward enterocytes and hepatocytes.

Cells, **10**, 812 (2021).

Daichi Onozato, Isamu Ogawa, Yuriko Kida, Shota Mizuno, Tadahiro Hashita, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Generation of budding-like intestinal organoids from human induced pluripotent stem cells.

J Pharm Sci., **110**, 2637-2650 (2021).

Toshiaki Igarashi, Shinji Kishi, Naoko Hosono, Takashi Higashi, Takahiro Iwao, Ryoichi Yano, Hitoshi Tsukamoto, Nobuyuki Goto, Takahiro Yamauchi, Takanori Ueda

Population pharmacokinetic model development and exposure-response analysis of vincristine in patients with malignant lymphoma.

Cancer Chemother Pharmacol., **87**, 501-511 (2021).

(総説・著書・総合論文など)

Masayoshi Takeuchi, Akiko Sakasai-Sakai, Takanobu Takata, Jun-Ichi Takino, Yoshiki Koriyama, Chigusa Kikuchi, Ayako Furukawa, Kentaro Nagamine, Takamitsu Hori, Tamihide Matsunaga

Intracellular toxic AGEs (TAGE) triggers numerous types of cell damage.

Biomolecules., **11**, 387 (2021).

岩尾岳洋, 堺 陽子, 深谷壮弥, 小川 勇, 松永民秀.

小腸-肝臓連結 MPS の開発と薬物動態・毒性評価への利用.

実験医学, **39** (16), 2573-2575 (2021).

(学会発表)

ポスター 国際学会

Shinji Mima, Yuki Imakura, Nao Yamazaki, Seiichi Mochizuki, Akira Inomata, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga, Kozo Nagata, Masahiko Taniguchi

Characteristics of human iPS cell-derived intestinal epithelial cells and usefulness as a model for gastrointestinal toxicity evaluation.

2021 SOT Annual Meeting, Mar. 12-26, 2021 (Virtual event).

Tomoki Kabeya, Shinji Mima, Yuki Imakura, Toshihide Miyashita, Izumi Ogura, Tadanori Yamada, Tomoya Yasujima, Hiroaki Yuasa, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga
Pharmacokinetic functions of human induced pluripotent stem cell-derived small intestinal epithelial cells.
11th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (WC11), Aug. 23–Sep. 2, 2021 (Virtual).

Anna Nakanishi, Chihiro Watanabe, Tadahiro Hashita, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga
Effects of injection of human iPS cell-derived intestinal organoids on the rectal tissues in colitis model mice.
ISSCR/JSRM International Symposium, Oct. 27-29, 2021 (Virtual, Tokyo, Japan).

ポスター 国内学会

今倉悠貴, 美馬伸治, 山崎奈穂, 望月清一, 猪又 晃, 岩尾岳洋, 松永民秀, 永田幸三, 谷口雅彦
ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞の特性と消化管毒性評価モデルとしての有用性.
第 48 回日本毒性学会学術集会, 2021 年 7 月 7-9 日 (神戸 (ハイブリッド開催)).

北口 隆, 溝田泰生, 伊藤美奈, 大野克利, 小林和浩, 小川 勇, 邱 施萌, 岩尾岳洋, 埴岡伸光,
田中 充, 松永民秀
ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞を用いた食品中化合物の膜透過性および代謝予測性の検討.
第 48 回日本毒性学会学術集会, 2021 年 7 月 7-9 日 (神戸 (ハイブリッド開催)).

渡邊ちひろ, 中西杏菜, 小野里太智, 奥村啓樹, 坡下真大, 岩尾岳洋, 松永民秀
炎症性腸疾患治療に向けたヒト iPS 細胞由来腸管オルガノイドの有用性評価.
第 31 回日本医療薬学会年会, 2021 年 10 月 9-10 日 (熊本 (オンライン開催)).

白井晃太郎, 邱 施萌, 岩尾岳洋, 松永民秀
Feeder-free 条件下におけるヒト iPS 細胞由来内胚葉の分化法確立と腸管上皮細胞および肝細胞への分化誘導.
第 31 回日本医療薬学会年会, 2021 年 10 月 9-10 日 (熊本 (オンライン開催)).

岩崎萌実, 坡下真大, 岩尾岳洋, 松永民秀.
糸球体模倣モデル構築に向けたヒト iPS 細胞のポドサイト分化誘導法の確立.
第 31 回日本医療薬学会年会, 2021 年 10 月 9-10 日 (熊本 (オンライン開催)).

藤井優里菜, 菊池千草, 浅井治行, 大竹芳房, 大庭紀宏, 佐々木豊, 佐藤裕美, 清水一希, 供田将志,
中尾理香, 藤井麻由, 松岡良典, 水野輝雄, 山本加奈子, 小嶋雅代, 鈴木匡.
薬局で行うロコモティブシンドローム予防活動の地域住民健康増進への効果検証.
第 31 回日本医療薬学会年会, 2021 年 10 月 9 日-10 日 (熊本 (オンライン開催)).

西 萌奈, 山下美紗季, 坡下真大, 岩尾岳洋, 松永民秀.
ヒト iPS 細胞由来脳ペリサイトの分化誘導法の確立.
日本薬物動態学会第 36 回年会, 2021 年 11 月 16-19 日 (高崎 (オンライン開催)).

深谷壮弥, 堺 陽子, 岩尾岳洋, 松永民秀.
小腸-肝臓 2 臓器連結デバイスでのヒト凍結肝細胞長期培養.
日本薬物動態学会第 36 回年会, 2021 年 11 月 16-19 日 (高崎 (オンライン開催)).

松村将成, 堺 陽子, 岩尾岳洋, 松永民秀.
ヒト凍結肝細胞の毛細胆管形成に着目した培養法の最適化.
日本薬物動態学会第 36 回年会, 2021 年 11 月 16-19 日 (高崎 (オンライン開催)).

美馬伸治, 今倉悠貴, 山崎奈穂, 岩尾岳洋, 松永民秀, 遠藤 撰, 中谷俊幸, 鈴木 亮. 【ベストポスター賞】

ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞の特性と薬物吸収評価モデルへの応用.

日本薬物動態学会第 36 回年会, 2021 年 11 月 16-19 日 (高崎 (オンライン開催)).

森口博行, 土橋 妙, 稲生美紀, 長崎玲子, 木村崇也, 中谷徳幸, 高間香織, 堺 陽子, 奈良岡 準, 松永民秀, 手塚和宏.

肝臓の生体模倣システムにおける細胞障害性の長期非侵襲的評価.

日本薬物動態学会第 36 回年会, 2021 年 11 月 16-19 日 (高崎 (オンライン開催)).

口頭発表

今倉悠貴, 美馬伸治, 山崎奈穂, 岩尾岳洋, 松永民秀, 永田幸三, 谷口雅彦.

ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞の腸内細菌評価への応用.

第 25 回腸内細菌学会学術集会, 2021 年 6 月 1-2 日 (東京 (オンライン開催)).

山崎奈穂, 美馬伸治, 今倉悠貴, 岩尾岳洋, 松永民秀, 永田幸三, 谷口雅彦.

ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞 (F-hiSIEC™) を用いた消化管炎症モデルにおける腸内細菌代謝物の影響.

第 58 回日本消化器免疫学会総会, 2021 年 7 月 2-3 日 (京都 (ハイブリッド開催)).

深谷壮弥, 堺 陽子, 岩尾 岳洋, 松永民秀.

小腸-肝臓 2 臓器連結デバイスにおけるヒト凍結肝細胞長期培養法の検討.

第 67 回日本薬学会東海支部総会・大会, 2021 年 7 月 3 日 (名古屋 (オンライン開催)).

小川 勇, 岩尾岳洋, 松永民秀. 【学生優秀発表賞】

ヒト人工多能性幹細胞由来腸管細胞の作製法確立.

第 67 回日本薬学会東海支部大会, 2021 年 7 月 3 日 (名古屋 (オンライン開催)).

西野真衣, 邱 施萌, 岩尾岳洋, 松永民秀.

生体模倣性の向上を目指したヒト iPS 細胞由来小腸上皮細胞分化法の検討.

第 67 回日本薬学会東海支部大会, 2021 年 7 月 3 日 (名古屋 (オンライン開催)).

山下美紗季, 青木啓将, 青山峰芳, 坡下真大, 松永民秀.

「病態解明研究に応用可能なヒト iPS 細胞由来脳毛細血管内皮細胞の作製」

第 31 回日本医療薬学会年会, 2021 年 10 月 9 日,

齊藤将之, 岩尾岳洋, 前田 徹, 市原利彦, 味岡正純, 山田哲也, 鈴木 匡. 【YIA/優秀演題賞】

ワルファリンとトルバプタン併用時における薬物相互作用の発見とそのメカニズムの解明.

第 31 回日本医療薬学会年会, 2021 年 10 月 9-10 日 (熊本 (オンライン開催)).

招待講演

松永民秀【招待講演】

ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞の医薬品開発や食品安全性評価への利用の可能性と期待

富士フィルム和光純薬ウェビナー, 2021 年 1 月 28 日 (オンライン開催).

岩尾岳洋【招待講演】

ヒト iPS 細胞由来腸管細胞の薬物動態評価への応用.

日本薬物動態学会第36回年会，2021年11月16-19日（高崎（オンライン開催））。

松永民秀【招待講演】

iPSC由来細胞、MPSを活用した医薬品評価系の開発の展望

日本薬物動態学会第36回年会，2021年11月18日（高崎（オンライン開催））

（その他）

松永民秀

ヒトiPS細胞の医薬品開発への利用の可能性と期待

2021年度 薬友会 代議員会・総会，2021年4月24日（名古屋（ハイブリッド開催））

松永民秀

スクリーニング系へのヒトiPS細胞の利用

名市大創薬基盤研スクリーニングフェア 第2弾企画『スクリーニングシンポジウム』，2021年11月23日（オンライン開催）。

松永民秀

ヒトiPS細胞を活用した医薬品評価系の開発とその展望

豊田工業大学 大学院講義，2021年12月23日

5 科学研究費等補助金

科学研究費

研究種目	研究課題/ 領域番号	研究代表者	職名 (採択時)	期間 開始日	期間 終了日	2年度 配分額	研究課題名
新学術	20H04907	白根 道子	教授	20200401	20220331	3,640,000	膜構造制御によるオルガネラ連携ゾーン形成と神経軸索変性症との関連
新学術	21H00290	川口 充康	講師	20210401	20230331	2,600,000	プロテアソーム分解過程可視化蛍光プローブの開発と新規プロテアソーム阻害剤の探索
基盤研究(A)	19H01017	加藤 晃一	教授	20190401	20230331	10,530,000	先端計測アプローチの統合による抗体の構造動態と機能発現の関連機構の解明
基盤研究(B)	19H03354	中川 秀彦	教授	20190401	20220331	5,070,000	多様な制御モードによる一酸化窒素等シグナル分子のケージド化合物開発と生体応用
基盤研究(B)	19H03361	佐藤 匡史	准教授	20190401	20220331	5,070,000	タンパク質の糖鎖修飾の特異性を決定する分子機構の解明と人工糖タンパク質技術の開発
基盤研究(B)	19H03381	鈴木 良明	講師	20190401	20220331	5,980,000	オルガネラ間カルシウムネットワークによる平滑筋リモデリング疾患成立機構の解明
基盤研究(B)	19H03391	松永 民秀	教授	20190401	20220331	4,160,000	ヒト iPS 細胞由来小腸細胞・組織を用いた薬物動態及び毒性予測モデル系の創製
基盤研究(B)	20H03255	白根 道子	教授	20200401	20230331	5,980,000	オルガネラコミュニケーションの破綻による神経変性疾患の発症機構
基盤研究(B)	20H03369	樋口 恒彦	教授	20200401	20230331	4,810,000	ポルフィリン関連分子の医薬科学への多様な応用に関する研究
基盤研究(B)	20H03384	服部 光治	教授	20200401	20230331	5,200,000	精神疾患の理解と治療を志向した、分泌タンパク質リーリンの基礎および応用研究
基盤研究(B)	21H02406	星野 真一	教授	20210401	20250331	4,290,000	外来性ウイルス RNA を分解する生体防御機構の全容解明
基盤研究(B)	21H02529	糸 和彦	教授	20210401	20240331	6,500,000	ショウジョウバエの睡眠覚醒制御機構の新規側面の解明
基盤研究(B)	21H02625	矢木 宏和	講師	20210401	20250331	5,590,000	糖転移酵素の局在と基質タンパク質の選別輸送による糖鎖修飾プログラムの解明
基盤研究(B)	21H02650	井上 靖道	准教授	20210401	20240331	6,500,000	上皮間葉転換の生体内動態可視化によるがん転移の時空間的理解と新規治療法開発

基盤研究 (C)	19K07067	伊藤 佐生智	准教授	20190401	20220331	1,430,000	黄色ブドウ球菌毒素の新機能ー免疫活性化作用と免疫アレルギー疾患発症増悪への関与ー
基盤研究 (C)	19K07086	細田 直	講師	20190401	20220331	1,430,000	翻訳終結因子 eRF3 のプロセッシング異常がもたらす新しい癌発症メカニズム
基盤研究 (C)	19K07125	山村 寿男	教授	20190401	20220331	1,300,000	肺高血圧症に関与するカルシウム関連イオンチャネルの機能解析と創薬
基盤研究 (C)	19K07149	牧野 利明	教授	20190401	20220331	1,170,000	サルコペニア予防に適した牛車腎気丸製剤の開発
基盤研究 (C)	19K07170	田上 辰秋	准教授	20190401	20220331	1,560,000	3D プリンター技術を用いたオーダーメイド医薬品の製造に関する基盤研究
基盤研究 (C)	19K07485	田中 正彦	准教授	20190401	20220331	1,170,000	消化器官のグリア細胞・星細胞におけるカルシニューリンと細胞間相互作用の役割
基盤研究 (C)	19K10537	和知野 千春	研究員	20190401	20230331	650,000	小児領域の抗菌薬適正使用支援のための評価管理プログラムの開発と臨床実用化
基盤研究 (C)	20K05752	家田 直弥	講師	20200401	20230331	1,430,000	体外から制御可能な低エネルギー光ケージド化合物群の開発
基盤研究 (C)	20K06744	富田 淳	講師	20200401	20230331	1,560,000	ショウジョウバエ神経細胞における NMDA 受容体活性の測定に基づく睡眠要求の定量化
基盤研究 (C)	20K07016	築地 仁美	講師	20200401	20240331	1,300,000	RNA 結合タンパク質量の増減による、筋萎縮性側索硬化症 ALS の治療法開発
基盤研究 (C)	20K07017	肥田 重明	教授	20200401	20230331	1,690,000	アレルギー疾患の病態形成に関与する常在細菌と自然免疫細胞応答の解析
基盤研究 (C)	20K07034	岩尾 岳洋	准教授	20200401	20230331	1,430,000	ヒト iPS 細胞から作製した腸管細胞を用いた消化管傷害の評価系の開発
基盤研究 (C)	20K07051	河野 孝夫	准教授	20200401	20230331	1,430,000	大脳皮質における時空間特異的なリーリン作用機構と意義の解明
基盤研究 (C)	20K07052	林 秀敏	教授	20200401	20230331	1,430,000	新規がん遺伝子候補分子 TRB1 の新たな発がんメカニズムに基づく抗がん剤の開発基盤
基盤研究 (C)	20K07103	石内 勘一郎	准教授	20200401	20230331	1,560,000	内生糸状菌のゲノム情報を活用した植物由来希少有用天然物の生合成研究
基盤研究 (C)	20K07135	保嶋 智也	講師	20200401	20230331	1,430,000	高尿酸血症から痛風発症へのトリガーとなる分子基盤の解明

基盤研究 (C)	20K07159	湯浅 博昭	教授	20200401	20230331	1,300,000	新規ポリアミントランスポーターの機能及び生理的役割の解明
基盤研究 (C)	20K07160	坂下 真大	講師	20200401	20230331	1,430,000	ALS 患者 iPS 細胞由来ミクログリアを用いた炎症反応模倣 BBB 評価系の構築
基盤研究 (C)	20K07181	日比 陽子	准教授	20200401	20230331	1,430,000	ストレス感受性因子 NPAS4 の機能破綻によるせん妄発症機構の解明と治療薬の開発
基盤研究 (C)	20K07203	尾関 哲也	教授	20200401	20230331	1,560,000	多孔質 PLGA 粒子を用いたバイオ医薬品徐放プラットフォーム技術に関する研究
基盤研究 (C)	20K08211	青山 峰芳	教授	20200401	20240331	1,040,000	炎症細胞とグリアのクロストークによる新生児低酸素性虚血性脳症への新規低体温療法
基盤研究 (C)	20K09583	堀田 祐志	講師	20200401	20230331	1,040,000	光制御可能な NO ドナー「NORD-1」の難治性 ED への応用
基盤研究 (C)	21K05008	山中 淳平	教授	20210401	20240331	2,600,000	荷電コロイド粒子の交互積層によるダイヤモンド格子型フォトニック結晶の構築
基盤研究 (C)	21K06458	中村 精一	教授	20210401	20240331	1,820,000	生合成経路を模倣する生物活性メロテルペノイドの全合成研究
基盤研究 (C)	21K06480	久松 洋介	講師	20210401	20240331	1,690,000	水中でヘム高選択的な認識能を発揮する蛍光性人工レセプターの創製と応用
基盤研究 (C)	21K06580	栗原 裕司	助教	20210401	20240331	1,430,000	神経突起伸長因子 LOTUS の受容体同定と分子メカニズム解析
基盤研究 (C)	21K06647	頭金 正博	教授	20210401	20240331	1,430,000	ネットワークメタ解析手法を用いた新規抗リウマチ薬の有効性と安全性の比較
基盤研究 (C)	21K07155	中津海 洋一	講師	20210401	20240331	1,170,000	mTORC1 依存的液—液相分離制御によるがん促進機構の解明
基盤研究 (C)	20K06520	鈴木 詔子	研究員	20200401	20230331	1,176,835	α 4Gal 転移酵素はどのように基質の糖タンパク質/糖脂質部分を識別するのか?
挑戦的研究 (萌芽)	20K21722	鈴木 匡	教授	20200401	20230331	2,340,000	薬局薬剤師による在宅支援情報の有効な活用方法開拓とシステム化推進のための実践検証
挑戦的研究 (萌芽)	20K21906	平嶋 尚英	教授	20200401	20230331	1,040,000	リポソームと好塩基球を融合したハイブリッド分泌系の構築と細胞治療・DDS への展開
挑戦的研究 (萌芽)	21K19342	服部 光治	教授	20210401	20230331	3,510,000	神経細胞の膜流動性を標的とする神経機能改善法の開発

挑戦的研究 (萌芽)	21K19343	鈴木 良明	講師	20200401	20230331	2,990,000	血管平滑筋を主軸とした血管リモデリング新規形成機構の 解明
若手研究	18K16081	宮嶋 ちはる	講師	20180401	20220331	1,040,000	マクロファージを介した動脈硬化促進機構を操る血液線溶 因子 Plasmin 活性の役割
若手研究	20K16050	安部 賀央里	講師	20200401	20230331	1,300,000	医療ビッグデータと機械学習を活用した薬剤性腎障害の予 測手法の開発
若手研究	20K16051	堺 陽子	助教	20200401	20220331	2,210,000	NTCP,BSEP 強制発現 HepG2 細胞を用いた薬剤性胆汁鬱滞型 肝障害評価
若手研究	20K16083	三村 佳久	研究員	20200401	20240331	130,000	前立腺がんの新規骨転移予測法の開発ー骨密度に着目した 研究ー
若手研究	21K15230	秋山 敏毅	助教	20210401	20230331	2,600,000	酸化的イソベンゾフラン発生法を機軸とする生物活性天然 物合成
若手研究	21K15318	山城 貴弘	助教	20210401	20230331	2,600,000	SLC19A3 の基質依存的輸送機能の分子機構と病態との関連 性の解明
若手研究	21K15319	真川 明将	助教	20210401	20230331	2,730,000	選択的 BRAF 阻害剤のポドサイト保護・毒性作用を決定付 ける真の標的分子の同定
若手研究	21K16403	青木 啓将	助教	20210401	20230331	2,340,000	DNA メチル化酵素の制御による神経芽腫の新規治療法の開 発
国際共同研究 強化 (B)	19KK0197	中川 秀彦	教授	20190401	20230331	3,900,000	特殊アミノ酸を駆使したエピジェネティック制御酵素可視 化蛍光プローブの開発
学術変革 A	21H05259	中川 秀彦	教授	20210401	20260331	29,120,000	超硫黄分子 in-cell ケミストリーの確立とその生命科学研 究への応用
研究活動 スタート支援	20K22715	青木 啓将	助教	20200401	20220331	1,430,000	腫瘍随伴マクロファージを標的とした抗腫瘍免疫賦活化を 制御するがん創薬
研究活動 スタート支援	21K20725	堀 英生	講師	20200401	20220331	1,560,000	ヒト iPS 細胞由来血管内皮細胞を用いた糖尿病性血管障害 モデルの構築
特別研究員 奨励費	20J15563	山城 梨沙	DC2	20200401	20220331	1,000,000	グリア貪食能低下と神経変性を伴った新規モデルの作製と 神経変性修飾グリア因子の探索
特別研究員 奨励費	20J23449	小林 里帆	DC1	20200401	20230331	1,000,000	Sik3 による睡眠調節機構の解析
特別研究員 奨励費	20J23566	石井 圭介	DC1	20200401	20230331	800,000	海馬層構造の形成と維持に関わる新規メカニズムの解明と、 その疾患治療への応用

特別研究員 奨励費	20J23703	齋藤 泰輝	D C 1	20200401	20230331	1,000,000	タンパク質の分泌経路において糖鎖修飾を規定する分子暗号の解読と制御
特別研究員 奨励費	21J13766	鳥内 皐暉	D C 2	20210401	20230331	800,000	代謝センサーAMPK のグリア制御による新生児低酸素性虚血性脳症への新規脳保護治療
特別研究員 奨励費	21J15785	山下 美紗季	D C 2	20210401	20230331	900,000	疾患 iPS 細胞由来ミクログリア・内皮細胞を用いたハンチントン病の病態解明
化学物質リスク 研究事業	21KD2004	津田 洋幸	特任教授	20210401	20220331	7,540,000	ナノマテリアル曝露による慢性影響の効率的評価手法開発に関する研究
化学物質リスク 研究事業	20KD1003	津田 洋幸	特任教授	20210401	20220331	3,250,000	ナノマテリアルの物理化学的性状を考慮した肺、胸腔及び全身臓器における有害性の評価ならびに新規 in vitro 予測手法の開発
医薬品・医療機器 等レギュラトリーサイエンス 政策研究事業	20KC2010	頭金 正博	教授	20210401	20220331	12,500,800	東南アジア地域で国際共同治験を計画する際の留意事項に関する研究
化学物質リスク 研究事業	21KD2005	安部 賀央里	助教	20210401	20220331	3,900,000	In silico 予測手法の高度化と New Approach Methodology の活用に基づく化学物質の統合的ヒト健康リスク評価系の基盤構築に関する研究

その他の研究補助金

【助成金等】

補助金等名称	公益財団法人小柳財団
研究課題名	黄色ブドウ球菌毒素による免疫細胞活性化作用の解明と皮膚炎症発症への関与
氏名	伊藤佐生智
金額	1,000,000
補助金等名称	有限会社しょうなんクリエイト
研究課題名	大学院薬学研究科 病院薬剤学分野（堀田祐志講師）における学術研究奨励のため
氏名	堀田祐志
金額	1,500,000
補助金等名称	公益財団法人喫煙科学研究財団
研究課題名	松果体ニコチン受容体とイオンチャネルによるメラトニン産生制御機構の解明
氏名	山村壽男
金額	2,000,000
補助金等名称	一般財団法人東海産業技術振興財団
研究課題名	RNA-Seq 解析と GEO 解析を融合した間質性膀胱炎の創薬ターゲットのスクリーニング
氏名	堀田祐志
金額	1,000,000
補助金等名称	公益財団法人薬理研究会
研究課題名	興奮転写連関を標的とした血管リモデリング疾患の新規治療法の確立
氏名	鈴木良明
金額	1,000,000
補助金等名称	公益財団法人東洋医学研究財団
研究課題名	人參栄養湯による骨格筋量に対する影響とそのメカニズムの解明
氏名	大澤匡弘
金額	750,000
補助金等名称	公益財団法人愛知県がん研究振興会
研究課題名	3D バイオプリンターを用いた脳腫瘍モデルの萌芽研究とナノメディシン創薬への応用
氏名	田上辰秋
金額	250,000
補助金等名称	公益財団法人愛知県がん研究振興会
研究課題名	進行性神経芽腫における DNA メチル化酵素の役割の解明
氏名	青木啓将
金額	200,000
補助金等名称	公益財団法人市原国際奨学財団
研究課題名	光線力学療法による腫瘍随伴マクロファージを標的とした腫瘍免疫賦活化療法の開発
氏名	青木啓将

金額	500,000
補助金等名称	公益財団法人一般用医薬品セルフメディケーション振興財団
研究課題名	ドライマウスのセルフメディケーションに向けた口腔内に適用する製剤の開発
氏名	田上辰秋
金額	600,000
補助金等名称	公益財団法人武田科学振興財団
研究課題名	シナプス小胞膜に局在する新規モノアミントランスポーターの同定と機能解析～より治療満足度の高い精神疾患治療薬の創出にむけて～
氏名	保嶋智也
金額	2,000,000
補助金等名称	公益財団法人武田科学振興財団
研究課題名	mTORC1 による液-液相分離制御の解析
氏名	中津海洋一
金額	2,000,000
補助金等名称	公益財団法人カシオ科学振興財団
研究課題名	医薬品製造用 3D プリンターに関する萌芽研究
氏名	田上辰秋
金額	1,000,000
補助金等名称	鳥居薬品株式会社
研究課題名	大学院薬学研究科 病院薬剤学分野における学術研究奨励のため
氏名	木村和哲
金額	100,000
補助金等名称	公益財団法人横山臨床薬理研究助成基金
研究課題名	AAV の経鼻投与による脳での遺伝子発現特性
氏名	小川昂輝
金額	1,000,000
補助金等名称	公益財団法人一般用薬品セルフメディケーション振興財団
研究課題名	平成 31 年度調査・研究助成に対する令和 3 年度論文掲載支援
氏名	田上辰秋
金額	84,270
補助金等名称	ヤンセンファーマ株式会社
研究課題名	肺動脈性肺高血圧症における機械刺激感受性 Piezo チャネルの機能解明と標的創薬
氏名	山村寿男
金額	750,000
補助金等名称	公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団
研究課題名	栄養シグナルによる液-液相分離制御機構の解明
氏名	中津海洋一
金額	1,000,000
補助金等名称	公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団
研究課題名	CaMKK2 を標的とした血管リモデリング疾患の新規治療薬の開発

氏名	鈴木良明
金額	1,000,000
補助金等名称	公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団
研究課題名	mRNA ワクチン吸入剤プラットフォーム技術の萌芽研究
氏名	尾関哲也
金額	1,000,000
補助金等名称	公益財団法人日立財団
研究課題名	個別化医療を志向した消化管障害の in vitro 評価モデルの開発
氏名	岩尾岳洋
金額	1,000,000
補助金等名称	公益信託 医療薬物研究奨励富岳基金
研究課題名	2022 年度公益信託 医用薬物研究富岳基金 海外学会等参加費用補助 対象学会名：FENS Forum 2022（欧州神経科学連盟国際会議）
氏名	服部光治
金額	250,000
補助金等名称	一般財団法人佐々木環境技術振興財団
研究課題名	ウイルス感染防御を目指した鳥類組織の糖鎖ライブラリーの構築
氏名	鈴木紹子
金額	258,483

【受託研究等】

補助金等名称	(独) 日本学術振興会(JSPS)
研究課題名	二国間交流事業 (ソフトコロイド系の一方向結晶化と結晶-結晶相転移の研究)
氏名	山中淳平
金額	950,000
補助金等名称	国立大学法人熊本大学
研究課題名	実用化に向けた B 型肝炎新規治療薬の探索及び最適化
氏名	松永民秀
金額	3,800,000
補助金等名称	国立研究開発法人科学技術振興機構
研究課題名	ヒト iPS 細胞由来細胞の研究材料及び再生医療材料としての事業化検証
氏名	松永民秀
金額	6,500,000
補助金等名称	国立研究開発法人科学技術振興機構
研究課題名	コロイド結晶化技術の事業化検証 金ナノ粒子の自己組織化による超高感度センサー
氏名	山中淳平
金額	6,500,000
補助金等名称	国立研究開発法人科学技術振興機構
研究課題名	翻訳効率化技術・安定化技術の mRNA ワクチンへの応用と事業化
氏名	星野真一
金額	6,760,000
補助金等名称	任天堂株式会社
研究課題名	「目覚まし時計に関する研究」
氏名	桑和彦
金額	3,520,000
補助金等名称	株式会社 MTG
研究課題名	睡眠に関わる商品における研究
氏名	桑和彦
金額	3,000,000
補助金等名称	株式会社 明治
研究課題名	ショウジョウバエを用いた機能性(睡眠)素材のスクリーニング評価および機序解明
氏名	桑和彦
金額	1,000,000
補助金等名称	(独) 日本学術振興会(JSPS)
研究課題名	二国間交流事業 (中枢神経系異常による疾患の非侵襲的オン・デマンド制御法の開発)
氏名	大澤匡弘
金額	2,220,625
補助金等名称	花王(株)

研究課題名	腸管吸収及び体内動態に関する研究（コンサルティング）
氏名	松永民秀
金額	1,100,000
補助金等名称	国立研究開発法人科学技術振興機構
研究課題名	コロイド微結晶を用いた環境負荷の低い光カット用フィルターの開発
氏名	山中淳平
金額	1,143,792
補助金等名称	国立研究開発法人科学技術振興機構
研究課題名	新規極微細神経電極を用いた測定困難部位からの長期 in vivo 神経活動計測技術の確立－自由行動下の脊髄後角からの記録－
氏名	大澤匡弘
金額	499,999
補助金等名称	国立研究開発法人科学技術振興機構
研究課題名	体外から血流を光で操る分子技術の構築
氏名	家田直弥
金額	3,120,000
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
研究課題名	肺動脈性肺高血圧症に対する抗体医薬の探索
氏名	山村寿男
金額	10,010,000
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
研究課題名	生体模倣小腸-肝臓チップ：バイオアベイラビリティ予測と安全性評価 in vitro モデルの開発
氏名	松永民秀
金額	66,000,000
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
研究課題名	ジストログリカンの糖鎖伸長終結因子グリセロールリン酸による生理的調節機能とがん悪性化機構に関する研究開発
氏名	矢木宏和
金額	14,820,000
補助金等名称	国立大学法人新潟大学
研究課題名	シロリムスの新作用に関する研究及びネットワーク形成
氏名	中津海洋一
金額	650,000
補助金等名称	みずほリサーチ&テクノロジーズ(株)
研究課題名	機能性材料の社会実装を支える高速・高効率な安全性評価技術の開発（インビボ毒性の予測を指向した生体分子反応性のインシリコ予測モデルの構築）
氏名	頭金正博
金額	3,665,477
補助金等名称	国立大学法人大阪大学

研究課題名	高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発
氏名	鈴木匡
金額	3,726,000
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
研究課題名	ペプチド型中分子および核酸型中分子を病変細胞内に送達し、活性化する方法
氏名	梅澤直樹(分担：井上)
金額	16,900,000
補助金等名称	(株)村田製作所
研究課題名	金コロイド結晶の作成に関するコンサルティング
氏名	山中淳平
金額	388,236
補助金等名称	国立大学法人筑波大学
研究課題名	がん抑制遺伝子 p53 活性の増強による抗がん活性を狙った治療薬の創製
氏名	井上靖道
金額	1,350,000
補助金等名称	国立大学法人筑波大学
研究課題名	切除術不能再発がんを標的とした自然免疫系賦活剤の開発
氏名	川口充康
金額	1,350,000
補助金等名称	国立大学法人千葉大学
研究課題名	ISO/TC249 における国際規格策定に資する科学的研究と調査および統合医療の一翼としての漢方・鍼灸の基盤研究
氏名	牧野利明
金額	650,000
補助金等名称	国立大学法人北海道大学
研究課題名	間質性膀胱炎を標的とした新規治療薬の開発
氏名	堀田祐志
金額	2,500,000
補助金等名称	大学共同利用機構法人自然科学研究機構
研究課題名	国際競争力のある次世代抗体医薬品製造技術開発／革新的な次世代抗体医薬品製造基盤技術の開発（分子中に秘められた新規相互作用部位の探査と改変を通じた次世代抗体創成の基盤構築）
氏名	加藤晃一
金額	1,300,000
補助金等名称	花王(株)
研究課題名	腸管吸収及び体内動態に関する研究（コンサルティング）
氏名	松永民秀
金額	1,100,000
補助金等名称	国立大学法人東京大学

研究課題名	分化制御培養法による iPS 細胞由来血液脳関門モデル細胞の安定的な製造・供給体制の構築
氏名	坂下真大
金額	5,000,000
補助金等名称	国立研究開発法人理化学研究所
研究課題名	細胞質における糖鎖生物学-細胞恒常性維持の包括的理解を目指して
氏名	佐藤匡史
金額	6,851,000
補助金等名称	国立国際医療研究センター
研究課題名	RNA の安定化および翻訳の効率化技術の開発
氏名	星野真一
金額	13,260,000
補助金等名称	国立研究開発法人科学技術振興機構
研究課題名	可逆的共有結合を用いたペプチド立体構造制御と機能創出
氏名	梅澤直樹
金額	3,900,000
補助金等名称	国立食品衛生研究所
研究課題名	テンプレートシステムに基づくヒトのシトクロム P450 代謝予測モデルの汎用性向上
氏名	頭金正博
金額	495,000
補助金等名称	株式会社 MTG
研究課題名	睡眠テック商品における研究
氏名	桑和彦
金額	3,000,000

【名古屋市立大学 特別研究奨励費】

種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	ペプチド類縁中分子「ペプトイド」の立体構造制御によるタンパク質間相互作用阻害
氏名	梅澤直樹
金額	1,125,000
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	慢性疼痛の診断・治療を目指した脳活動パターンの同定と薬物治療への応用
氏名	大澤匡弘
金額	825,000
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	薬用植物の利用拡大を目指したアリストロキア酸生合成系の解明
氏名	寺坂和洋
金額	600,000
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	日常診療における Real World Data を活用した新規 TDM 支援ソフトの開発
氏名	堀田康弘
金額	250,000
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	単価ハプテンによるマスト細胞抑制機構の解明とその新規抗アレルギー薬開発への展開
氏名	鈴木 瑠理子
金額	375,000
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	新規肝障害リスク評価系のためのメタボロミクス解析法の樹立
氏名	柴田侑裕
金額	375,000
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	小川昂輝
氏名	作用発現期間が制御可能な mRNA 送達用システムの開発と脳疾患治療への応用
金額	375,000
種別	外部研究資金獲得活性化事業
研究課題名	理・薬・医学を貫く先端光化学研究～基礎研究から臨床応用まで
氏名	中川秀彦
金額	5,460,000
種別	外部研究資金獲得活性化事業
研究課題名	医療情報データベースと機械学習を融合した薬剤性腎障害の予測法の開発
氏名	安部賀央里
金額	1,400,000
種別	外部研究資金獲得活性化事業

研究課題名	神経終末における新規モノアミントランスポーターの同定と機能解析～新たな精神疾患治療薬の創出に向けた分子標的としての有望性評価～
氏名	保嶋智也
金額	1,320,000
種別	外部研究資金獲得活性化事業
研究課題名	ポドサイト特異的な細胞保護・毒性作用に関連する薬剤標的因子の同定
氏名	真川明将
金額	1,116,000
種別	論文発表活性化事業
研究課題名	-
氏名	尾関哲也
金額	50,000
種別	論文発表活性化事業
研究課題名	-
氏名	牧野利明
金額	50,000

6 新聞報道等

(2021年1月から2021年12月)

【新聞報道】

桑和彦

「教えてヨミドック！「睡眠負債」寝だめで解消しない？」

読売新聞 2021年4月3日

林秀敏 牧野利明 他

「高知県立牧野植物園の植物コレクションから新たなメカニズムの抗がん剤として期待される成分の発見 名古屋市立大学論文発表」

時事メディカル 2021年6月4日

林秀敏 他

「抗がん作用期待できる成分、植物の茎から発見 高知の植物園」

毎日新聞 2021年6月10日

林秀敏 他

「ミャンマーの植物から抗がん成分発見 名古屋市大「創薬に」」

毎日新聞 2021年6月14日

林秀敏 他

「抗がん剤の候補物質特定 ミャンマー産の植物から」

奥羽新聞 2021年6月16日

林秀敏 他

「抗がん剤の候補物質発見 ミャンマー産植物から」

四国新聞 2021年6月16日

林秀敏 他

「植物から抗がん成分 ペリプロシン 名古屋市大が発見」

日本工業新聞 2021年6月22日

桑和彦

「明日への lesson～虫と人間同じ遺伝子が刻むリズム～」

朝日新聞 2021年6月24日

鈴木匡

「報告書送受信で有用性認識：在宅で薬看連携強化を試行」

薬事日報 2021年7月5日

鈴木匡

「かかりつけ薬局でロコモ予防」

中日新聞 2021年7月6日

林秀敏 他

「ミャンマーの植物に抗がん成分 名市大など発見、新薬開発に期待」

中日新聞 2021年7月15日

林秀敏 他

「ミャンマーの植物から抗がん作用の物質抽出」

毎日新聞 2021年8月13日

林秀敏 他
「植物成分 がん抑制へ期待 牧野植物園 ミャンマーで採取」
読売新聞 2021年8月13日

林秀敏 他
「ミャンマー現地調査の成果実る 植物から治療薬の候補」
朝日新聞 2021年8月24日

林秀敏 他
「ミャンマー産植物から新薬候補」
朝日新聞 2021年9月18日

山中淳平
「コロイド粒子会合体 微小重力下で生成 名古屋市大グループが成功」
科学新聞 2021年10月29日

鈴木匡
「薬局の介入でロコモ抑制」
薬事日報 2021年12月15日

【受賞】

齋藤泰輝
「糖タンパク質に組み込まれた Lewis X 修飾暗号は FUT9 との相互作用を規定する」
第16回若手のカフォーラム 2020年度糖鎖科学中部拠点奨励賞 2021年1月22日

太田知世
「クマムシに特異的な新規抗酸化タンパク質 AMNP の構造機能解析」
第8回将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会 優秀発表賞 2021年1月26日

梅澤芙美子
日本生化学会中部支部支部長賞 2021年3月24日

藤田みのり
2020年度 日本化学会東海支部長賞 2021年3月24日

山口めぐみ
2020年度 日本化学会東海支部長賞 2021年3月24日

谷中冴子
「抗体の3次元構造と相互作用のダイナミクスを解明する方法の開発と抗体の高機能化への展開」
日本薬学会第141年会 物理系薬学部会奨励賞 2021年3月27日

野口公寛
「カドコッシラクトン A の合成研究 ～DE 環フラグメントの合成～」
日本薬学会第141年会 学生優秀発表賞（口頭発表の部） 2021年3月27日

牧野利明

2020年度日本東洋医学雑誌 ベストレビューワー賞 2021年3月28日

梅澤芙美子

日本薬学会第141年会 学生優秀発表賞（口頭発表の部） 2021年4月21日

中嶋雄哉

「Sirtuin 脱ミリスチル化阻害剤のスクリーニングに適用可能なケミカルプローブ群の開発」
第67回日本薬学会東海支部大会 2021年7月3日 学生優秀発表賞

矢木真穂

第10回 自然科学研究機構 若手研究者賞 2021年7月20日

堀田祐志

日本平滑筋学会 白鳥常男賞（2021年度） 2021年8月.

笛木司、田中耕一郎、千葉浩輝、並木隆雄、別府正志、牧野利明

「ハンゲ刺激性針状結晶の性質と生姜成分による変性」

第71回日本東洋医学会学術総会 優秀演題賞受賞 2021年8月15日

占部彩花

「Staphylococcal superantigen-like (SSL) 12 によるマスト細胞・好塩基球の活性化作用」

第33回微生物シンポジウム 若手奨励賞 2021年9月3日

Tsukasa Fueki, Koichiro Tanaka, Kunihiko Obara, Ryudo Kawahara, Takao Namiki, Toshiaki Makino

The acrid raphides in tuberous root of *Pinellia ternata* have lipophilic character and are specifically denatured by ginger extract, *J. Nat. Med.* 74 (4), 722–731, 2020

令和3年度日本生薬学会 論文賞受賞 2021年9月29日

鈴木匡

愛知県薬事功労者表彰 2021年10月15日

加藤 洸

「プロトルーディン複合体による膜接触部位における細胞内 Ca^{2+} 調節機能の解析」

薬学会東海支部合同学術大会 2021 ベストプレゼン賞 2021年10月30日

吉川侑佳

「光応答性 NO^+ ドナーの合成とその NO^+ 放出能の評価」

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 ベストプレゼン賞 2021年10月30日-11月7日

山口遥己

「S-Sulfhydryl 化タンパク質解析を志向した hydropersulfide ラベル化蛍光プローブの開発」

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 ベストプレゼン賞 2021年10月30日-11月7日

堀田祐志

“Effects of the light-controlled nitric oxide donor “NORD-1” and light irradiation in rats with neurogenic erectile dysfunction”

22nd World Meeting of the International Society for Sexual Medicine,
Best abstract presentation -Preclinical- Prize. 2021 年 11 月

堀田祐志

名古屋市立大学大学院薬学研究科長表彰（講師部門） 2021 年 12 月

7 進路および就職状況

大学院博士前期課程

卒業生	就職希望者 (有職者・自営業含む)	就職決定者 (有職者・自営業含む)	就職地域別								就職未決定者	進学・その他					
			就職先業種別	市内	県内	岐阜	三重	東京	大阪	その他				計			
34 (15)	30 (14)	30 (14)	A 農業・林業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	アルバイト・パート	0 (0)			
			B 漁業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	大学院進学	4 (1)		
			C 鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	海外の大学・大学院進学	0 (0)		
			D 建設業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	専門学校進学	0 (0)	
			E 製造業	1 食料品・飲料・たばこ・飼料	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		1 (0)	0 (0)	1 (0)	国家資格等試験準備	0 (0)
				2 繊維工業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	公務員試験準備	0 (0)
				3 印刷・同関連産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	その他(進路未定を含む)	0 (0)
				4 化学工業・石油・石炭製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (4)	5 (3)		4 (2)	17 (9)	計	4 (1)	
				5 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	※別途、人数を集計してください 既の有職者（現職継続） 0 (0) 自営 0 (0)	
				6 汎用・生産用業務器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				7 電子部品・デバイス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				8 電気・情報通信機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				9 輸送用機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				10 その他の製造業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)		
			F 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			G 情報通信業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	2 (0)			
			H 運輸業・郵便業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			I-1卸売業	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		1 (1)	1 (1)			
			I-2小売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)		1 (0)	1 (0)			
			J-1金融業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			J-2保険業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			K-1不動産取引・賃貸・管理業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			K-2物品賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			L-1学術・開発研究機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			L-2法務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			L-3その他専門・技術サービス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)		1 (0)	1 (0)			
			M 宿泊業・飲食サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			N 生活関連サービス業・娯楽業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			O-1学校教育	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			O-2その他の教育・学習支援業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			P-1医療業・保健衛生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	2 (1)	0 (0)		5 (4)	5 (4)			
			P-2社会保険・社会福祉・介護事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			Q 複合サービス事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
R-1宗教	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
R-2サービス業（その他）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)							
S-1国家公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
S-2地方公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
上記以外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計	1 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	16 (7)	7 (4)	5 (2)	30 (14)									
全体の地域別割合	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	53.3%	23.3%	16.7%	100.0%									
女子の地域別割合	(7.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(50.0%)	(28.6%)	(14.3%)	(100.0%)									

8 在籍者名簿

名古屋市立大学院薬学研究科（薬学部）所属教員一覧

(2021年4月現在)

講座	分野	教授	准教授	講師	助教
医薬化学	薬化学	中川 秀彦		川口 充康 家田 直弥	
	精密有機反応学	樋口 恒彦	梅澤 直樹	久松 洋介	(特任助教) BALIA ANDRII
	薬品合成化学	中村 精一			秋山 敏毅
	機能分子構造学		池田 慎一		
生命分子薬学	生体超分子システム解析学	平嶋 尚英	田中 正彦		鈴木 瑠理子
	コロイド・高分子物性学	山中 淳平	奥菌 透	豊玉 彰子	
	生命分子構造学	加藤 晃一 (兼任)	佐藤 匡史	矢木 宏和	
	分子生物薬学	白根 道子		中津海 洋一	栗原 裕司
	薬物送達学	尾関 哲也		田上 辰秋	小川 昂輝
医療分子機能薬学	生薬学	牧野 利明	石内 勘一郎	寺坂 和祥	
	衛生化学	肥田 重明	伊藤 佐生智		
	遺伝情報学	星野 真一	細田 直		
	細胞分子薬効解析学	山村 壽男		鈴木 良明	
	病態生化学	服部 光治	河野 孝夫	築地 仁美	
医療薬学	薬物動態制御学	湯浅 博昭		保嶋 智也	山城 貴弘
	病態解析学	青山 峰芳			青木 啓将
	細胞情報学	林 秀敏	井上 靖道		宮嶋 ちはる
	神経薬理学	糸 和彦	大澤 匡弘	富田 淳	
	レギュラトリーサイエンス	頭金 正博			安部 賀央里 柴田 侑裕
	病院薬剤学	木村 和哲 (兼務)	日比 陽子 (兼務)	堀田祐志(兼務) 西出景子(兼務)	(特任助教)堀田康弘 (特任助教)真川明将
	臨床薬学	松永 民秀 鈴木 匡	岩尾 岳洋	坂下 真大 堀 英生	(特任助教)堺 陽子
	附属研究所 創薬基盤科学研究所				
連携大学院	腫瘍制御学 (県がんセンター研究所)	青木 正博 <small>客員教授</small> 小根山千歳 <small>客員教授</small>	藤下 晃章 <small>客員准教授</small>		
	加齢病態制御学 (国立長寿医療センター研究所)	飯島 浩一 <small>客員教授</small>	関谷 倫子 <small>客員准教授</small>		
	医薬品質保証学 (国立医薬品食品衛生研究所)	伊豆津健一 <small>客員教授</small>	安田 智 <small>客員准教授</small>		
	生命動態制御学 (自然科学研究機構)	青木 一洋 <small>客員教授</small>	奥村 久士 <small>客員准教授</small>		
	医薬品医療機器審査科学 (医薬品医療機器総合機構)	大澤 智子 <small>客員教授</small>			
	がん治療学 (公益財団法人がん研究会)	片山 量平 <small>客員教授</small> 丸山 玲緒 <small>客員教授</small>	清谷 一馬 <small>客員准教授</small>		

2021年度大学院生名簿（博士前期・博士後期課程）

2021年4月1日現在

専攻	講座	学年 分野	博士前期課程		博士後期課程		
			1年	2年	1年	2年	3年
創薬生命科学	医薬化学	薬化学	鳥居 志深 野中 美香 吉川 侑佳	倉地 彩花 中嶋 雄哉 山口 遥己			
		精密有機反応学	加藤 舞子 林 優樹	橋本 英典			
		薬品合成化学	伊藤 壮祐 瀧川 皓太郎 野口 公寛	近藤 直記	安藤 龍志 小林 誠		
		機能分子構造学					
	生命分子薬学	生体超分子 システム解析学	村井 洸士 山田 真季	近藤 大介			
		コロイド・ 高分子物性学	平井 綾音 藤澤 貫平 山口 めぐみ	井岡 未優 石神 瑛圭 山田 望	三木 裕之		青山 柚里奈
		生命分子構造学	沈 佳娜 西村 誠司 山本 栞	山田 梨乃	梅澤 芙美子	齋藤 泰輝	
		分子生物薬学	山本 敬太郎	森田 敬子 和田 万理子			中野 友香
		薬物送達学	神谷 宝 恒川 勇太 HEMAT MOSTAFA KAMAL ATTIA ELSAYED	井上 智貴 花木 彩香 山本 菜緒		ALGHURABI HAMID SADEQ KHALEEL 高 名月 小松 美穂 LIU JIN 高橋 朋弘	善田 直樹

2021年度大学院生名簿（博士前期・博士後期課程）

2021年4月1日現在

専攻	講座	学年 分野	博士前期課程		博士後期課程		
			1年	2年	1年	2年	3年
医療機能薬学	医療分子機能薬学	生薬学	YANG HUANGQIZI 王慶源 日置 真太郎 満仲 安紀	奥村 雄一 許 玲玉 新谷 円華	LIU YAN	丁 科文	
		衛生化学		伊藤 佑真			
		遺伝情報学	石川 裕之 中北 侑希 西井 由佳	田中 幸嗣 中島 朋香			
		細胞分子薬効 解析学	加藤 由納 川田 成紀 中島 七海	片山 大樹	鈴木 茜		
		病態生化学	安藤 飛悠吾 梅村 悠太 大宅 真太郎			石井 圭介	
	医療薬学	薬物動態制御学	難波 知堯 牧平 伊代	細岡 晶 三宅 浩平			篠田 裕太郎
		病態解析学	加藤 里菜 福田 直哉	櫻木 章 曾山 樹			
		細胞情報学	安達 晴喜 鯨井 千実	中本 遥菜 柘田 昂毅 三浦 真仁			Baatar Bolormaa
		神経薬理学	GARIBAGAOGLU RABIA 酒井 皓介 西 風花 三宅 遼	中井 慎也 山崎 久朗 李 佳憶		石崎 千晶	高 天翔 山口 翔
		レギュラトリー サイエンス 医薬品安全性評価学	家田 維哉 伊藤 潤 片山 早紀 中森 瑞季	鈴木 政晴			八木 聡美 後藤 貴浩
		病院薬剤学		柴山 真純			早川 優子
		臨床薬学	岩崎 萌実 深谷 壮弥	松村 将成 李 亜玲	今倉 悠貴 寺島 純一 水野 翔太 RAGHDA MOUSTAFA ABDELFATTAH IBRAHIM SHAHIN	小川 勇	坂本 栄 邱 施萌 中西 杏菜 TSEDENBAL NARANTUYA
	連携 大学院	腫瘍制御学					
		加齢病態制御学				近松 幸枝	山城 梨沙
		医薬品質保証学					
		生命動態制御学					

2021年度大学院生名簿（博士課程）

2021年4月1日現在

専攻	講座	分野	学年				非正規生
			1年	2年	3年	4年	
創薬生命科学	医薬化学	薬化学		齋藤 大介			
		精密有機反応学					
		薬品合成化学					
		機能分子構造学				坂崎 美香	
	生命分子薬学	生体超分子システム解析学		大倉 宇海			
		コロイド・高分子物性学	藤田 みのり				
		生命分子構造学					
		分子生物薬学					
		薬物送達学		諏訪部 晋		後藤 瑛一	
医療機能薬学	医療分子機能薬学	生薬学	迫田 凌太				TANG PEIRAN
		衛生化学			北野 拓真	森川 ありさ	
		遺伝情報学					
		細胞分子薬効解析学	藤原 萌園	澤井 優輝	稲垣 奏 川出 有希子	近藤 るびい	
		病態生化学					
	医療薬学	薬物動態制御学	間竹 勇		秋野 翔伍		
		病態解析学	泉 和弥	白川 菜由 安富 栄人	大塚 勇斗 鳥内 皐暉	近藤 崇雄	
		細胞情報学		長坂 真衣	徳川 宗成		
		神経薬理学	渡邊 僚介		稲波 千尋 小林 里帆	中川 寛之	
		レギュラトリーサイエンス 医薬品安全性評価学				渡邊 崇	
		病院薬剤学		川田 龍哉	森 泰毅	富田 なつみ 長水 正也	
		臨床薬学		白井 晃太郎	山下 美紗季	榊原 明美 野田 雅人	
連携 大学院	腫瘍制御学	清水 緑			三谷 文美絵		
	加齢病態制御学						
	医薬品質保証学						
	生命動態制御学						
	がん治療学						

令和3年度 卒業研究実習研究室配属

分野	薬学科			生命薬科学科	
	4年	5年	6年	3年	4年
薬化学	182043 平松 理希	162051 古屋敷 帆乃花 172060 吉野 克利	162017 北村 紗枝		182527 舘 実優
精密有機反応学		172034 都築 優斗	152009 上松 昌幸 162034 程 方舟	192535 鳥山 剛 192541 廣瀬 拓	172524 東条 敦
薬品合成化学	182037 中村 美菜	172001 阿部 玲士	112008 石黒 達也	192530 田畑 愛美	182523 鈴木 浩太
機能分子構造学					
生体超分子システム 解析学	182001 飯田 颯人 182039 丹羽 太陽 182044 藤井 祐花 182050 南野 恵里	172010 大崎 康太 172024 小笹 稜 172026 鷺崎 加奈 172048 山岡 涼介	162025 鈴木 礼奈 162032 棚橋 佑吏 162054 松浦 哉太 162067 吉田 圭佑	192510 小笠原 有那	182529 龍野 華
コロイド・高分子 物性学	182038 中吉 悠翔 182048 松尾 彩美 182058 森 優月 182059 山内 一輝	172008 内山 遼太郎 172036 土井 眞帆 172039 濱中 麻菜	162021 佐々木 さやか 162022 篠田 弥依 162024 杉浦 一希 162050 藤居 美奈	192513 川瀬 健太 192528 竹本 満里菜 192529 田代 耀	182542 森 美洋
生命分子構造学	182004 犬塚 健剛	172018 金山 大地	142033 シム ジンボ 112018 太田 知世	192526 高木 克樹	182531 戸室 幸太郎
分子生物薬学	182003 石本 晴揮	172021 北野 ひかり 172046 光成 琴音	162010 大平 巧 162014 加藤 洸 162037 中嶋 弘樹 162062 森 正樹	192543 向江 風	182504 芦澤 一馬
薬物送達学	182020 佐々木 美緒 182045 PAE HEEJU 182047 益留 未来哉 182061 鷺尾 拓洋	172005 井口 海 172009 海野 桃加 172012 大場 万由 172042 廣間 彩花	162006 幾世 真琳 162012 岡村 麻矢 162016 木田 理沙子 162028 辰巳 真里奈	192506 上田 峻 192527 竹沢 香穂 192534 十時 拓大	182520 佐藤 一輝 182534 鍋島 彩羽希 182535 西 彩友美
生薬学	182002 石井 脩斗 182010 大山 真優 182025 高嶋 柚衣 182032 遠山 奈歩	172007 内山 京香 172025 島 凜太郎 172059 吉野 蒼生	152041 玉田 彩 162027 田下 優菜 162041 南雲 秋徳 162059 皆見 香里 162064 安田 彩乃	192538 能瀬 逸紀	162546 渡邊 瞬 172511 小川 摩子 182506 池島 智弥
衛生化学	182033 永井 智希 182040 野田 千咲 182055 向井中 玲菜 182056 村瀬 香乃	152036 田中 友理 172004 生田 現 172030 竹森 樹梨	162007 石川 怜 162009 占部 彩花 162011 緒方 郁奈 162053 松井 優佳	192521 榊原 悠 192532 戸川 果歩	182516 河野 紗英
遺伝情報学	182017 古賀 美咲 182024 高岸 優太	172033 柘植 泰希 172049 山崎 愛恵 172054 遊佐 紅音	152028 塩倉 翔 162013 隠岐 興一 162033 都島 大知 162035 寺山 七夢 162039 中村 亮太	192511 小川 慧真 192514 北野 智也 192523 志柿 暢彦	182510 井上 匠 182519 小森 太貴 182537 日比野 真也
細胞分子薬効解析学	182011 岡田 一希 182036 中浜 光哉	162058 道上 七帆 172002 安藤 駿佑 172011 太田 実奈 172015 小川 璃子	162060 宮木 理子	192517 小井手 司 192525 関根 大雅	182505 天野 泰樹 182518 倉田 朋 182540 松本 和幸
病態生化学	182021 佐藤 萌音 182053 宮田 識園 182057 廻 ひとみ 192101 中川 育磨	162019 五反田 逸孝 172029 竹腰 祐斗 172032 谷口 愛理 172045 松田 拓与	142001 渥美 奈央	192505 伊東 里彩 192533 徳永 柊 192542 松村 悠己	182515 川瀬 宗之 182536 原 光輝
薬物動態解析学	182012 小幡 真由 182013 河原崎 南帆 182034 長友 今日佳 182054 宮本 綾乃	172028 高見 華奈 172031 谷内 夏月 172053 山本 道弘	162003 東 洋輔 162020 小西 拓実 162031 田中 雄大	192515 北村 拓馬 192524 澁谷 玲衣 192546 森本 遥香	182508 石牧 礼子 182517 川本 彩果 182538 廣瀬 舞

病態解析学	182026 高田 繁 182049 道廣 幹斗 182052 三本 里奈	172013 大前 幾美 172014 大脇 礼名 172052 山田 恵理	162004 荒木 早和子 162015 荻田 柁人 162029 立松 由衣 162045 野村 知宏	192502 天野 歩 192519 近藤 リリ	182539 前原 華乃 182544 渡邊 友佳
細胞情報学	182005 今井 悠莉 182031 鶴見 建斗 182046 牧原 大	172017 加藤 百恵 172038 中西 優菜 172043 深見 太基	162046 服部 友香 162047 早川 由璃香 162048 平丸 航太郎	192539 橋口 咲良 192547 山中 翔悟	182524 鈴木 裕陽 182532 中垣 春奈
神経薬理学	182018 小西 紗菜	172016 加藤 遥輝 172050 山下 裕子	162056 松村 兼吾	192501 青野 萌子 192507 江上 涼 192518 小塚 康平	182509 磯部 一朗 182543 山本 洵
医薬品安全性解析学	182007 榎波 多真奈 182008 大西 真由 182014 木下 啓 182042 濱上 敦史	172035 土井 更良 172056 吉井 優花	162002 秋田 彩佑 162023 島田 裕脩 162036 東野 竜空 162040 中村 良太	192531 出来 佑都 192545 村崎 亘	182501 青木 優佳 182507 池田 侑己 182528 立木 孝幸
病院薬剤学	182009 大山 享也 182027 高森 雄貴 182041 野田 みすず	172022 久保敷 麗良 172023 熊澤 里歩	162008 伊藤 寛人 162018 熊澤 杏早子 162026 瀬崎 らら 162038 中田 菜美		182511 海老原 大希
臨床薬学教育研究センター	182006 今井 優里 182028 田口 りか 182029 竹内 規晃 182030 武田 涼馬 182051 養輪 華子 182060 横井 杏菜	172019 兼田 佳果 172020 上村 咲菜 172027 鈴木 祐太 172044 藤井 優里菜 172058 吉永 千裕 172061 吉見 和奏	162005 有田 彩夏 162042 西 萌奈 162043 西野 真衣 162057 水野 由梨 162066 山名 美帆 162070 渡邊 ちひろ	192516 北村 瑞基	182513 金子 昌平 182521 佐藤 寛之
【医】ウイルス学 (奥野先生/松永先生)				192503 荒井 陽人	
【医】神経発達・ 再生医学 (澤本先生/服部先生)				192520 斎藤 明里	
【医】実験病態 病理学 (高橋先生/青山先生)				192544 村上 明寛	

2021 年度研究員名簿

許可 NO.	配属分野	氏名
1	神経薬理学	宮本 啓輔
2	臨床薬学	供田 将志
3	コロイド・高分子物性学	石川 達也
4	生体超分子システム解析学	井上 悠
5	生体超分子システム解析学	足立 浩章
6	生体超分子システム解析学	宮地 克真
7	生命分子構造学	平松 佳永
8	生命分子構造学	千田 紀代美
9	生命分子構造学	服部 久美子
10	生命分子構造学	矢木 真穂
11	生命分子構造学	谷中 冴子
12	生命分子構造学	関口 太一郎
13	薬物送達学	Shaimma Mohamed Ramadan Elabd Ibrahim
14	薬物送達学	野田 剛弘
15	薬物送達学	福重 香
16	臨床薬学	齊藤 将之
17	生薬学	太田 美里
18	生薬学	趙 伯陽
19	生薬学	大渡 勝史
20	生薬学	笛木 司
21	生薬学	小西 徹
22	生薬学	牧 靖人
23	生薬学	山田 亜紀
24	遺伝情報学	山本 肇
25	病態生化学	李 旻倩
26	薬物動態制御学	石黒 雅江
27	薬物動態制御学	山本 俊輔
28	病態解析学	小泉 恵子
29	病態解析学	後藤 洋
30	病態解析学	垣田 博樹
31	病態解析学	竹下 覚
32	細胞情報学	中田 佳宏
33	細胞情報学	吉田 康子
34	細胞情報学	松野 文香
35	神経薬理学	歌 大介
36	神経薬理学	乗本 裕明
37	神経薬理学	竹内 雄一
38	病院薬剤学	片岡 智哉
39	病院薬剤学	三村 佳久
40	病院薬剤学	中村 大学
41	病院薬剤学	和知野 千春
42	病院薬剤学	近藤 祐樹
43	病院薬剤学	竹内 まどか
44	病院薬剤学	長水 正也
45	臨床薬学	美馬 伸治

46	臨床薬学	北口 隆
47	臨床薬学	邹 庆香
48	病院薬剤学	野村 有紀
49	病院薬剤学	小田切 州広
50	生命分子構造学	水島 恒裕
51	衛生化学	西山 彩史
52	臨床薬学	竹内 友里
53	細胞分子薬効解析学	郭 皎
54	生命分子構造学	佐藤 匡史
55	生命分子構造学	鈴木 詔子
56	精密有機反応学	LIU DIAN
57	生薬学	鈴木 俊章
58	臨床薬学	矢後 拓己
59	臨床薬学	Baatar Bolormaa

教員採用・昇任・退職

区分	分野	補職名	氏名	辞令年月日	前職・移動先等
採用	薬物送達学	助教	小川 昂輝	R3. 4. 1	長崎大学大学院医歯薬学総合研究院 博士後期課程修了
採用	生体超分子 システム解析学	助教	鈴木 瑠理子	R3. 4. 1	名市大博士修了
採用	レギュラトリー サイエンス	助教	柴田 侑裕	R3. 4. 1	千葉大学大学院博士課程修了
採用	臨床薬学	講師	堀 英生	R3. 4. 1	市大 病院助教
採用	遺伝情報学	特任助教	稲垣 佑都	R3. 9. 1	名市大博士修了・ポスドク雇用
採用	遺伝情報学	助教	稲垣 佑都	R3. 11. 1	特任助教
昇任	レギュラトリー サイエンス	助教	安部 賀央里	R3. 4. 1	助教→講師
昇任	細胞情報学	助教	宮嶋 ちはる	R3. 4. 1	助教→講師
昇任	生薬学	講師	石内 勘一郎	R3. 4. 1	講師→准教授
昇任	病態生化学	講師	河野 孝夫	R3. 4. 1	講師→准教授
昇任	コロイド・高分子 物性学	講師	豊玉 彰子	R3. 5. 1	講師→准教授
昇任	薬物送達学	講師	田上 辰秋	R3. 5. 1	講師→准教授
昇任	生命分子構造学	講師	矢木 宏和	R3. 10. 1	講師→准教授
退職	生命分子構造学	准教授	佐藤 匡史	R3. 9. 30	企業転職
退職	遺伝情報学	准教授	細田 直	R3. 9. 30	企業転職
退職	遺伝情報学	特任助教	稲垣 佑都	R3. 10. 31	助教採用
退職	病態生化学	講師	築地 仁美	R4. 3. 31	愛知学院大学薬学部教授採用
退職	精密有機反応学	教授	樋口 恒彦	R4. 3. 31	定年
退職	精密有機反応学	特任助教	BALIA ANDRII	R4. 3. 31	名工大柴田研
退職	臨床薬学	特任助教	堺 陽子	R4. 3. 31	和歌山県立医科大学助教採用

職 員[2021年4月1日現在]

総合機器分析施設

衛生技師：岩澤 加奈
特定技術職員：加藤 節子

薬学部事務室

事務長：木村 充江
学務係長：小島 沙織
主 事：林 香里，佐々木 綾，浅井 希美
事務系職員：田中 美波，鶴岡 文代，小川 万理絵，相馬 恵子

総合情報センター田辺通分館-薬学部

分館長：白根 道子（分子生物薬学分野教授兼務）
司 書：吉根 佐和子
事務系職員：河村 紫乃子，末原 楓

職員の異動

異 動：諸岩 陽子（2021年4月1日転出→学生課入試係へ）
相馬 恵子（2021年4月1日転入←医学・病院管理部医事課より）

2021 年度 名古屋市立大学大学院薬学研究科 自己点検・評価報告書
自己評価・点検委員会
担当者: 中川秀彦 (責任者), 中津海洋一, 鈴木良明